# 平成24年度 住民参加型在宅福祉サービス団体活動実態調査 報告書

((())) 目 次

т	<b>国本柳</b> 茜	
Ι	調査概要	1
	1.調査目的 2.調査対象	2 2
	2. 調査対象 3. 調査方法	2
	4. 調査時期	2
	5. 回収数	2
	6. 調査内容	3
	7. 報告書の記載方法について(凡例)	3
	8.調査結果の概要	3
	(1)事業開始年度	3
	(2)運営形態	3
	(3)法人化率と法人格の種類	4
	(4)事務所の所有率	4
	(5)助け合い活動における会員制の割合	4
	(6)助け合い活動の利用者登録、担い手登録数(1団体あたりの平均)	4
	(7)助け合い活動の担い手登録者の年代、性別(1団体あたりの平均)	5
	(8)サービスの担い手と利用者バランス	5
	(9)担い手募集を実施した媒体とその効果(複数回答)	5
	(10)担い手の各研修機会実施率(複数回答)	5
	(11)担い手の各研修内容実施率(複数回答)	6
	(12) 各研修の実施率(複数回答)	6
	(13)サービス種類ごとの利用者数、サービス活動時間(1 団体あたりの平均)	6
П	調査結果	7
_	1. 事業開始年度(問 1)	8
	2. 運営形態 (問 2)	9
	3. 法人格の有無(法人化率・問3)	10
	4. 法人格の種類(問 3)	12
	5. 事務所の所有率(問 4)	13
	6. 助け合い活動における会員制採用の有無(問5)	14
	7. 助け合い活動の利用者登録、担い手登録数(1団体あたりの平均)(問6・7)	15
	8. サービスの担い手と利用者のバランス状況(問8)	19
	9. 担い手の確保・育成への取り組み(問9・複数回答)	21
	10. 担い手への研修機会(問 10)	22
	11. 担い手への研修内容(問 11)	24
	12. サービスの種類と実施形態(問 12)	25
	13. ホームヘルプサービス利用者の該当制度の内訳 (問 13)	27
	14. 助け合い活動と介護保険事業の両方を行っている場合の担い手の区別(問 14)	29
	15. 収入及び支出総額(問 15)	34
	16. サービスの収益を「たすけあい活動」にどの程度充当しているか(問 16)	39
	17. サービスの種類ごとの利用料、担い手の受取額(問 17)	40
	18. 日常的に協力・連携している団体について(問 18)	43
	19. 一定のエリア内で所属している連絡会等(問 19)	44
	20. 公的制度について考えていること(問 20・フリー回答)	45
	21. 直面している活動の課題について(問 21)	56
	22. 直面している活動の課題(問 22・フリー回答)	58
Ш	クロス集計	67
平	成24年度 「住民参加型在宅福祉サービス団体活動実態調査」 調査票	108

I 調査概要

# 調査概要

### 1. 調査目的

本調査は、全国の住民参加型在宅福祉サービス(※)の活動の状況を明らかにし、今後の住民参加 型在宅福祉サービスと地域福祉の発展のための基礎データを集積することを目的として実施した。

# 2. 調査対象

平成24年12月1日現在、活動している住民参加型在宅福祉サービス団体を対象に、その活動状況 について調査した。

# 3. 調査方法

調査票は、平成24年度に、本会で把握する住民参加型在宅福祉サービス団体1938団体に郵送し、 郵送及びFAXにて回収した。

# 4. 調査時期

平成25年1月8日~平成25年2月15日

# 5. 回収数

581団体(回収率30.0%)

- ※「住民参加型在宅福祉サービス団体」とは
- ●地域住民の参加を基本として
- ①営利を目的とせず、
- ②住民相互の対等な関係と助け合いを基調として、
- ③有償・有料制、あるいは「時間貯蓄制度」「点数預託制度」によって行う家事援助、介護サービ ス(ホームヘルプサービス)等を中心とした在宅福祉サービスである。
- ●こうしたサービス(活動)を行う団体を「住民参加型在宅福祉サービス団体」といい、住民の 自主組織として組織されているものの他、市区町村社会福祉協議会、生活協同組合、農業協同 組合、福祉公社・事業団、社会福祉施設等が運営するものがある。

また、同団体は、上記の「助け合い活動」とともに、介護保険制度や障害者自立支援法等に基づ くサービスをあわせて実施するところもある。

# 6. 調査内容

- ○団体の組織体制・運営
- ○会員の状況
- ○サービス、活動事業の内容
- ○その他
- ※詳細は巻末調査票を参照。

# 7. 報告書の記載方法について(凡例)

### 組織の運営形態の類型化について

本報告書においては、組織の運営形態(調査票問2)を、以下のような類型(呼称)として分類し、集 計分析を行った。以下、この類型(呼称)によって記述する。

組織の運営形態(問2)の選択肢
住民の自主的な会員組織である
市区町村社会福祉協議会が運営している
生活協同組合が運営している
ワーカーズコレクティブである
JA(農業協同組合)が運営している
行政設置による第3セクター(福祉公社、事業団等)
社会福祉施設が運営している
ファミリーサービスクラブである
その他
無回答

		類型	回答数
	Α	住民互助型	278
	В	社協運営型	191
•		その他	108
	無回	回答	4
	全位	<b>*</b>	581

前回の調査と比較して回答総数が約201件増。「社協運営型」が51件増、「住民互助型」が116件増 となっている。

### 8. 調査結果の概要

### (1) 事業開始年度

○1996年~2000年度が最も良く29.8%となっている。

	回答数
全体	100.0%
1990年度以前	13.1%
1991年度~ 1995年度	22.2%
1996年度~ 2000年度	29.8%
2001年度~ 2005年度	18.1%
2006年度以降	12.9%
無回答	4.0%

# (2) 運営形態

○「住民互助型」が約半数を占めている。

1991年度~ 1995年度	22.2%
1996年度~ 2000年度	29.8%
2001年度~ 2005年度	18.1%
2006年度以降	12.9%
無回答	4.0%
	回答数
	四百奴
全体	100.0%

	凹合奴
全 体	100.0%
住民互助型	47.8%
社協運営型	32.9%
その他	18.6%
無回答	0.7%

# (3) 法人化率と法人格の種類

○法人化率は71.9%。

# ■法人化率

		各回答率
	全 体	71.9%
Α	住民互助型	65.8%
В	社協運営型	89.0%
С	その他	59.3%

### ■法人格の種類

	各回答率
全体	100.0%
特定非営利活動法人	48.1%
認定特定非営利活動法人	1.2%
社会福祉法人	42.1%
財団法人	1.0%
社団法人	0.2%
有限会社	0.7%
生活協同組合	4.3%
農業協同組合	1.2%
その他	0.5%
無回答	0.7%

# (4) 事務所の所有率

○事務所が「ある」は81.8%。

		各回答率
	全 体	81.8%
Α	住民互助型	77.7%
В	社協運営型	91.1%
С	その他	77.8%

# (5) 助け合い活動における会員制の割合

○会員制を「採用している」は85.0%。

		各回答率
	全 体	85.0%
Α	住民互助型	86.7%
В	社協運営型	85.9%
С	その他	81.5%

# (6) 助け合い活動の利用者登録、担い手登録数(1団体あたりの平均)

- ○1団体あたりの利用者登録数は平均168.9人、担い手登録数は平均88.7人。
- ○担い手一人当たりの利用者登録者数は平均1.9人。

	利用者登録数 (A)	担い手登録数 (B)	担い手一人当たりの 利用者登録数(A/B)
全 体	168.9人	88.7人	1.9人
A 住民互助型	105.3人	48.9人	2.2人
B 社協運営型	225.0人	131.8人	1.7人
C その他	213.0人	116.6人	1.8人

# (7) 助け合い活動の担い手登録者の年代、性別(1団体あたりの平均)

○担い手登録内訳は、下記の通りである。

	類型	20	代	30	代	40	代	50	代	60	代	70代	以上	合	計
		女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
	全 体	2.0	0.8	7.2	1.3	12.1	1.5	16.6	2.3	27.7	5.7	16.0	6.2	0.0	0.0
Α	住民互助型	1.9	1.2	4.8	1.8	8.0	1.5	10.3	2.2	15.6	4.1	9.2	4.1	0.0	0.0
В	社協運営型	2.4	0.6	9.9	1.2	13.9	1.8	19.3	2.7	38.8	8.1	26.3	9.9	0.0	0.0
С	その他	1.5	0.4	7.2	0.7	17.7	0.8	28.1	1.4	38.8	4.3	14.0	3.7	0.0	0.0
															( <b>人</b> )

# (8) サービスの担い手と利用者バランス

○担い手不足傾向が48.2%。

	バランスの傾向					
1	担い手が不足している傾向がある	48.2%				
2	利用者が少ない傾向がある	8.6%				
3	担い手と利用者のバランスはちょうどよい	14.5%				
4	傾向にムラがあり一概に言えない	22.7%				
	無回答	6.0%				

# (9) 担い手募集を実施した媒体とその効果(複数回答)

○募集をする際効果があった媒体は「会員による紹介」(57.3%)、

「個別に声掛け」(46.1%)、「パンフレット、チラシ、ポスター」(44.8%)の順で多い。

	担い手募集の媒体							
1	パンフレット、チラシ、ポスター	44.8%						
2	ホームページ	16.5%						
3	他団体の広報誌	9.1%						
4	個別に声掛け	46.1%						
5	会員による紹介	57.3%						
6	担い手養成講座・研修会	18.4%						
7	広報誌	31.3%						

		実施率		
, 0		8	地域ラジオ、FMラジオ	1.5%
, 0		9	説明会、交流会	14.1%
0		10	ハローワーク	6.9%
0		11	掲示板	2.4%
, 0		12	その他	10.5%
, 0			無回答	4.3%
<u>,                                     </u>	ľ			

# (10) 担い手の各研修機会実施率(複数回答)

○行っている研修は、内部研修で「学習会、勉強会、研修会等」(71.8%)、

外部研修等で「社協主催の研修会に参加」(35.3%)が多い。

研修の種類		実施率		研修の種類	実施率
1	学習会、勉強会、研修会等	71.8%	9	社協主催の研修会に参加	35.3%
2	交流会	58.0%	10	地域包括支援センター主催の研	12.6%
3	<b>新人研修</b>	26.0%		、 修会に参加	12.0%
4	部ミーティング、定例会の際に	39.9%	11 音	・ 地方自治体主催の研修会に参加	18.1%
5	研 ケースカンファレンス 修 外部から講師を呼んで研修	21.2%	12 個	社協、地域包括支援センター、地方自	17.7%
6	<u>『</u> 外部から講師を呼んで研修	40.6%	12	治体以外の団体主催の研修会に参加	17.770
7	他団体と共催により研修会を開催	16.5%	13	資格取得支援	15.8%
8	その他	5.7%	14	その他	8.3%

# (11) 担い手の各研修内容実施率(複数回答)

○行っている研修内容は、「高齢者・障害者理解」(60.8%)、 「認知症理解」(54.0%)、「調理」(36.5%)の順で高い。

	研修内容	実施率		
1	高齢者·障害者理解	60.8%	13	医
2	認知症理解	54.0%	14	傾
3	ヘルパー 2級養成講座	7.4%	15	
4	介護(ヘルパー 2級養成講座を除く)	17.6%	16	接
5	車いす操作	34.8%	17	剪
6	調理	36.5%	18	レ
7	食品衛生(食中毒)	26.0%	19	子
8	移送サービス	16.2%	20	IJ
9	掃除	16.0%	21	法
10	救命救急	32.5%	22	7
11	緊急時対応	29.3%		無
12	災害時高齢者生活支援	6.2%		

		研修内容				
	13	医療·感染症	21.5%			
	14	傾聴	25.6%			
	15	コミュニケーション	27.9%			
	16	接遇	22.9%			
	17	剪定	2.6%			
)	18	レクリエーション	16.2%			
)	19	子育て	18.6%			
)	20	リスクマネジメント(ヒヤリハット)	21.2%			
)	21	法人理念	17.4%			
,	22	その他	10.0%			
)		無回答	8.4%			

# (12) 各サービスの実施率(複数回答(介護保険等公的サービスとして提供しているサービスも含む。))

○行っているサービスは、「家事援助」(78.5%)、「外出援助」(70.1%)、 「話し相手」(65.1%)の順で多い。

	サービスの種類					
1	家事援助	78.5%				
2	介護	52.2%				
3	入浴	38.7%				
4	食事(配食)	42.9%				
5	外出援助	70.1%				
6	車による移送サービス	34.6%				
7	デイサービス	23.8%				
8	宅老所	3.6%				
9	作業所·自立訓練·就労移行/継続支援	5.2%				
10	ショートステイ・宿泊	4.6%				

<u> </u>		サービスの種類						
6	11	グループホーム	2.8%					
6	12	住宅改造	2.9%					
6	13	相談·助言	40.4%					
6	14	話し相手	65.1%					
6	15	サロン活動	32.4%					
6	16	保育・教育サービス	30.3%					
6	17	財産管理・保全サービス	7.2%					
6	18	小規模多機能型居宅介護	3.1%					
6	19	ケアマネジメント(居宅介護支援等)	22.7%					
6		無回答	1.4%					

# (13) サービス種類ごとのサービス活動時間(1団体あたりの平均)

○サービスの種類ごとのサービス活動時間は下記の通りである。

	サービスの種類	サービス活動時間
1	介護保険制度	13,231時間
2	障害福祉サービス	4,336時間
3	その他(たすけあい等)	4,045時間

# Ⅱ調査結果

# Ⅱ調査結果

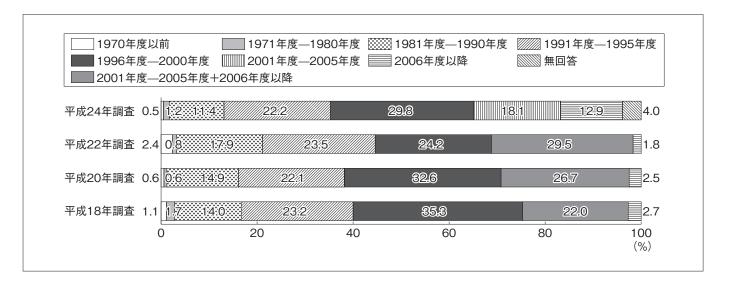
# 1. 事業開始年度(問1)

事業開始年度は1990年代の割合が多く、1996年から2000年度が29.8%、1991年から1995年度が22.2%で合計52%となり全体の過半数を占める。これに2001年から2005年度が18.1%、2006年度以降の12.9%を加えると83.0%となり、全体の約4分の3が1990年代以降に事業を開始していることがわかる。

また、各年を比較してみると、2001年度以降に事業を開始した団体が増加傾向にあり、平成24年度の合計は31.0%となっている。

### ■図表1 事業開始年度

選択肢	平成24	年調査	平成22年調査		平成20年調査		平成18年調査	
<b>进</b> 机权	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全体	581	100.0%	380	100.0%	322	100.0%	637	100.0%
1970年度以前	3	0.5%	9	2.4%	2	0.6%	7	1.1%
1971年度—1980年度	7	1.2%	3	0.8%	2	0.6%	11	1.7%
1981年度—1990年度	66	11.4%	68	17.9%	48	14.9%	89	14.0%
1991年度—1995年度	129	22.2%	89	23.5%	71	22.1%	148	23.2%
1996年度—2000年度	173	29.8%	92	24.2%	105	32.6%	225	35.3%
2001年度—2005年度	105	18.1%	112	29.5%	86	26.7%	140	22.0%
2006年度以降	75	12.9%	112	29.5%	00	20.7%	140	22.0%
無回答	23	4.0%	7	1.8%	8	2.5%	17	2.7%

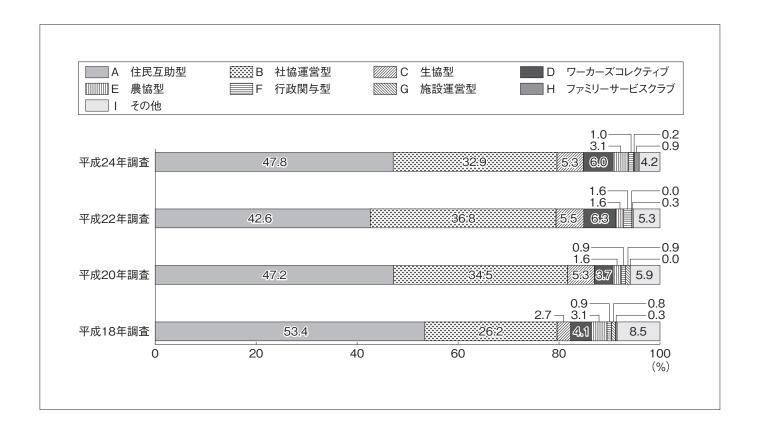


# 2. 運営形態(問2)

組織の運営形態としては、「住民互助型」の割合が47.8%で最も多く、次いで「社協運営型」が32.9%で、この両者で全体の約8割を占めている。このほかの運営形態は6%以下となっている。 各年を比較してみても、ほぼこの傾向は変わらない。

### ■図表2 運営形態

類型	平成24	平成24年調査		平成22年調査		平成20年調査		平成18年調査	
<b>規型</b>	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
全体	581	100.0%	380	100.0%	322	100.0%	637	100.0%	
A 住民互助型	278	47.8%	162	42.6%	152	47.2%	340	53.4%	
B 社協運営型	191	32.9%	140	36.8%	111	34.5%	167	26.2%	
C 生協型	31	5.3%	21	5.5%	17	5.3%	17	2.7%	
D ワーカーズコレクティブ	35	6.0%	24	6.3%	12	3.7%	26	4.1%	
E 農協型	18	3.1%	6	1.6%	5	1.6%	20	3.1%	
F 行政関与型	6	1.0%	6	1.6%	3	0.9%	6	0.9%	
G 施設運営型	1	0.2%	0	0.0%	3	0.9%	5	0.8%	
H ファミリーサービスクラブ	5	0.9%	1	0.3%	0	0.0%	2	0.3%	
Ⅰ その他	25	4.2%	20	5.3%	19	5.9%	54	8.5%	



g

# 3. 法人格の有無(法人化率・問3)※社協運営型、行政関与型、施設運営型を除く

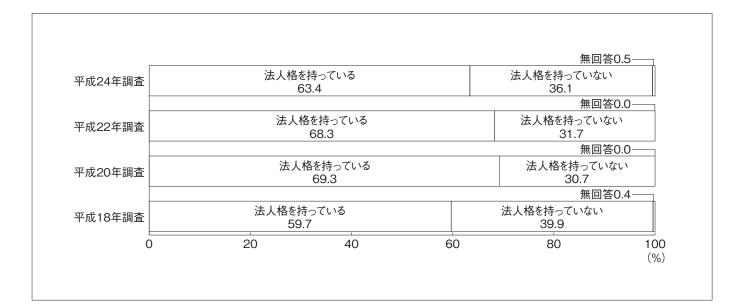
法人格の有無をみると、「持っている(法人化率)」割合は全体の63.4%、これに対し「持っていない」は36.1%である。

類型別でみると、「D ワーカーズコレクティブ」が97.1%で最も高く、次いで「A 住民互助型」が65.8%、「C 生協型」が48.3%などとなっている。

全体の法人化率は、平成22年調査時よりも減っている。

### ■図表3 住民互助型等の法人格の有無

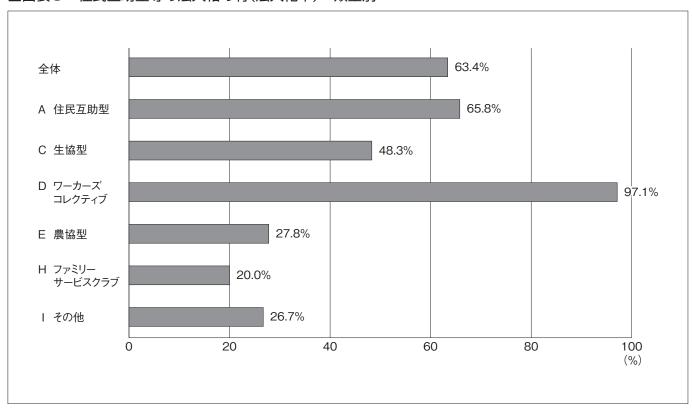
選択肢	平成24年調査	平成22年調査	平成20年調査	平成18年調査
法人格を持っている	63.4%	68.3%	69.3%	59.7%
法人格を持っていない	36.1%	31.7%	30.7%	39.9%
無回答	0.5%	0.0%	0.0%	0.4%



# ■図表4 住民互助型等の法人化率の類型別比較

類型	平成24年調査			平成22年調査			平原	找20年記	周査	平成18年調査		
, · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	全体	持っている	法人化率	全体	持っている	法人化率	全体	持っている	法人化率	全体	持っている	法人化率
全体	380	241	63.4%	230	157	68.3%	205	142	69.3%	459	274	59.7%
A 住民互助型	278	183	65.8%	162	110	67.9%	152	108	71.1%	340	203	59.7%
C 生協型	29	14	48.3%	19	11	57.9%	17	6	35.3%	17	11	64.7%
D ワーカーズコレクティブ	35	34	97.1%	23	22	95.7%	12	10	83.3%	26	14	53.8%
E 農協型	18	5	27.8%	6	3	50.0%	5	3	60.0%	20	8	40.0%
H ファミリーサービスクラブ	5	1	20.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	2	1	50.0%
Ⅰ その他	15	4	26.7%	19	11	57.9%	19	15	78.9%	54	37	68.5%

# ■図表5 住民互助型等の法人格の有(法人化率)×類型別

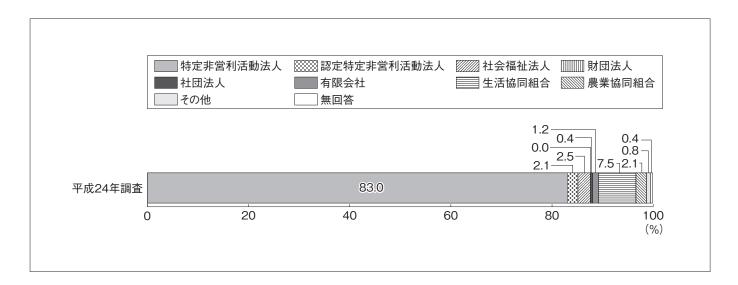


# 4. 法人格の種類(問3)※社協運営型、行政関与型、施設運営型を除く

法人格の種類(問3)※社協運営型、行政関与型、施設運営型を除く 法人格を持っている241件のうち、「特定非営利活動法人」が83.0%で大部分を占めている。

### ■図表6 住民互助型等の法人格の種類

類型	平成24	年調査	平成22	2年調査	平成20	年調査	平成18	年調査
,	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全体	241	100.0%	157	100.0%	141	100.0%	274	100.0%
特定非営利活動法人	200	83.0%	138	88.0%	121	85.8%	237	86.5%
認定特定非営利活動法人	5	2.1%						
社会福祉法人	6	2.5%	2	1.3%	3	2.2%	9	3.3%
財団法人	0	0.0%	1	0.6%	1	0.7%	2	0.7%
社団法人	1	0.4%	1	0.6%	1	0.7%	3	1.1%
有限会社	3	1.2%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
生活協同組合	18	7.5%	11	7.0%	7	5.0%	13	4.7%
農業協同組合	5	2.1%	3	1.9%	4	2.8%	8	2.9%
その他	2	0.8%	0	0.0%	4	2.8%	1	0.4%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%



# 5. 事務所の所有率(問4)

事務所の有無をみると、「ある」割合が全体の81.8%、これに対し「ない」が16.9%である。

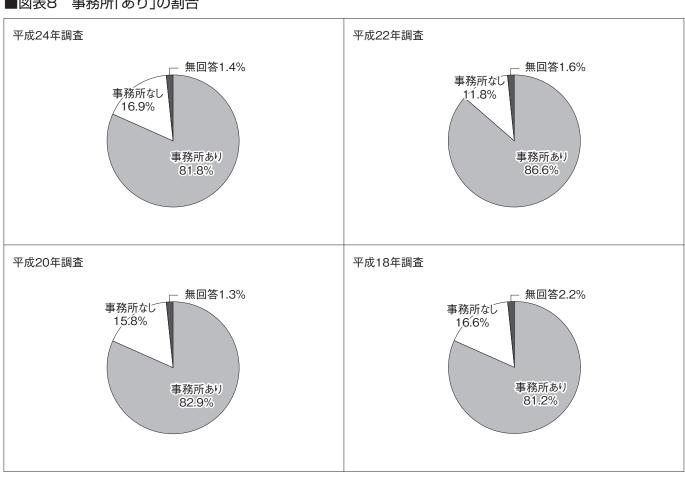
類型別にみると、事務所設置率は「D ワーカーズコレクティブ」が最も高く91.4%、次いで、「B 社協運営型」91.1%、「A 住民互助型」77.7%の順である。このほかの類型では「C 生協型」 74.2%となっている。なお、「E 農協型」「F 行政関与型」「G ファミリーサービスクラブ」は、集計 数が少ないため参考値である。

経年比較においても「D ワーカーズコレクティブ」や「B 社協運営型」、「A 住民互助型」の所有 率が高いことがわかる。

### ■図表7 事務所の有無

選択肢	平成24年調査	平成22年調査	平成20年調査	平成18年調査
事務所あり	81.8%	86.6%	82.9%	81.2%
事務所なし	16.9%	11.8%	15.8%	16.6%
無回答	1.4%	1.6%	1.3%	2.2%

# ■図表8 事務所「あり」の割合



# 6. 助け合い活動における会員制採用の有無(問5)

助け合い活動において会員制を「採用している」割合は、全体の85.0%、これに対し「採用していない」は12.2%である。

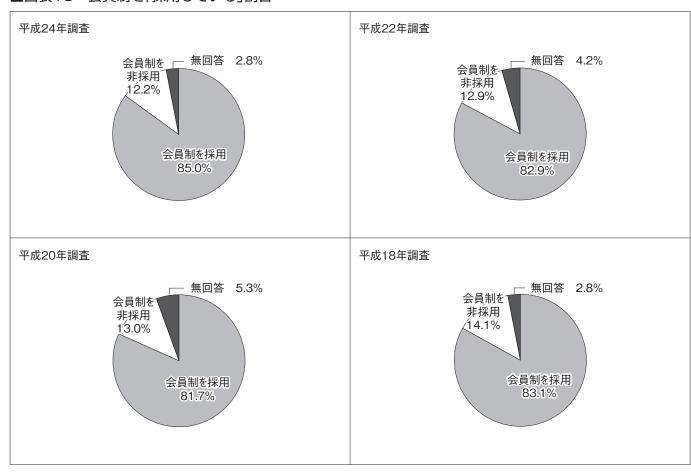
「採用している」を類型別にみると、「C 生協型」が最も高く87.1%、次いで「A 住民互助型」86.7%、「B 社協運営型」85.9%の順である。なお、「F 行政関与型」「G 施設運営型」「H ファミリーサービスクラブ」は、集計数が少ないため参考値。

また、経年比較においても、会員制採用の採用では「A 住民互助型」、「B 社協運営型」、「C 生協型 | の割合が高い。

### ■図表9 助け合い活動における会員制採用の有無

選択肢	平成24年調査	平成22年調査	平成20年調査	平成18年調査
会員制を採用	85.0%	82.9%	81.7%	83.1%
会員制を非採用	12.2%	12.9%	13.0%	14.1%
無回答	2.8%	4.2%	5.3%	2.8%

### ■図表10 会員制を「採用している」割合



# 7. 助け合い活動の利用者登録、担い手登録数(1団体あたりの平均)(問6・7)

助け合い活動の「利用者登録数」は、全体では1団体あたり(平均)169人、同様に「担い手登録数」が89人である。その結果、担い手一人あたりの利用者登録数は約2人(1.9人)ということになる。

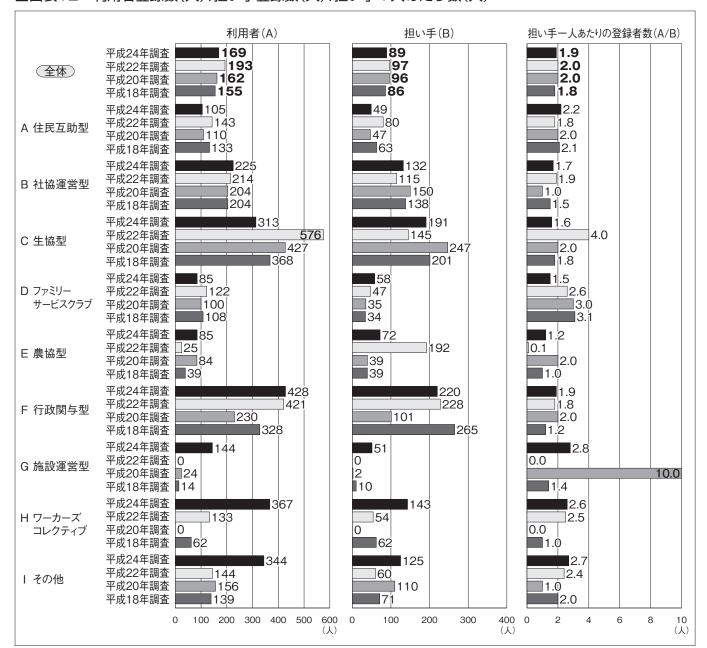
経年比較にみて、1団体あたりの全体の平均で、担い手一人あたりの利用者登録数は約2人で推移している。

#### ■図表11 助け合い活動の利用者登録、担い手登録の数(1組織あたりの平均/単位:人)×類型別

		平成24年	丰調査		平成22年	<b>丰調査</b>
類型	利用者 (A)	担い手 (B)	担い手一人あたりの 登録者数(A/B)	利用者 (A)	担い手 (B)	担い手一人あたりの 登録者数(A/B)
全体	169	89	1.9	193	97	2.0
A 住民互助型	105	49	2.2	143	80	1.8
B 社協運営型	225	132	1.7	214	115	1.9
C 生協型	313	191	1.6	576	145	4.0
D ワーカーズコレクティブ	85	58	1.5	122	47	2.6
E 農協型	85	72	1.2	25	192	0.1
F 行政関与型	428	220	1.9	421	228	1.8
G 施設運営型	144	51	2.8	0	0	0.0
H ファミリーサービスクラブ	367	143	2.6	133	54	2.5
Ⅰ その他	344	125	2.7	144	60	2.4

		平成20年	丰調査	平成18年調査				
類型	利用者 (A)	担い手 (B)	担い手一人あたりの 登録者数(A/B)	利用者 (A)	担い手 (B)	担い手一人あたりの 登録者数(A/B)		
全体	162	96	2.0	155	86	1.8		
A 住民互助型	110	47	2.0	133	63	2.1		
B 社協運営型	204	150	1.0	204	138	1.5		
C 生協型	427	247	2.0	368	201	1.8		
D ワーカーズコレクティブ	100	35	3.0	108	34	3.1		
E 農協型	84	39	2.0	39	39	1.0		
F 行政関与型	230	101	2.0	328	265	1.2		
G 施設運営型	24	2	10.0	14	10	1.4		
H ファミリーサービスクラブ	0	0	0.0	62	62	1.0		
Ⅰ その他	156	110	1.0	139	71	2.0		

# ■図表12 利用者登録数(人)、担い手登録数(人)、担い手1人あたり数(人)

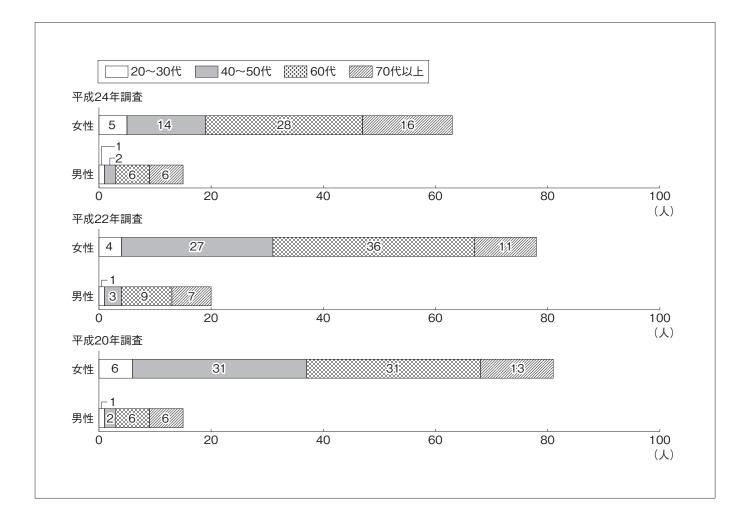


■図表13 助け合い活動の担い手登録者の年代、性別(1組織あたりの平均)

			平成24	年調査					
類型	20 ~	30代	40 ~	50代	60	)代	70代	以上	合計
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	口司
全体	5	1	14	2	28	6	16	6	78
A 住民互助型	3	1	9	2	16	4	9	4	49
B 社協運営型	6	1	17	2	39	8	26	10	109
C 生協型	4	0	32	1	56	5	24	5	128
D ワーカーズコレクティブ	2	0	16	1	27	2	6	1	54
E 農協型	2	2	13	1	33	2	16	1	70
F 行政関与型	5	1	39	3	89	16	15	14	180
G 施設運営型	4	1	8	0	17	0	9	0	39
H ファミリーサービスクラブ	13	0	31	1	43	3	20	2	113
Ⅰ その他	10	1	30	1	25	2	5	1	73

	平成22年調査											
類型	20 ~	30代	40 ~	50代	60	)代	70代	以上	合計			
<b>規室</b>	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	一百日			
全体	4	1	27	3	36	9	11	7	97			
A 住民互助型	1	0	20	1	30	12	9	8	80			
B 社協運営型	5	1	29	4	43	10	15	8	115			
C 生協型	8	1	68	1	48	4	13	2	145			
D ワーカーズコレクティブ	2	0	20	1	16	3	3	1	47			
E 農協型	7	0	23	0	157	0	4	0	192			
F 行政関与型	13	1	95	7	74	16	15	8	228			
G 施設運営型	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
H ファミリーサービスクラブ	1	0	9	0	39	0	3	2	54			
Ⅰ その他	9	1	25	2	15	3	5	1	60			

			平成20	年調査					
類型	20 ~	30代	40 ~	50代	60	)代	70代	以上	合計
<b>发生</b>	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	
全体	6	1	31	2	31	6	13	6	96
A 住民互助型	2	1	18	1	16	3	5	2	47
B 社協運営型	8	1	38	3	49	10	28	12	150
C 生協型	14	1	109	6	86	9	20	1	247
D ワーカーズコレクティブ	2	0	23	0	7	2	1	0	35
E 農協型	0	0	12	0	23	0	4	0	39
F 行政関与型	14	1	35	3	30	4	9	5	101
G 施設運営型	0	0	1	0	1	0	1	0	2
H ファミリーサービスクラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅰ その他	24	5	46	4	11	4	6	11	110



# 8. サービスの担い手と利用者のバランス状況(問8)

担い手と利用者とのバランスは、全体で「担い手が不足している傾向がある」48.2%、「傾向にムラがあり一概に言えない」22.7%などとなっている。

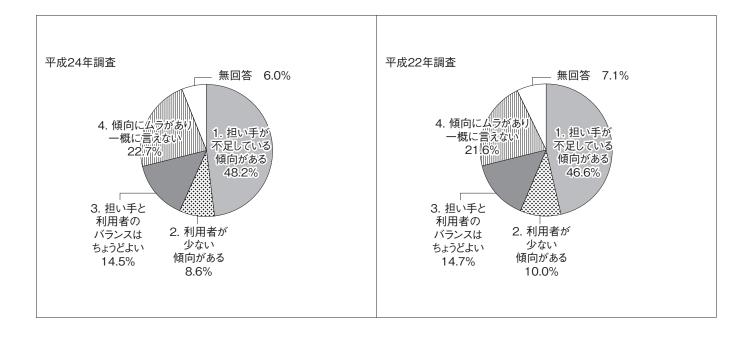
類型別にみると、「担い手が不足している傾向」が高い組織は「C 生協型」61.3%で、「A 住民互助型」49.6%、「D ワーカーズコレクティブ」45.7%と続く。

なお、「E 農協型」「F 行政関与型」「G 施設運営型」「H ファミリーサービスクラブ」は、集計数が少ないため参考値。

平成22年の調査との比較においても、この傾向は変わらない。

### ■図表14 担い手と利用者のバランス

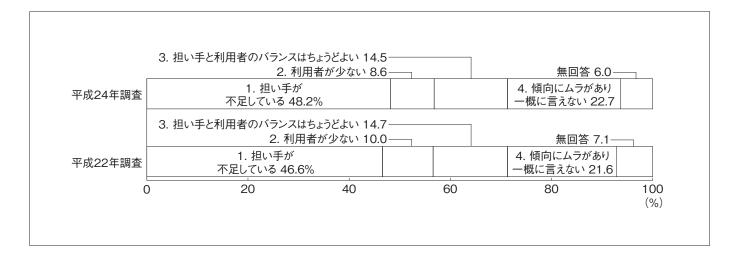
	選択肢	平成24年調査	平成22年調査
1.	担い手が不足している傾向がある	48.2%	46.6%
2.	利用者が少ない傾向がある	8.6%	10.0%
3.	担い手と利用者のバランスはちょうどよい	14.5%	14.7%
4.	傾向にムラがあり一概に言えない	22.7%	21.6%
無[	可答	6.0%	7.1%



# ■図表15 担い手と利用者のバランス×類型別

類型		ハ手が ている	2.利用者が 少ない		利用 バラ:	い手と  者の ンスは どよい	4.傾向に ムラがあり 一概に言えない		無回答	
全体	280	48.2%	50	8.6%	84	14.5%	132	22.7%	35	6.0%
A 住民互助型	138	49.6%	17	6.1%	53	19.1%	51	18.3%	19	6.8%
B 社協運営型	87	45.5%	21	11.0%	21	11.0%	56	29.3%	6	3.1%
C 生協型	19	61.3%	1	3.2%	2	6.5%	6	19.4%	1	3.2%
D ワーカーズコレクティブ	16	45.7%	6	17.1%	3	8.6%	7	20.0%	3	8.6%
E 農協型	6	33.3%	3	16.7%	0	0.0%	8	44.4%	1	5.6%
F 行政関与型	2	33.3%	0	0.0%	2	33.3%	0	0.0%	1	16.7%
G 施設運営型	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
H ファミリーサービスクラブ	3	60.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%
Ⅰ その他	7	28.0%	2	8.0%	3	12.0%	2	8.0%	1	4.0%

			平成	22年調査	Ė.					
類型		い手が ている		用者がない	3.担い手と 利用者の バランスは ちょうどよい		ムラカ	向に があり 言えない	無回	回答
全体	178	46.6%	38	10.0%	56	14.7%	82	21.6%	27	7.1%
A 住民互助型	77	47.5%	17	10.5%	24	14.8%	27	16.7%	17	10.5%
B 社協運営型	63	45.0%	14	10.0%	18	12.8%	39	27.9%	6	4.3%
C 生協型	12	57.2%	4	19.0%	0	0.0%	4	19.0%	1	4.8%
D ワーカーズコレクティブ	11	45.8%	2	8.3%	8	33.4%	3	12.5%	0	0.0%
E 農協型	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%	1	16.7%
F 行政関与型	3	50.0%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%	1	16.6%
G 施設運営型	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
H ファミリーサービスクラブ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
Ⅰ その他	8	40.0%	0	0.0%	6	30.0%	5	25.0%	1	5.0%



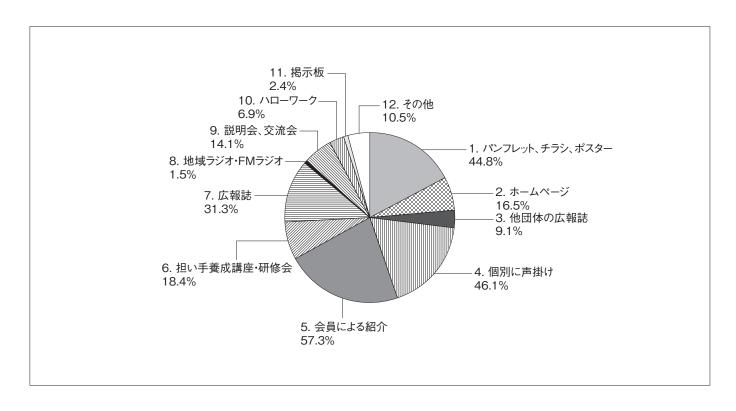
# 9. 担い手の確保・育成への取り組み(問9・複数回答)

担い手の確保と育成に向けて、「担い手募集に効果があった手段」となっているのは、「会員による紹介」が最も多くて57.3%、次いで「個別に声掛け」が46.1%、「パンフレット、チラシ、ポスター」44.8%の順となっている。

また、何らかの取り組みを実施している団体も、平成24年の調査では80%以上である。

### ■図表16 担い手募集に効果があった手段(複数回答)

	選択肢	件数	実施率 (%)
1.	パンフレット、チラシ、ポスター	260	44.8
2.	ホームページ	96	16.5
3.	他団体の広報誌	53	9.1
4.	個別に声掛け	268	46.1
5.	会員による紹介	333	57.3
6.	担い手養成講座・研修会	107	18.4
7.	広報誌	182	31.3
8.	地域ラジオ・FMラジオ	9	1.5
9.	説明会、交流会	82	14.1
10.	ハローワーク	40	6.9
11.	掲示板	14	2.4
12.	その他	61	10.5



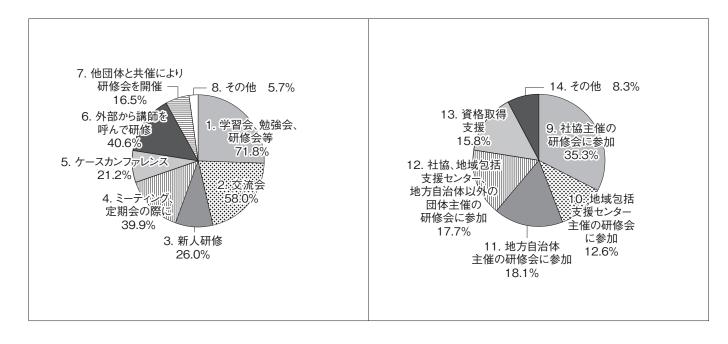
# 10. 担い手への研修機会(問10)

担い手への研修として実施されているものでは、内部研修としては「学習会、勉強会、研修会等」が最も多くて71.8%、次いで「交流会」58.0%、「外部から講師を呼んで研修」40.6%、「ミーティング、定期会の際に」39.9%の順になっている。

また、外部研修としては「社協主催の研修会に参加」が最も多くて35.3%、「地方自治体主催の研修会に参加」18.1%、「社協、地域包括支援センター、地方自治体以外の団体主催の研修会に参加」17.7%と続いている。

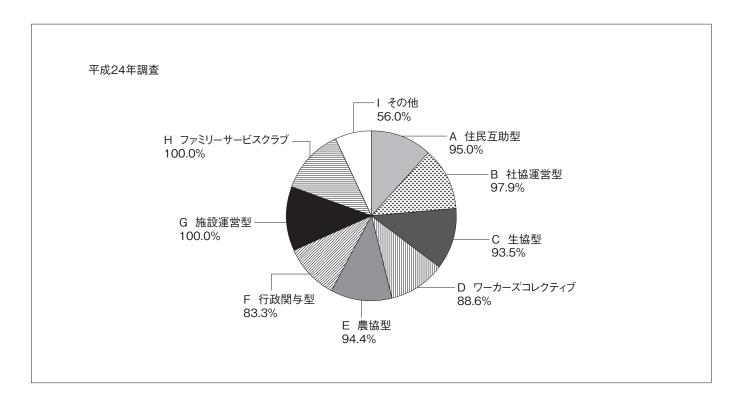
図表17 担い手への研修機会として実施しているもの(複数回答)

	内部研修	件数	実施率(%)
1. 学	習会、勉強会、研修会等	417	71.8
2. 交	流会	337	58.0
3. 新	人研修	151	26.0
4. ₹	ーティング、定期会の際に	232	39.9
5. ケ	ースカンファレンス	123	21.2
6. 外	部から講師を呼んで研修	236	40.6
7. 他	団体と共催により研修会を開催	96	16.5
8. そ	の他	33	5.7
	外部研修	件数	実施率(%)
9. 社	協主催の研修会に参加	205	35.3
10. 地	地域包括支援センター主催の研修会に参加	73	12.6
11. 地	力自治体主催の研修会に参加	105	18.1
12. 社	L協、地域包括支援センター、地方自治体以外の団体主催の研修会に参加	103	17.7
13. 資	<b>S</b> 格取得支援	92	15.8
14. そ	の他	48	8.3



図表18 担い手の確保・育成についての実施率の比較(複数回答)

類型	平成24	年調査	平成22	年調査
,	団体数	実施率(%)	団体数	実施率(%)
A 住民互助型	264	95.0%	94	58.0%
B 社協運営型	187	97.9%	95	67.9%
C 生協型	29	93.5%	13	61.9%
D ワーカーズコレクティブ	31	88.6%	19	79.2%
E 農協型	17	94.4%	2	33.3%
F 行政関与型	5	83.3%	5	83.3%
G 施設運営型	1	100.0%	0	0.0%
H ファミリーサービスクラブ	5	100.0%	1	100.0%
Ⅰ その他	14	56.0%	14	70.0%

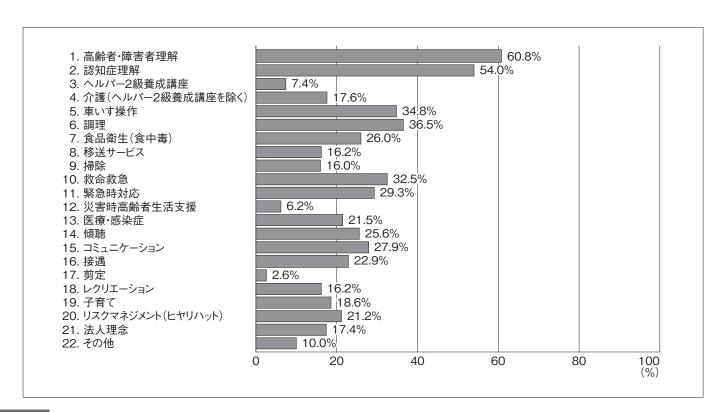


# 11. 担い手への研修内容(問11)

担い手への研修内容として実施されているものでは、「高齢者・障害者理解」が最も多くて60.8%、次いで「認知症理解」54.0%、「調理」36.5%、「車いす操作」34.8%となっている。

図表19 担い手への研修内容で実施しているもの(複数回答)

	選択肢	件数	実施率(%)
1.	高齢者・障害者理解	353	60.8
2.	認知症理解	314	54.0
3.	ヘルパー 2 級養成講座	43	7.4
4.	介護(ヘルパー2級養成講座を除く)	102	17.6
5.	車いす操作	202	34.8
6.	調理	212	36.5
7.	食品衛生(食中毒)	151	26.0
8.	移送サービス	94	16.2
9.	掃除	93	16.0
10.	救命救急	189	32.5
11.	緊急時対応	170	29.3
12.	災害時高齢者生活支援	36	6.2
13.	医療・感染症	125	21.5
14.	傾聴	149	25.6
15.	コミュニケーション	162	27.9
16.	接遇	133	22.9
17.	剪定	15	2.6
18.	レクリエーション	94	16.2
19.	子育て	108	18.6
20.	リスクマネジメント(ヒヤリハット)	123	21.2
21.	法人理念	101	17.4
22.	その他	58	10.0



# 12. サービスの種類と実施形態(問12)

実施しているサービスの種類は、「家事援助」78.5%、「外出援助」70.1%、「話し相手」65.1%が 上位3項目。次いで、「介護」52.2%、「食事(配食)」42.9%が続いている。

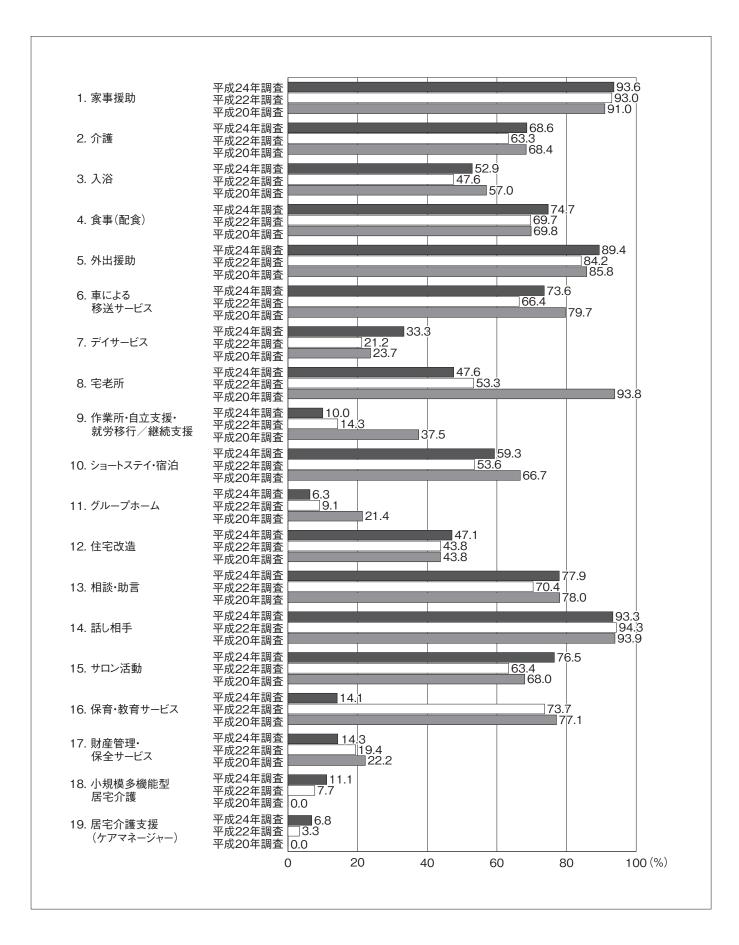
助け合い活動だけを過去と比較してみても、「家事援助」や「外出援助」が共通して高く、平成24年調査の特徴としては、「話し相手」が減り、サンプル数は少ないが「財産管理・保全サービス」が増えている。

### 図表20 サービスの種類と実施形態(複数回答)

					平成2	4年度				
サービスの種類	実施 <i>0</i> (n=:			助け合い活動		皆向け ービス	障害者 公的サ	皆向け ービス	70	の他
	実施 有組織	総 実施率	実施 組織数	実施率	実施 組織数	実施率	実施 組織数	実施率	実施 組織数	実施率
1. 家事援助	456	78.5%	427	93.6%	201	44.1%	147	32.2%	13	2.9%
2. 介護	303	52.2%	208	68.6%	200	66.0%	144	47.5%	4	1.3%
3. 入浴	225	38.7%	119	52.9%	157	93.0%	93	41.3%	4	1.8%
4. 食事(配食)	249	42.9%	186	74.7%	104	41.8%	60	24.1%	14	5.6%
5. 外出援助	407	70.1%	364	89.4%	114	28.0%	128	31.4%	7	1.7%
6. 車による移送サービス	201	34.6%	148	73.6%	69	34.3%	54	26.9%	14	7.0%
7. デイサービス	138	23.8%	46	33.3%	117	84.8%	33	23.9%	4	2.9%
8. 宅老所	21	3.6%	10	47.6%	10	47.6%	3	14.3%	3	14.3%
9. 作業所·自立支援·就労移行/継続支援	30	5.2%	3	10.0%	2	6.7%	26	86.7%	3	10.0%
10. ショートステイ・宿泊	27	4.6%	16	59.3%	11	40.7%	2	7.4%	2	7.4%
11. グループホーム	16	2.8%	1	6.3%	12	75.0%	4	25.0%	1	6.3%
12. 住宅改造	17	2.9%	8	47.1%	10	58.8%	3	17.6%	2	11.8%
13. 相談・助言	235	40.4%	183	77.9%	94	40.0%	65	27.7%	28	8.9%
14. 話し相手	378	65.1%	353	93.3%	48	12.7%	28	3.0%	11	1.0%
15. サロン活動	188	32.4%	144	76.5%	30	16.0%	12	6.4%	28	14.9%
16. 保育・教育サービス	176	30.3%	159	14.1%	0	0.0%	14	1.2%	19	2.7%
17. 財産管理・保全サービス	42	7.2%	6	14.3%	19	45.2%	14	33.3%	20	47.6%
18. 小規模多機能型居宅介護	18	3.1%	2	11.1%	17	94.4%	1	5.6%	1	5.6%
19. 居宅介護支援(ケアマネージャー)	132	22.7%	9	6.8%	126	95.5%	22	16.7%	3	2.3%

		平成2	2年度		平成20年度				
サービスの種類		り状況 380)	助け合い活動		実施の状況 (n=318)		助け合い活動		
	実施率	実施率	実施 組織数	実施率	実施率	実施率	実施 組織数	実施率	
1. 家事援助	316	83.2%	294	93.0%	267	84.0%	243	91.0%	
2. 介護	215	56.6%	136	63.3%	174	54.7%	119	68.4%	
3. 入浴	143	37.6%	68	47.6%	121	66.7%	69	57.0%	
4. 食事(配食)	152	40.0%	106	69.7%	139	43.7%	97	69.8%	
5. 外出援助	279	73.4%	235	84.2%	233	73.3%	200	85.8%	
6. 車による移送サービス	128	33.7%	85	66.4%	118	37.1%	94	79.7%	
7. デイサービス	113	29.7%	24	21.2%	76	23.9%	18	23.7%	
8. 宅老所	15	3.9%	8	53.3%	16	5.0%	15	93.8%	
9. 作業所·自立支援·就労移行/継続支援	35	9.2%	5	14.3%	18	5.7%	7	37.5%	
10. ショートステイ・宿泊	28	7.4%	15	53.6%	21	6.6%	14	66.7%	
11. グループホーム	11	2.9%	1	9.1%	14	4.4%	3	21.4%	
12. 住宅改造	16	4.2%	7	43.8%	16	5.0%	7	43.8%	
13. 相談·助言	162	42.6%	114	70.4%	103	41.5%	80	78.0%	
14. 話し相手	261	68.7%	246	94.3%	214	67.3%	201	93.9%	
15. サロン活動	134	35.3%	85	63.4%	100	31.5%	68	68.0%	
16. 保育・教育サービス	114	30.0%	84	73.7%	96	30.2%	74	77.1%	
17. 財産管理・保全サービス	36	9.5%	7	19.4%	27	8.5%	6	22.2%	
18. 小規模多機能型居宅介護	13	3.4%	1	7.7%	8	2.5%	0	0.0%	
19. 居宅介護支援(ケアマネージャー)	121	31.8%	4	3.3%	78	23.6%	0	0.0%	
※1 宝梅右とけ平成 22 20 年度集	<u>=</u> +1= ±×1	、フ 「F	出け合い	い、千部一	「企業化		「陸宝」	短が # _	

<sup>※1</sup> 実施有とは平成22、20年度集計において、「助け合い活動」「介護保険制度」「障害福祉サービス」「行政からの委託」「その他」の何れかに実施有りと回答した件数を指す



# 13. ホームヘルプサービス利用者の該当制度の内訳(問13)

ホームヘルプサービス利用者の制度別の内訳は、サービス利用者では、「介護保険制度」34.0%、「障害福祉サービス」7.0%、「その他」58.9%となっている。同様に、活動時間では、「介護保険制度」61.2%、「障害福祉サービス」20.1%、「その他」18.7%の割合となっている。

類型別にみると、サービス利用者の内訳で「介護保険制度」の割合が多いのは「F 行政関与型」であり、「障害福祉サービス」では「C 生協型」が高い割合を示している。

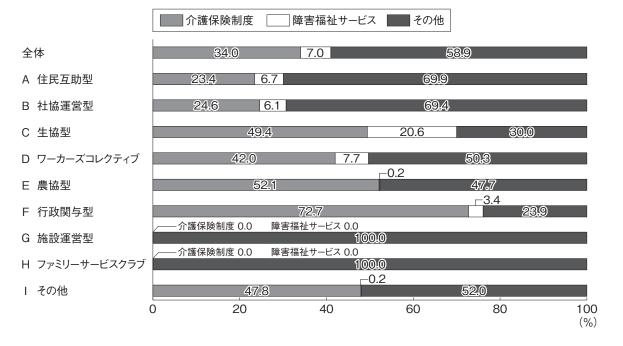
過去の割合との比較では、サービス利用者の内訳においては「介護保険制度」が減る一方、「その他 (助け合い等)」が増えている。また、活動時間はその反対に「介護保険制度」が増え、「その他(助け合い等)」が減っているのがわかる。

図表21 ホームヘルプサービス利用者の内訳

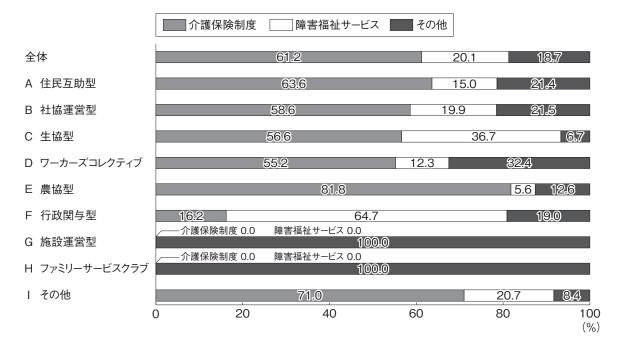
*五 开川		サービスを	利用者(1団体あ	たりの平均人数	及び割合)		
類型	介護保	険制度	障害福祉	サービス	その他(助け合い等)		
全体	526人	34.0%	121人	7.0%	468人	58.9%	
A 住民互助型	272人	23.4%	92人	6.7%	443人	69.9%	
B 社協運営型	430人	24.6%	101人	6.1 %	500人	69.4%	
C 生協型	2433人	49.4%	1220人	20.6%	521人	30.0%	
D ワーカーズコレクティブ	177人	42.0%	38人	7.7%	197人	50.3%	
E 農協型	325人	52.1 %	3人	0.2%	183人	47.7%	
F 行政関与型	10990人	72.7%	520人	3.4%	2708人	23.9%	
G 施設運営型	人0	0.0%	人0	0.0%	134人	100.0%	
H ファミリーサービスクラブ	人0	0.0%	0人	0.0%	1572人	100.0%	
Ⅰ その他	1017人	47.8%	6人	0.2%	554人	52.0%	

	回答	<b></b>	サービス時間(1団体あたりの平均時間及び割合)								
類型	団体数	1団体の 平均時間	介護保険制度		障害福祉	サービス	その他				
全体	577	7204h	13231h	61.2%	4336h	20.1%	4045h	18.7%			
A 住民互助型	278	5089h	9707h	63.6%	2285h	15.0%	3274h	21.4%			
B 社協運営型	191	7083h	12443h	58.6%	4232h	19.9%	4574h	21.5%			
C 生協型	29	25803h	43847h	56.6%	28395h	36.7%	5168h	6.7%			
D ワーカーズコレクティブ	35	6397h	10597h	55.2%	2368h	12.3%	6226h	32.4%			
E 農協型	18	3077h	7553h	81.8%	519h	5.6%	1159h	12.6%			
F 行政関与型	5	27554h	13406h	16.2%	53513h	64.7%	15742h	19.0%			
G 施設運営型	1	101h	0h	0.0%	0h	0.0%	304h	100.0%			
H ファミリーサービスクラブ	5	2399h	0h	0.0%	0h	0.0%	7196h	100.0%			
Ⅰ その他	15	2054h	4372h	71.0%	1273h	20.7%	517h	8.4%			

# サービス利用者(1団体あたりの平均人数及び割合)



### サービス時間(1団体あたりの平均時間及び割合)



# 14. 助け合い活動と介護保険事業の両方を行っている場合の担い手の区別(問14)

助け合い活動と介護保険事業の両者を行っている場合の担い手の区別については、「別々の者が行っている」割合が22.9%、「同じ者が行っている」が51.8%である。「同じ者が行っている」内訳は、「助け合い事業を行っている時と、介護保険事業を行っている時と別々に管理している」45.0%、「助け合い事業を行っている時と、介護保険事業を行っている時と特に管理の区別はしていない」6.8%となっている。

類型別にみると、「別々な者が行っている」が多い類型は、「B 社協運営型」「F 行政関与型」である。「同じ者が行っている」が多い類型では、「D ワーカーズコレクティブ」などとなっている。 この傾向は調査を行った平成18年、平成20年、平成22年に共通している。

図表22 助け合い活動と介護保険事業の両方を行っている場合の担い手の区別×類型別

			平成24	年調査								
類型	全体	別々の者が 行っている		同じ者が行っているが、助け合い事業を行っている時と、介護保険事業を行っている時と別々に管理している(A)		同じ者が行っているが、助け合い事業を行っている時と、介護保険事業を行っている時と特に管理の区別はしていない(B)		(A+B)				
全体	353	81	22.9%	159	45.0%	24	6.8%	183	51.8%			
A 住民互助型	164	13	7.9%	93	56.7%	15	9.1%	108	65.9%			
B 社協運営型	108	54	50.0%	24	22.2%	3	2.8%	27	25.0%			
C 生協型	13	5	38.5%	5	38.5%	1	7.7%	6	46.2%			
D ワーカーズコレクティブ	33	3	9.1%	21	63.6%	4	12.1%	25	75.8%			
E 農協型	15	4	26.7%	9	60.0%	0	0.0%	9	60.0%			
F 行政関与型	4	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%	2	50.0%			
G 施設運営型	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
H ファミリーサービスクラブ	3	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
Ⅰ その他	10	0	0.0%	4	40.0%	1	10.0%	5	50.0%			

		平成24	年調査				
類型	全体	その他(C)		無回答(D)		(C+D)	
全体	353	8	2.3%	84	23.8%	92	26.1%
A 住民互助型	164	3	1.8%	41	25.0%	44	26.8%
B 社協運営型	108	3	2.8%	25	23.1%	28	25.9%
C 生協型	13	0	0.0%	2	15.4%	2	15.4%
D ワーカーズコレクティブ	33	2	6.1%	4	12.1%	6	18.2%
E 農協型	15	0	0.0%	2	13.3%	2	13.3%
F 行政関与型	4	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
G 施設運営型	1	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%
H ファミリーサービスクラブ	3	0	0.0%	3	100.0%	3	100.0%
Ⅰ その他	10	0	0.0%	5	50.0%	5	50.0%

図表23 助け合い活動と介護保険事業の両方を行っている場合の担い手の区別×類型別各年比較

			平成22	2年調査						
類型	全体		別々の者が 行っている		同じ者が行っているが、助け合い事業を行っている時と、介護保険事業を行っている時と別々に管理している(A)		同じ者が行っているが、助け合い事業を行っている時と、介護保険事業を行っている時と特に管理の区別はしていない(B)		(A+B)	
全体	321	62	19.0%	97	30.2%	16	5.0%	113	35.2%	
A 住民互助型	144	11	7.6%	53	36.8%	8	5.6%	61	42.4%	
B 社協運営型	106	44	41.5%	12	11.3%	4	3.8%	16	15.1%	
C 生協型	18	4	22.2%	3	16.7%	0	0.0%	3	16.7%	
D ワーカーズコレクティブ	24	0	0.0%	19	79.2%	3	12.5%	22	91.7%	
E 農協型	5	0	0.0%	4	80.0%	0	0.0%	4	80.0%	
F 行政関与型	5	1_	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	
G 施設運営型	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
H ファミリーサービスクラブ	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
Ⅰ その他	18	1	5.6%	5	27.7%	1	5.6%	6	33.3%	

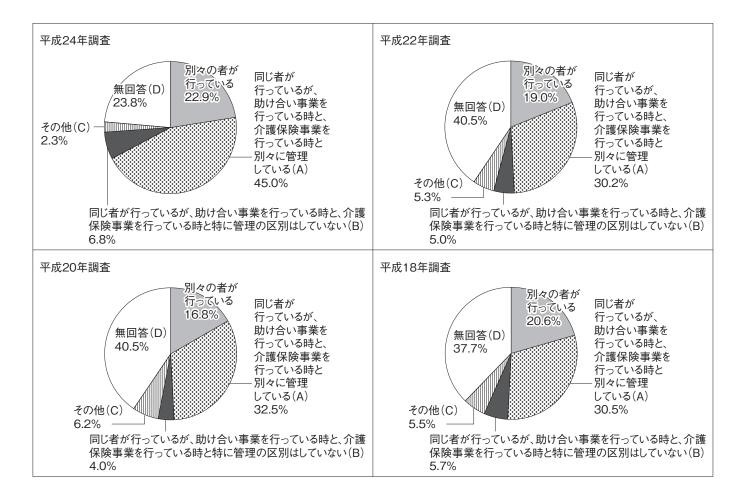
		平成22	2年調査				
類型	全体	その他(C)		無回答(D)		(C+D)	
全体	321	17	5.3%	130	40.5%	147	45.8%
A 住民互助型	144	8	5.6%	64	44.4%	72	50.0%
B 社協運営型	106	7	6.6%	39	36.8%	46	43.4%
C 生協型	18	0	0.0%	11	61.1%	11	61.1%
D ワーカーズコレクティブ	24	0	0.0%	2	8.3%	2	8.3%
E 農協型	5	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%
F 行政関与型	5	0	0.0%	3	60.0%	3	60.0%
G 施設運営型	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
H ファミリーサービスクラブ	1	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%
Ⅰ その他	18	12	11.1%	9	50.0%	11	61.1%

	平成20年調査								
類型	全体		が、助け合い事業を 行っている時と、介 護保険事業を行っ ている時と別々に管 理している (A)		同じ者が行っているが、助け合い事業を行っている時と、介護保険事業を行っている時と性に管理の区別はしていない(B)		(A+B)		
全体	274	46	16.8%	89	32.5%	11	4.0%	100	36.5%
A 住民互助型	131	6	4.6%	56	42.7%	11	8.4%	67	51.1%
B 社協運営型	89	33	37.1%	14	15.7%	0	0.0%	14	15.7%
C 生協型	14	2	14.3%	2	14.3%	0	0.0%	2	14.3%
D ワーカーズコレクティブ	12	0	0.0%	8	66.7%	0	0.0%	8	66.7%
E 農協型	5	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
F 行政関与型	2	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
G 施設運営型	3	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%
H ファミリーサービスクラブ	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
Ⅰ その他	18	1	5.6%	8	44.4%	0	0.0%	8	44.4%

		平成20	年調査				
類型	全体	そのイ	也(C)	無回往	答(D)	(C-	+D)
全体	274	17	6.2%	111	40.5%	128	46.7%
A 住民互助型	131	9	6.9%	49	37.4%	58	44.3%
B 社協運営型	89	6	6.7%	36	40.5%	42	47.2%
C 生協型	14	0	0.0%	10	71.4%	10	71.4%
D ワーカーズコレクティブ	12	1	8.3%	3	25.0%	4	33.3%
E 農協型	5	1	20.0%	2	40.0%	3	60.0%
F 行政関与型	2	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
G 施設運営型	3	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%
H ファミリーサービスクラブ	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
Ⅰ その他	18	0	0.0%	9	50.0%	9	50.0%

			平成18	3年調査					
類型	全体	同じ者が行っているが、助け合い事業を行っている時と、介護保険事業を行っている時と別々に管理している(A)		同じ者が行っているが、助け合い事業を行っている時と、介護保険事業を行っている時と特に管理の区別はしていない(B)		(A+B)			
全体	563	116	20.6%	172	30.5%	32	5.7%	204	36.2%
A 住民互助型	294	24	8.2%	101	34.4%	18	6.1%	119	40.5%
B 社協運営型	144	72	50.0%	23	16.0%	3	2.1%	26	18.1%
C 生協型	16	4	25.0%	2	12.5%	1	6.2%	3	18.7%
D ワーカーズコレクティブ	25	0	0.0%	15	60.0%	3	12.0%	18	72.0%
E 農協型	19	6	31.5%	9	47.4%	1	5.3%	10	52.7%
F 行政関与型	5	4	80.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
G 施設運営型	5	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	3	60.0%
H ファミリーサービスクラブ	2	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%
Ⅰ その他	53	6	11.3%	21	39.6%	3	5.7%	24	45.3%

平成18年調査									
類型	全体	その他(C)		無回答(D)		(C+D)			
全体	563	31	5.5%	212	37.7%	243	43.2%		
A 住民互助型	294	18	6.1%	133	45.2%	151	51.3%		
B 社協運営型	144	6	4.1%	40	27.8%	46	31.9%		
C 生協型	16	3	18.8%	6	37.5%	9	56.3%		
D ワーカーズコレクティブ	25	0	0.0%	7	28.0%	7	28.0%		
E 農協型	19	1	5.3%	2	10.5%	3	15.8%		
F 行政関与型	5	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%		
G 施設運営型	5	0	0.0%	2	40.0%	2	40.0%		
H ファミリーサービスクラブ	2	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%		
Ⅰ その他	53	3	5.7%	20	37.7%	23	43.4%		



# 15. 収入及び支出総額(問15)

平成23年度の収入及び支出総額については、まず全体の有効回答数は427件で、収入総額 4,057.5万円となっており、内訳では「介護保険に関わる収入」が最も多くて47.4%を占めている。 類型別の収入総額では、「F 行政関与型」「D ワーカーズコレクティブ」が高く、内訳では「E 農協型」の「介護保険に関わる収入」が63.9%となっている。

図表24 平成23年度の収入総額と内訳×類型別

(単位:万円)

	全体の 回収数	有効 回答数	収入 総額	助け合い活動 の利用者収入	会費 収入	介護保険に 関わる収入
全体	581	427	4,057.5	495.3	69.8	4,862.8
A 住民互助型	278	215	4,251.4	535.6	46.2	4,963.0
B 社協運営型	191	136	3,985.8	348.2	143.0	5,106.2
C 生協型	29	20	2,449.4	293.6	85.9	8,765.0
D ワーカーズコレクティブ	35	31	6,133.2	912.2	23.9	4,430.0
E 農協型	18	11	793.7	208.9	22.2	1,624.0
F 行政関与型	5	4	9,055.3	1,286.8	158.5	6,193.7
G 施設運営型	1	1	145.0	0.0	0.0	0.0
H ファミリーサービスクラブ	5	3	439.8	172.0	23.1	0.0
Ⅰ その他	15	5	2,102.8	1,242.8	259.5	1,575.7

<sup>※</sup>今回の調査票では、収入総額の項目に記載があって、内訳に記載が無い票もあり、個別に集計としたため「収入 総額」と「各内訳の合計金額」は一致しない。

	自立支援法 制度等収入	行政からの 事業委託収入	助成金 収入	寄附金 収入	その他
全体	974.2	990.4	274.6	56.5	917.2
A 住民互助型	1,052.6	423.2	137.4	46.2	387.6
B 社協運営型	1,122.7	2,223.1	845.7	154.1	2,200.3
C 生協型	1,716.0	11.0	181.5	12.2	488.6
D ワーカーズコレクティブ	680.7	303.7	128.5	25.7	448.2
E 農協型	0.0	32.7	39.3	0.0	50.2
F 行政関与型	174.0	4,883.3	1,898.0	9.0	1,577.3
G 施設運営型	0.0	145.0	0.0	0.0	0.0
H ファミリーサービスクラブ	0.0	304.7	58.7	0.7	14.6
Ⅰ その他	172.0	388.0	27.5	13.4	55.7

図表25-1 平成23年度の収入内訳(割合)×類型別

	全体	助け合い活動 の利用料収入	会費 収入	介護保険に 関わる収入	自立支援法 制度等収入	行政からの 事業委託収入
全体	100%	10.1%	1.2%	47.4%	8.2%	11.9%
A 住民互助型	100%	10.8%	0.9%	61.4%	11.0%	5.5%
B 社協運営型	100%	6.9%	1.7%	20.7%	4.1%	24.2%
C 生協型	100%	9.6%	2.8%	57.3%	11.2%	0.1%
D ワーカーズコレクティブ	100%	14.0%	0.3%	61.3%	8.4%	2.9%
E 農協型	100%	18.1%	1.9%	63.9%	0.0%	1.3%
F 行政関与型	100%	14.2%	0.9%	51.3%	1.0%	40.4%
G 施設運営型	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
H ファミリーサービスクラブ	100%	29.3%	5.3%	0.0%	0.0%	52.0%
Ⅰ その他	100%	36.9%	6.2%	28.1%	3.1%	9.2%

	助成金 収入	寄附金 収入	その他
全体	3.8%	0.7%	14.1%
A 住民互助型	2.3%	0.7%	6.0%
B 社協運営型	6.9%	0.8%	30.0%
C 生協型	4.2%	0.2%	13.6%
D ワーカーズコレクティブ	1.3%	0.3%	5.5%
E 農協型	4.3%	0.0%	3.6%
F 行政関与型	5.2%	0.0%	13.1%
G 施設運営型	0.0%	0.0%	0.0%
H ファミリーサービスクラブ	10.0%	0.1%	3.3%
Ⅰ その他	0.3%	0.3%	1.0%

図表25-2 平成20年調査の収入×類型別

(単位:	万円)
------	-----

	平成20年調査								
	全体の 回収数	有効 回答数	収入 総額	助け合い活動 の利用者収入	会費 収入	介護保険に 関わる収入			
全体	322	288	4,247.5	630.8	64.5	2,036.7			
A 住民互助型	152	144	3,355.1	503.2	43.7	1,980.2			
B 社協運営型	111	95	3,860.1	433.9	51.1	1,622.7			
C 生協型	17	15	1,960.6	390.5	79.2	939.6			
D ワーカーズコレクティブ	12	11	2,414.9	829.9	14.3	1,053.3			
E 農協型	5	3	147.3	40.7	14.3	0.0			
F 行政関与型	3	3	11,488.7	2,079.3	950.7	0.0			
G 施設運営型	3	2	6,613.5	0.0	186.5	700.0			
H ファミリーサービスクラブ	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0			
Ⅰ その他	19	15	17,955.9	3,109.7	187.4	8,012.4			

		平成20年調査			
	自立支援法 制度等収入	行政からの 事業委託収入	助成金 収入	寄附金 収入	その他
全体	364.2	376.9	133.7	121.6	519.1
A 住民互助型	277.0	153.6	81.5	37.8	278.1
B 社協運営型	224.6	376.9	235.9	23.7	891.3
C 生協型	49.9	4.2	49.2	2.3	445.7
D ワーカーズコレクティブ	219.0	196.3	17.4	10.4	74.3
E 農協型	0.0	22.7	45.0	5.0	19.6
F 行政関与型	0.0	1,546.7	633.3	6,242.0	36.7
G 施設運営型	5,023.5	0.0	263.5	240.0	200.0
H ファミリーサービスクラブ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Ⅰ その他	2,031.3	2,912.0	58.9	530.8	1,113.4

	平成20年調査									
	全体	助け合い活動 の利用料収入	会費 収入	介護保険に 関わる収入	自立支援法 制度等収入	行政からの 事業委託収入				
全体	100%	14.9%	1.5%	48.0%	8.6%	8.9%				
A 住民互助型	100%	15.0%	1.3%	59.0%	8.3%	4.6%				
B 社協運営型	100%	11.2%	1.3%	42.0%	5.8%	9.8%				
C 生協型	100%	19.9%	4.0%	47.9%	2.5%	0.2%				
D ワーカーズコレクティブ	100%	34.4%	0.6%	43.6%	9.1%	8.1%				
E 農協型	100%	27.6%	9.7%	0.0%	0.0%	15.4%				
F 行政関与型	100%	18.1%	8.3%	0.0%	0.0%	13.5%				
G 施設運営型	100%	0.0%	2.8%	10.6%	76.0%	0.0%				
H ファミリーサービスクラブ	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
Ⅰ その他	100%	17.3%	1.0%	44.6%	11.3%	16.2%				

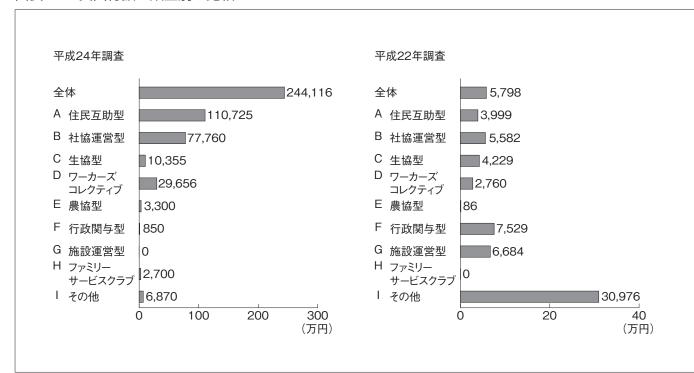
平成20年調査						
	助成金 収入	寄附金 収入	その他			
全体	3.1%	2.9%	12.2%			
A 住民互助型	2.4%	1.1%	8.3%			
B 社協運営型	6.1%	0.6%	23.1%			
C 生協型	2.5%	0.1%	22.7%			
D ワーカーズコレクティブ	0.7%	0.4%	3.1%			
E 農協型	30.5%	3.4%	13.3%			
F 行政関与型	5.5%	54.3%	0.3%			
G 施設運営型	4.0%	3.6%	3.0%			
H ファミリーサービスクラブ	0.0%	0.0%	0.0%			
Ⅰ その他	0.3%	3.0%	6.2%			

### 図表26 平成24年度の支出総額×類型別

	類型	有効回答数	総支出額
全1	体	302	244,116
Α	住民互助型	125	110,725
В	社協運営型	122	77,760
С	生協型	15	10,355
D	ワーカーズコレクティブ	23	29,656
Ε	農協型	4	3,300
F	行政関与型	1	850
G	施設運営型	0	0
Н	ファミリーサービスクラブ	4	2,700
I	その他	6	6,870

	(	(単位:万円)					
平成20年調査							
類型	有効回答数	総支出額					
全体	178	5,798					
A 住民互助型	105	3,999					
B 社協運営型	46	5,582					
C 生協型	5	4,229					
D ワーカーズコレクティブ	7	2,760					
E 農協型	1	86					
F 行政関与型	3	7,529					
G 施設運営型	2	6,684					
H ファミリーサービスクラブ	0	0					
Ⅰ その他	9	30,976					

### 図表27 支出総額×類型別の比較

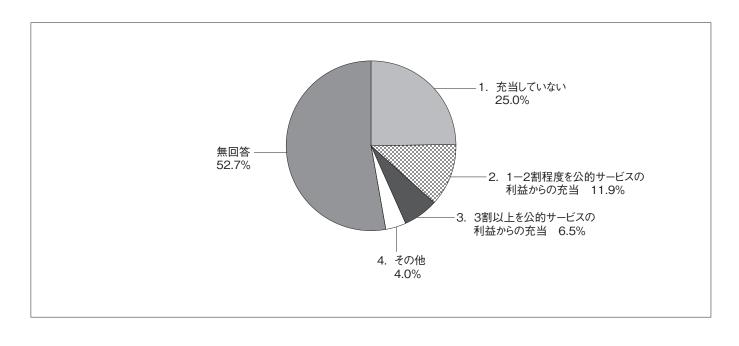


# 16. サービスの収益を「たすけあい活動」にどの程度充当しているか(問16)

介護保険サービスや自立支援法によるサービスを実施している場合、その収益を「たすけあい活動」にどの程度充当していますか。「たすけあい活動」に係る支出全体に占める割合等をご回答くださいとの問いに対して、「充当していない」と答えた団体が全体の4分の1を占めている。

図表28 介護保険サービスや自立支援法によるサービスを「助け合い活動」に充当しているか?

選択肢	件数	率 (%)
1. 充当していない	145	25.0
2. 1-2割程度を公的サービスの利益からの充当	69	11.9
3. 3割以上を公的サービスの利益からの充当	38	6.5
4. その他	23	4.0
無回答	306	52.7



# 17. サービスの種類ごとの利用料、担い手の受取額(問17)

平成24年調査のサービスの種類ごとの利用料、担い手の受取額(1団体あたりの平均)は、図表44のようになっている。また、各サービスの種類ごとの経年比較は図表46に示している。

# ■図表29-1 サービスの種類ごとの利用料、担い手の受取額(1団体あたりの平均)

平成24年調査							
サービスの種類		利用料			担い手の受取額		
リーころの作業	金額	(円)	集計数	金額	(円)	集計数	
1. 内容にかかわらず定額	1 時間	808.3	302	1時間	712.1	303	
1. 内谷にがかりりり足領	1 回	815.5	67	1 回	794.0	65	
2. 日常生活のお手伝い(家事援助等)	1 時間	911.7	144	1時間	765.4	139	
	1 🗓	869.7	30	1 🗓	710.3	33	
3. 介護・介助	1 時間	1,142.2	99	1時間	896.9	94	
3. 月暖:月助	1 回	1,129.8	20	1 回	913.6	21	
4. 給食・配食	1 食	475.5	67	1時間	371.0	35	
4. 和良、癿良	1 艮	475.5		1 回	448.5	24	
5. 移送	1 回	620.7	40	1時間	636.3	48	
5. 惨运	I L	629.7	49	1 回	528.6	28	
6. いきいきサロン・ミニデイ(たまり場)の提供	1 回	549.7	84	1 🗓	450.0	53	
7. その他	1 時間	799.4	65	1時間	748.4	63	
7. その他	1 🗓	712.5	24	1 🗓	762.6	25	

# ■図表29-2 サービスの種類ごとの利用料、担い手の受取額(1団体あたりの平均)×各年比較

平成22年調査							
サービスの種類		利用料			担い手の受取額		
り一こへの程規	金額	(円)	集計数	金額	(円)	集計数	
   1. 内容にかかわらず定額	1 時間	812.8	195	1 時間	718.7	195	
T. 内谷にかがわりり足額	1 回	900.7	42	1 回	8.808	42	
2. 日常生活のお手伝い(家事援助等)	1 時間	871.2	73	1 時間	796.9	73	
	1 🗓	944.0	20	1 🗓	846.0	20	
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 時間	1,171.2	50	1 時間	1,002.7	50	
3. 介護・介助	1 🗓	1,080.0	15	1 🗓	972.0	15	
4. 給食・配食	1 食	462.4	38	1 時間	605.3	19	
4. 和良·凯良 	1 食   463.4		36	16	404.2	19	
5. 移送	1 🗇	E 547.4	00	1 時間	684.5	11	
3. 炒达		517.1	38	34	470.0	5	
6. いきいきサロン・ミニデイ(たまり場)の提供	1 🗓	745.9	22	1 🗓	417.6	38	
7 204	1 時間	799.4	65	1時間	778.9	34	
7. その他	1 回	712.5	24	1 🗓	524.1	22	

# ■図表29-2 サービスの種類ごとの利用料、担い手の受取額(1団体あたりの平均)×各年比較

平成20年調査							
サービスの揺粕	利用料			担	担い手の受取額		
サービスの種類	金額	(円)	集計数	金額	(円)	集計数	
1. 内容にかかわらず定額	1 時間	828.9	164	1 時間	688.2	165	
1. 内容にかかわらず定額 	1 回	770.2	25	1 🗓	735.4	24	
2. 日常生活のお手伝い(家事援助等)	1 時間	886.3	76	1 時間	759.9	78	
	1 🗓	745.0	12	1 回	625.0	10	
3. 介護・介助	1 時間	1,060.9	53	1 時間	859.6	53	
3. 介護・介助	1 回	933.3	9	1 🗓	716.7	9	
4. 給食・配食	1 食	F06.0	29	1 時間	528.4	20	
4. 粒皮·癿皮 	1 食   596.2		29	29	518.9	9	
5. 移送	1 回	707.5	- 00	1 時間	567.1	21	
5. 修达	I III	787.5	28	32	586.3	8	
6. いきいきサロン・ミニデイ(たまり場)の提供	1 🗓	3,340.0	5	1 🗓	626.8	28	
7 2014	1時間	799.4	65	1 時間	925.6	32	
7. その他	1 回	712.5	24	1 🗓	2,740.0	5	

### ■図表29-3 サービスの種類ごとの利用料、担い手の受取額(1組織あたりの平均)の項目別比較

### 1. 内容にかかわらず定額

単位:円

内容		平成 24 年調査	平成 22 年調査	平成 20 年調査
利用料	1 時間	808.3	812.8	828.9
	1 回	815.5	900.7	770.2
担い手の受取額	1 時間	712.1	718.7	688.2
担い子の支収額	1 回	794.0	8.808	735.4

### 2. 日常生活のお手伝い(家事援助等)

単位:円

内容		平成 24 年調査	平成 22 年調査	平成 20 年調査
利用料	1 時間	911.7	871.2	886.3
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1 回	869.7	944.0	745.0
担い手の受取額	1 時間	765.4	796.9	759.9
	1 🗇	710.3	846.0	625.0

# 3. 介護・介助

単位:円

内容		平成 24 年調査	平成 22 年調査	平成 20 年調査
利用料	1 時間	1,142.2	1,171.2	1,060.9
	1 回	1,129.8	1,080.0	933.3
担い手の受取額	1 時間	896.9	1,002.7	859.6
世の一句の文奴領	1 回	913.6	972.0	716.7

### 4. 給食・配食

単位:円

内容		平成 24 年調査	平成 22 年調査	平成 20 年調査
利用料	1 食	475.5	463.4	596.2
担い手の受取額	1 時間	636.3	605.3	528.4
担い古の文奴領	1 回	528.6	404.2	518.9

### 5. 移送

単位:円

内容		平成 24 年調査	平成 22 年調査	平成 20 年調査
利用料	1 回	629.7	616.3	673.8
センチの妥取館	1 時間	636.3	684.5	567.1
担い手の受取額	1 🗓	528.6	470.0	586.3

### 6. いきいきサロン・ミニデイ(たまり場)の提供

単位:円

内容		平成 24 年調査	平成 22 年調査	平成 20 年調査
利用料	1 回	549.7	517.1	787.5
担い手の受取額	1 回	450.0	417.6	626.8

# 7. その他

単位:円

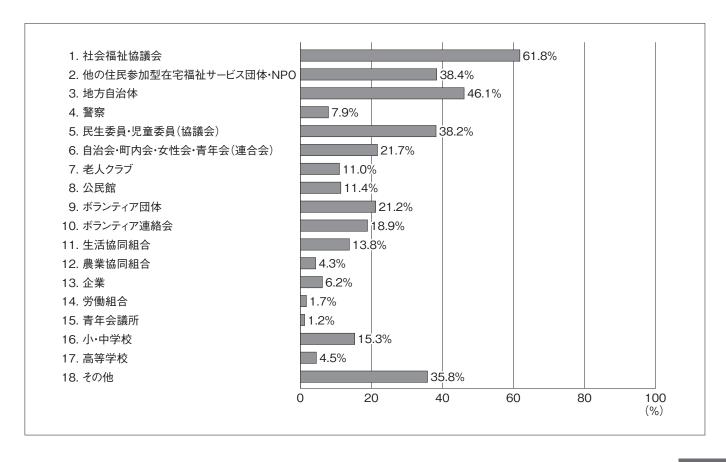
内容		平成 24 年調査	平成 22 年調査	平成 20 年調査
利用料	1 時間	799.4	866.8	1,022.8
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1 回	712.5	745.9	3,344.0
サンチの空取宛 -	1 時間	748.4	778.9	925.6
担い手の受取額	1 回	762.6	524.1	2,740.0

# 18. 日常的に協力・連携している団体について(問18)

団体が活動するうえで、日常的に協力・連携関係がある団体について聞いたところ、「社会福祉協議会」が最も多く61.8%、次いで「地方自治体」46.1%、「他の住民参加型在宅福祉サービス団体・NPO」38.4%と続いている。

### ■図表30 日常的に協力・連携関係がある団体

	選択肢	件数	率 (%)
1.	社会福祉協議会	359	61.8
2.	他の住民参加型在宅福祉サービス団体・NPO	223	38.4
3.	地方自治体	268	46.1
4.	警察	46	7.9
5.	民生委員・児童委員(協議会)	222	38.2
6.	自治会・町内会・女性会・青年会(連合会)	126	21.7
7.	老人クラブ	64	11.0
8.	公民館	66	11.4
9.	ボランティア団体	123	21.2
10.	ボランティア連絡会	110	18.9
11.	生活協同組合	80	13.8
12.	農業協同組合	25	4.3
13.	企業	36	6.2
14.	労働組合	10	1.7
15.	青年会議所	7	1.2
16.	小・中学校	89	15.3
17.	高等学校	26	4.5
18.	その他	208	35.8

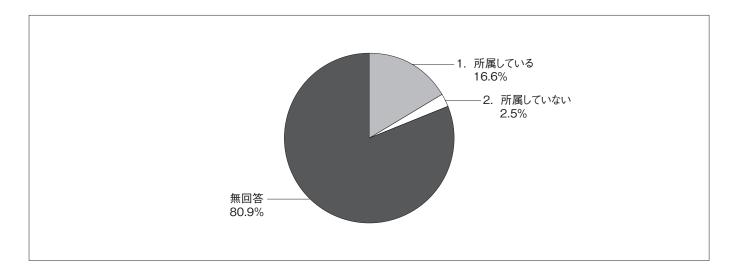


# 19. 一定のエリア内で所属している連絡会等(問19)

一定のエリア内で住民参加型在宅福祉サービス団体間の連絡会等に所属しているかどうかを聞いたところ、「所属している」と答えた団体は16.6%であった。

### ■図表31 住民参加型福祉サービス団体間の連絡会等に所属の有無

	選択肢	件数	率 (%)
1.	所属している	289	16.6
2.	所属していない	43	2.5
3.	無回答	1411	80.9



# 20. 公的制度について考えていること(問20・フリー回答)

#### ■介護保険等、高齢者施策

- ○査定をゆるやかに、仕事内容も広くして利用者の負担を少なく。利用者の介護保険のPRに努めて下さい。
- ○改正により、介護が重要視され生活援助が軽視され時間数が減らされるのは、要介護の人をふやす事になる。生活援助があってこそ人間らしい生活ができる。
- ○介護保険で補えない部分、介護保険に至らないけれどなんらかの支援が必要と思われる高齢者に対象を絞っているので、 事業所等と連携しながら進めていく。
- ○介護認定基準が厳しくなり、制度のサービスだけでは足りずに困っている利用者が増えている。地域のたすけあい活動がさらに充実していかなければならない。
- ○公的制度だけでは、利用制限や、料金が高く、本サービスに対する役割というものが、重要と言うことは良くわかるが、 専門職が考えているほど、公的制度を補完できるサービスではない。
- ○人権(尊厳)を終末期まで、保障される制度化…普通の暮らしを。
- ○認知症者に対する生活支援に関して、内容的に不足がある。在宅での生活支援 (独居者) が不足なため近隣とトラブル。
- ○介護保険の欠点は自宅にヘルパーが来ても1日2時間ぐらいしかいてくれない。介護保険外の部分を当会が担っています。介護認定されている人は、目いっぱい使って頂く様にしています。
- ○介護と医療の連携や地域包括ケア体制についてどのように取り組んで行けばよいのかが課題と考えている。
- ○制度改正とともに公的制度では充足できない生活ニーズは一層増えていると感じる。今後の高齢者福祉において、有償 在宅福祉サービスや小地域福祉活動の充実など住民主体のたすけあい活動の必要性は高いと考えている。
- ○介護保険では、生活支援の見直し等により、同居の家族の介護者の負担軽減になっておらず、家庭での介護には限界を 感ずる。
- ○当会ではヘルプ利用者の約半数が介護保険を利用しながら、通院介助、家族が帰宅するまでの認知症の見守り、家事援助などの依頼が多い。また、独居高齢者で日常資金の銀行からの引出の相談もある。介護家族の負担軽減や生活全体を考えた支援が必要と考える。
- ○同居家族がいる場合の生活介護の利用が限定的になっており、日中独居の方の利用を広く認めて利用できるようになる と良い。
- ○H・Hの活動内容や制限の緩和を検討してほしい。自立や家族による支援を重視することは理解できるが、状況やニーズに臨機応変に対応できるようにしてほしい。
- ○訪問介護のヘルパーは細切れの時間で移動するため効率が悪い。まとまって働けるデイサービスなどへ移行していく人が多く、担い手不足になっている。
- ○高齢者を見守る包括支援センターの機能の充実が地域の高齢者やそれを見守る団体、地域住民への意識の向上と安心に 繋がると考える。
- ○介護保険給付費内での職員処遇では安心して仕事を続けることは出来ないので改善すべき。
- ○ケアマネは全て独立させるべき。在宅と同じく抱えこみになっている。給付費の人件費割合を統一すべき。
- ○より一層、在宅で安心して暮らせるための施策を期待する。
- ○稼動率の低い公的施設のNPOの利用を進める施策(複数あるにも関わらず、利用を認めず無駄に維持費を費やしている)。
- ○利用者本位でなく家族本位で利用されている。高齢者は守られていない。自立支援とお世話やサービスの違いをはっきりさせる。
- ○若年性認知症患者への対応を検討していただきたい。若年性認知症に対応したサービスがない。
- ○身体的な機能向上や維持に向けての施策だけではなく、生きる意欲を引き出す援助となる施策作りをしてほしい。
- ○高齢者へのボランティアに若い人が関心を持つ様な施策があれば(人材育成)。
- ○高齢者施策→公的機関より補助金の増額を希望する。
- ○介護保険の申請しても決定まで時間がかかる。
- ○処遇改善等を初めとして、申請、手続きが繁雑過ぎるため、簡素化できるところは積極的に着手して貰いたいと常に思っている。
- ○60才代の男性に対する、予防対策。
- ○介護員の賃金が安すぎる。
- ○利用者負担が1割と安いので必要以上に利用している人がいる 看護料金が高すぎる。介護の単位が低すぎるので介護 職定着しない。
- ○制約が多すぎる。
- ○介護保険のハードルが高くなり戸惑う利用会員が増加中。

- ○介護保険サービスの内容が変更される度に利用者にとって中味が悪くなって気の毒に思う。私たちのようなNPOができることには限度がある。国や県・市町村は私たちNPOに依頼はしてくるが、予算を配分してはくれない。又人材も紹介はしてくれない。資格養成をしたいがむずかしい。
- ○訪問介護をしぼり込む(24年4月改正)改正でしたので、時間数が減って、利用者の入所が増加、運営は難しくなっている。 生活援助(ヘルプ)を使いやすくした方が、長く在宅で頑張れると思う。
- ○介護保険認定者が自立と認定されたあと利用する所がなく、当事業所のような宅老所が注目されている。
- ○公的なサービスをはじめとする、既存の社会資源では対応に限りがあり、住民の生活ニーズを解決するため、お互いの 暮らしを支えあう「お互いさま活動」をさらに促進する。
- ○独居高齢者に対するサービスの情報不足や、サービスの隙間で支援が必要な方への対応ができにくい。特に高齢者施策 に関しては、支援できるサービスの緩和を求めたい。
- ○施設が、多くなりすぎて、利用者の奪い合いになり、なくなっている現状に、不満。
- ○「認知症初期集中支援チーム」への期待と連携。
- ○介護保険改正による影響で、そこからはみ出したニーズが増加している。
- ○高齢者施策の中に移動手段確保を重点的にしたいため県から補助金をほしい ガソリン代値上げや車維持費がかかる。 NPOだけでの活動ではムリ。福祉有債運送運営補助。
- ○制度改正による訪問介護事業における生活援助の時間区分が、生活実態に合っていない。
- ○家に引きこもりの高齢者への策があった方がよい、また心のケアにも力を入れてほしい。
- ○予防の方の家事(特にそうじ)は公的なものではなくたすけあい等の利用が適当と考える。
- ○私の地域では、よくまわっている(機能している)と思います。ケアプラザ職員・ケアマネがよく動く。
- ○高齢社会になり、対策が益々重要になって行くにもかかわらず、公的支援が減少されることに矛盾を感じている。
- ○住む環境(都会、田舎)によって、提供内容や料金に不公平が生じている。
- ○地域のことに関心を持ち高齢者が、もっと地域活動をしてほしい。
- ○介護保険制度の利用単位を45分から60分に戻してほしい。利用者は45分越えた部分負担増となり、ヘルパーも45分内の作業で忙しい思いをして、利用者の要求に応えられない、などの弊害がでている。
- ○サービス提供可能な内容と不可能な内容を区別がはっきりしており、利用者の気持ちにマッチしない。
- ○負担額が大きすぎます。2割に改正すれば利用控えが発生します。
- ○居宅介護事業所での保険者のかかえこみにより、本来の地域の中でその人らしくすごせる状況ではなく又低所得者に対しての施策が不十分。
- ○制度がどんどん変わっていくので理解できない。
- ○在宅で暮らし続けられるようにという方向性はよいと思うが、安心して自分らしく在宅生活を送るためにはサービスが不足している。個々のニーズに合わせたきめ細やかなサービス提供が必要だと思う。
- ○当初の介護保険の目的であった家族の負担軽減と逆方向に進んでいる。もっと現場の声を反映させて、改善してもらいたい。
- ○高齢者のミニデイを実施し、送迎車をボランティアに協力してもらっている。
- ○障害者が介護保険に急に切り換わると今まで受けていたサービスを受けられなくなるのは、重要な問題。
- ○制度外の事への協力をしている 国の制度の中でやるのは、型にはまってやりにくい面もある。
- ○介護保険の家事援助サービスは、同居家族がいるとサービス内容に制限があるため住民参加型在宅福祉サービスへ依頼 あり、担い手(協力会員)に対して専門性を求められる場合があり難しい。
- ○日常生活支援の巾がどんどん狭まり、たすけあいの会への依頼が増え対応に困難になってくる。社会制度の充実を望む。
- ○たすけあい活動に対する公的補助があるとよい。
- ○担い手不足が続いており、養成を行なう。
- ○いずれも公的サービスのみで生活を支えていくことはできないので、つなぎ目のない生活支援サービス (活動) を行なっていくことや、そのサービスを調整する人が地域の中に必要である。
- ○社協の広報誌及びホームページによる情報発信を行っているが、それ以外で高齢者世帯に情報発信する方法を検討中。
- ○介護保険制度の改定の度に介護を必要としている高齢者、障がい者が最後まで自分らしい、尊厳のある生活を続けることを困難にしている。訪問介護でヘルパーに入浴介助を受けている者がゆっくりお風呂を楽しむことが出来ない、ヘルパーは限られた時間に入浴介助、洗濯、片づけ、掃除をしなければならない。契約された仕事をこなすためには入浴時間を削るしかない。もうちょっと湯につかりたいと願うのを、ごめんなさい、と謝りながら急がせてしまう、あるときには所定の時間をオーバーしてしまうことも、それはボランタリーな心。いつもいつもというわけにはいかない、ヘルパーには生活があり持ち時間をこいなさなければならない。介護を受けている者の悲鳴を聞くヘルパーの心は重い。訪問介護の利用者は千差万別であるので、一概に時間が不足というわけではないし、中には保険はただ使わなければ損、

- というような者も居る。ケアマネの裁量が期待される。高齢者施策 生活保護受給者の一部の方々かもしれないが、特に男性が暇をもてあまして、ギャンブル、酒、たばこなどに保護費の大半を使い果たしている。多少なりとも就業の場があればそこで意議ある時間を過ごすことが出来るのではないか。行き場のない者が収容される、ホームではNPOと名乗る悪質者が保護費の横取りをする。建徳的に住むアパートを自治体が建て自治体職員が巡回するなど見守りしたり、就業を進めたり、人生相談などの人間性を取り戻すような制度は難しいのでしょうか。経済政策で保護費を下げるなどで真面目に暮らしている家庭の生活が壊れないだろうか。自治体の知恵ある政策を待望している。
- ○地域のニーズに即したサービスは、制度でまかないきれず今後は益々厳しくなる。
- ○行政は、NPO法人やボランティア団体などを、もっと有効に活用してほしい。
- ○介護負担軽減のための制度なのに利用制限が多く、そのため介護者に肉体的・精神的・経済的に負担を強いられている。 利用者・介護者の視点に立って制度を考えてほしい。
- ○介護保険が負担になってきている現状。
- ○食事サービスの重要性の認知と利用者負担の補助制度の制定を。
- ○制度の改正に毎回ほんろうさせられている。説明会がいつも実施日の1ヶ月~2ヶ月前で、準備期間がないままに移行する。制度改正は、せめて半年位前に説明し、事業所が改正の内容が理解でき、ご利用者さまにも説明ができるような期間をとって欲しい。
- ○改正により、介護が重要視され生活援助が軽視され時間数が減らされるのは、要介護の人を、ふやす事になる。生活援助があってこそ人間らしい生活ができる。
- ○ケアマネが少ない。看護師が少ない。医者との連携がとりにくい。
- ○今の高齢者は何とか"支え"があるが10年後、20年後は"支え手""支えるシステム"が心配。
- ○施設乱立により、小規模事業所から順になくなって(事業所閉鎖)いくと思います。
- ○同居で昼間独居の高齢者への生活支援が介護保険対応をしてもらえないこと。
- ○夫婦や家族同居で高齢や病気・障害を持っているけれど介護保険で対応してもらえない。
- ○特に中山間地に於ける、高齢者を支える制度の充実。
- ○介護報酬が低いため、余裕を持った人員配置ができない。
- ○ケアマネージャーは、要介護の人のケアは自団体の事業所にまわして、我々の所へは要支援の人しかまわってこない。 楽な仕事は自分の所で取って、問題のある人だけ他へまわしている。
- ○居宅支援に重きを置いている事業であるが利用者本人及び家族のお泊りについての要望が強い傾向にある。中央では宿 泊が出来るデイサービスのある事例を聞くが規制緩和が進み県下でも実現できるよう要望したい。
- ○今後ますます介護保険のサービスが限定されるので、制度外サービス活動をもっと重視しなくてはならない。
- ○たすけあい活動は(主に家事支援等)介護保険利用に移行している。
- ○高齢者の増加に伴い、利用者も増え、利用料の見直しが必要(割増し)。
- ○介護職員の確保が困難 ・処遇改善のための収入が得られず、民間での継続に不安がある。
- ○事業者や識員に明るい未来を…。
- ○個人対象の介護保険制度における家族同居世帯(高齢者夫婦世帯等)を対象とする「家事援助」の限界と矛盾(家族の介護力や機能評価が画一的)。
- ○事業所の乱立によりサービスの質の低下が懸念される。
- ○サービス項目の内容変更による生活援助について、生活援助2、では利用者の望むサービスがむずかしい。~してはいけない、等しばりが多すぎる。
- ○時間が短くなり、利用者、ヘルパー共困っている。
- ○産業もなく子供が地区に残らない事から高齢者の方が車いす等で通院しなければいけない方の為介護用の自動車があればと思う。
- ○過疎地での介護保険事業所は、継続が困難のように考える。国土を守るためにも、村落で住み続けていけるような公的制度の必要性を感じる。
- ○介護保険制度における日常生活支援枠が狭まり、その分会の活動が期待され、受けるのに大変。
- ○介護保険は、"住み慣れた、わが家、わが街で最後まで"という、理想の生き方の上に、作られた制度のように思われましたが、どんどん制約され、使いづらく、気がつくと高齢者住宅が乱立し、力のある大手事業所が、かかえ込む。質等は無視された制度となった。
- ○介護の質について、充分に把握されるようなチェック体制になっていないため、小規模事業所の運営はむずかしいままであり、改善を希望したい。
- ○制度の変更に振り回されているような気がする。社会的介護から自助、家族介護に変ってきているのでは。
- ○訪問介護をしばり込む(24年4月改正)改正でしたので、時間数が減って、利用者の入所が増え、運営は難しくなっている。

- 生活援助(ヘルプ)を使いやすくした方が、長く在宅で頑張れると思う。
- ○介護保険制度が施行されて12年が経つが、年々保険料が上がり、制度は使いにくいという声を利用者からよく聞く。 色々なサービスが設定されるのは結構なことであるが、逆に使いやすいサービスの制限もある。「訪問介護」を例にとる と、生活支援の短時間化が利用者からよく言われる。厚生労働省の役員曰く「洗濯は16分有ったら出来る」とか生活面 の軽視が多いと思う。生活が確立されてこそ、介護予防は出来ると思うのだが…また、地域区分について都会ほど加算 されるようになったが、地方や限界集落にとっての評価が少ない。中山間地域加算というのがあるが、加算と言うかた ちではなく、地域として評価して欲しいものである。そして、サービス単価が上がっても、限度額が変わっていないた めこの点も改善していただきたい。
- ○制度を利用するための申請に時間がかかる。サービス内容に制限しばりが多く、柔軟性がない。
- ○指定を受けてサービスを提供しています。
- ○介護保険がどんどん厳しくなるにつれ、たすけあい活動の需要がたかまっているのが目に見えてわかります。今後はたすけあい活動にもう少し重点をおいてほしい。
- ○訪問介護、デイサービスについて①要支援の利用者負担が定額制なのはおかしい。1回しか、利用しなくても定額になっているので、給付が、増えている。②要介護4や5の方の給付が、足りず、在宅で、1人暮しや老々介護の場合、自費負担が多い。
- ○介護保険での生活援助型のサービスが削減されたことにより、特に買物のサービスに不都合が生じている。スーパーまでの往復時間が30分以上かかるケースもあり、実状と生活圏の実態に応じた居宅計画が行われることが望ましい。
- ○家族がいても、もっと使えるサービスを増やしてほしい。
- ○①同居家族がいる場合にヘルパー利用が困難になっている傾向がある。柔軟な対応を求めたい。②障害者自立支援法でサービスを受けていた人が65歳以上になると介護保険法に移行する場合があるが、サービスが低下する場合がある。同等のサービスが受けられるようにしてほしい。
- ○介護保険に係る費用の増大に伴いある程度の削減は仕方ないと思う 身体介護に特化するのも致し方ないことと思う。
- ○介護保険・訪問介護については、改正ごとに報酬が減額され、経営が厳しくなっている。
- ○制度の改定の度、いろんな基準が、変わるため利用者も事業所も制度に振り回される。要支援と要介護の認定が、変わる度、契約などの書類やサービス内容についても利用しづらい。
- ○介護保険は、生きる為の制度ではあるが、その人らしく生きていく為には一つの制度であり近隣の人たちのつながりを 壊すように利用する事は出来ないのだろうかと思います。
- ○現在の介護職員処遇改善加算を今後も継続していただきたい。
- ○制度改正で非常に内容が複雑化している。次回の改正の内容についてももし実施されれば、事業所として存続の危機に 瀕することとなります。
- ○今後は介護予防事業と連携し充実を図りたい。
- ○介護保険報酬の加算制度比率が高まってきており、小規模事業所では加算算定要件を満足することが困難で収入の制限が大きくなり事業運営が苦しくなっている。ベースの報酬比率を高める施策も期待したい。
- ○生活援助が、少なくなっている事。
- ○より利用しやすい状況になっていると思います。利用者の要望を受け入れる範囲が広まってきた感じです。
- ○介護要支援部に重点、又介護予防(健康づくり)施策に国あげて予算化を。
- ○家事支援の時間が年々減少してヘルパーは忙しい思いをしている。
- ○わかりやすい制度にしてほしい。今回の制度改正は小さな事業所には不利にできている。
- ○情報提供お願いしたい。
- ○消費税がどんどん上る一方、社会保障制度がどんどん切りすてられることは大変不満。憤りを感じる!
- ○援助時間が短くなり、ヘルパーのサービスも細切れとなって、ゆっくり会話をしながらの援助が出来ない。交通費等の 経費が増えた。
- ○国は現状で良いと思っているのでしょうか?
- ○生活援助は同居人の有無によって利用ができたり、掃除もできる範囲が限られている等して、制限が厳しくなっており、 援助を必要としている方が介護保険を利用できないため、柔軟な対応ができるたすけあいサービスの相談が多い。
- ○高額な介護保険にならないよう、高齢者施策であったほうが良い。
- ○NPO法人でボランティアによって運営している事業所と大企業や自治体の関連事業が経営している事業所の労働条件、施設内容には大きな格差がある。利用者の所得状況も大きな格差がある。供給と利用の格差を少なくする工夫が必要。 地域助け合いシステムとその土壌づくりが大切。
- ○介護保険では、1 人暮らしでないと、ヘルパーは、入ってくれないという事が多いが、もう少し、柔軟な対応をしてほしい。 困っている人は、いっぱいいます。

- ○生活支援は在宅生活の基本である。それが評価されていない 訪問介護のサービス料金が安い 施設が増加し、NPO等の支援が少なくなっていく。
- ○ヘルパー業務の意見 制度の改正が行われるたび、利用できる内容に制限が増え、利用される方にとって不利益になっている。
- ○介護度が軽いが公共交通機関の利用が出来ない方への交通手段として福祉有償運送業務の申請を行っている。
- ○有料老人ホームからの人材派遣(行事支援)が多い。財政上豊かな所の依頼が多い?
- ○予防給付の家事支援は、制度からはずしてよいのでは。
- ○在宅より施設が重視される傾向。ケアマネージャーの質の低さに危惧(施設付ケアマネの公平性のなさ)。
- ○県、市町村の財政の状況、介護保険の現状と、見通し等一般の方にもっと詳しい説明が必要だと思う。
- ○特に訪問介護 介護報酬が上らないと、サービスあって担い手なしの状態になりかねない。
- ○特別養護老人ホームの増設をしてほしい。
- ○要支援の方へのサービスを検討してほしい。切りすてないでほしい。
- ○アロマセラピーの普及・導入。
- ○自律が人間生存の基本ですが、これが徐々に無視されて、限界を越えた内容にまで、制度が及び、存続を危うくしています。経済のみの見方も問題。
- ○当団体の訪問介護サービスの利用者の約半数が、たすけあい活動のサービスを併用しているのが現状。単位あわせ(調整) のために、ケアマネにいいように使われているような、側面があり、不満や、理不尽さを感じるヘルパーが、出始めている。
- ○介護認定がおりるまで1ヶ月程かかるので、その間家族は大変なので、もう少し早くして欲しい。
- ○3年毎の改訂はめまぐるしく、給付についても回を重ねるごとに厳しくなります。零細な事業所が淘汰される恐怖を感じます。
- ○共助の仕組みづくりへの行政の積極的支援がないと、高齢化のスピードについていけず、時間切れになるような気がしています。
- ○活動者が常々不足している 待遇を大幅に改善するべきだ。
- ○本筋から外れている様に感じていることが多いです。致し方なく在宅にこだわります。
- ○有料老人ホームからの人材派遣 (行事支援) が多い。財政上豊かな所の依頼が多い?
- ○居宅介護支援のあり方は難しい。制度としては縮小が望ましい。
- ○昨年4月からの制度改正に伴い、事業高減少に伴い、今後の経営方針について、検討中。
- ○現状では継続がむずかしい、新しい制度が必要。
- ○介護保険の改正のたびに、内容の後退が続き、高齢者はおいつめられています。施設をつくらず、介護は住宅へと、自 己責任を押しつけられています。人を大切にする政治を!!
- ○成年後見人制度の啓蒙、発展。介護労働者の育成(支援)に関する事。
- ○介護保険制度の補完的な役割としてヒューマンケア事業を実施している。併用して初めて生活全体を支援できると感じる。
- ○制度の情報が、より広範囲に拡がれば、利用者増加につながると考える。
- ○介護保険等→介護認定がもう少し緩和されればいいなと思います。
- ○サービスとして認められる範囲が狭く、結果的に住民参加型在宅福祉サービス等で狭間をうめなければ利用者が困ることになってしまっている。
- ○介護保険制度の目的にそった活動と利用
- ○介護保険は、改正を重ねるたびに改悪されていく。財政上の困難もあるが、高齢者福祉をどうしていくか、根本的に考え、 私たちが、日々実践し実績をつみかさねていくことが重要であり、国でもくみ上げてほしい。
- ○①小規模のデイが運営しにくい制度であり、大規模デイにあわせた施策や、病院、等併設に有利に偏った傾向である。 ②加算型になり、大規模事業所向けの制度の痛手は、地道に地域の為に運営している NPO は厳しい。

#### ■障害者自立支援法等、障害者施策 91件

- ○知的障害児の支援を、もっと、考えてほしい。中学から高校生になるときに、通学バス等、働く親がいて、目が離せない知的障害の子を持つ親は困っている。
- ○対象を高齢者としているため、特に考えていない。
- ○現在の居宅サービスでは、施設入所者が帰省時に入浴等のサービスを利用することができない。入所者は帰省しにくい 現状がある。
- ○障害者自立支援法についても、介護保険と同様の考えである。
- ○人権(尊厳)を終末期まで、保障される制度化。

- ○事業所の中立性、公平性について。研修会内容について。
- ○行政は、移動支援事業の対象となる外出についての考え方を、利用者に明確に伝えてほしい。
- ○介助家族や生活全体を考えた支援を望む。(障害児の通学同行、夏休みの居場所、施設入所者のお楽しみ外出介助の依頼がある)。
- ○特に目に見えない障害 (精神障害等) が疑われる人 (ボーダーライン・グレーゾーンにいる人) への支援ができる体制を作ってほしい。
- ○より一層、在宅で安心して暮らせるための施策を期待する。
- ○稼動率の低い公的施設のNPOの利用を進める施策(複数あるにも関わらず、利用を認めず無駄に維持費を費やしている)
- ○障害者自身が主体的に自立をすること。その環境を整え受け皿を広げる。
- ○障害者の意思決定を尊重する、「障害者総合福祉法」制定を早く実現してほしい。
- ○生まれてから就労までの一貫した情報サービス、相談窓口 発達障害の子を抱える親の支援。
- ○手続きの繁雑さは介護保険以上であり、負担が大きい。
- ○地域格差がある。(全て)。
- ○制度が管理的にどんどんなっていくことによって、障害当事者の力がそがれていくことが問題。
- ○私が死んだら(親)この子がどうなるのか云う家族の想いを理解していない。
- ○少しずつ呼び名と内容が変わっている。ケアマネを付ける等管理にコストをかけるのは不可。
- ○又精神障害者の対策としてはヘルプより、自立向けの方法がとられるべきと思う。
- ○相談支援業務に関わる者への計画作成への報酬が少ない。また、施設入居者のための制度が色濃く、在宅で生活される 方のサービス (ヘルパー不足、通所等) が充実していない。これも、報酬の問題、地域の理解が関係する。
- ○障害児の受け皿が少ないし、親が利用しないで、頑張って育児をしている人が多いので、もう少し、利用しやすいサービスにしてほしい。
- ○請求ソフト、や、処遇改善加算システム等、もう少し、わかりやすいシステムにしてほしい。
- ○ケアマネジメント制度の確立(行政担当者にマネジメントが委ねられており利用者の実態がつかみきれていないことが 多い)。
- ○障害者施設が町内にいくつもあり、見た感じでは、ここにいる方々は幸せそうです。
- ○障がい者にも権利と義務について理解して頂けるような施策をお願いしたい。ただしまだまだ多様な障がいに各々対応できる施策はない。
- ○早くケアマネジメントをできる人を入れてほしい。
- ○法律や制度がめまぐるしく変わるので、体制の整備に追われ、中味が、後まわしになる。
- ○行政の対応の動きがにぶい。
- ○移動困難者の移動について、国が保証する仕組みが確立されるべきである。
- ○市町村によって受給量の格差、サービス内容に制限があることなどで、それぞれのライフステージをあたりまえに生きていけない実状がある。
- ○たすけあいの心で家族間の情報提供をしている。
- ○いずれも公的サービスのみで生活を支えていくことはできないので、つなぎ目のない生活支援サービス (活動) を行なっていくことや、そのサービスを調整する人が地域の中に必要である。
- ○社協の広報誌及びホームページによる情報発信を行っているが、それ以外で障害者世帯に情報発信する方法を検討中。
- ○障害者デイを行ないたい。
- ○食事サービスを施策の中に入れる。
- ○制度改正については、介護保険制度の時と同じである。居宅支援・同行援護のみの事業をしていますが、当市に於いては、居宅支援事業者が少なく、本当に必要としている方たちが利用できない。相談支援事業は、市がどのような流れで、障害者を支援しているのか、制度ができてから一度も説明会を持っていないため、ケアマネ的存在の人がいなく、事業所として、利用者の生活が、向上されてきたか、どうかを判断することができていない。
- ○知的障害児の支援を、もっと、考えてほしい。中学から高校生になるときに、通学バス等、働く親がいて、目が離せない知的障害の子を、持つ親は困っている。
- ○相談支援者があまりに少なくケアマネ的支援ができなく、かわいそう。
- ○自己申告を2年毎にしなければいけないところに問題があるのではないか。本人 (ひとりぐらしなど) が行けなければ支援を受けられない人がいる。
- ○同行援護で腕を組んで歩かないといけない人は、非常に神経を使って疲れるのに、身介なしで報酬単価が低いのは理に 合わない。
- ○行政の委託事業で中高生をお預かりしているが卒業後の就労支援の要望がある。障害の差なく活動できる場をもっと増

やしてほしい。家族には将来が安心できるようにケアハウスも開設できるように諸制度のハードルを低くしてほしい。

- ○ケアマネージャー的存在にあたる人の不足と力量不足が気になるので質の向上。
- ○週1回の障害施設(知的)との交流(パン販売)当地はまだ地域を巻き込むのはむずかしい。
- ○ケアマネ不在ということもあり、様々な障害に対応していくむずかしさに直面する、日々ですが、相談支援事業所も、 間に入ってもらうことで、逆に利用者の姿が見えづらくなるなど、事業所によって、力の差がありすぎて不信感を持つ こともあります。
- ○介護の質について、充分に把握されるようなチェック体制になっていないため、小規模事業所の運営はむずかしいままであり、改善を希望したい。
- ○65才になると介護保険に移行するよう指導されているが、利用者の負担が大きいのでないか。
- ○障害者自立支援法についても介護保険同様地域区分の見直しがあったが、地方や限界集落にとっての評価が少ない。中山間地域加算というのがあるが、加算と言うかたちではなく、地域として評価して欲しいものである。介護保険と比較し、精神面・身体面でもヘルパーに負担がかかるため、処遇面で差をつけさせてあげたい。
- ○指定を受けてサービスを提供しています
- ○精神疾患の方の依頼が増えている。障害者専門の居宅等が不足していると思う。
- ○65才以上になると介護保優先が解消されず、今迄使っていたサービスが使えなくなるケースが多い。3.11の障害者の 犠牲者が一般の人の2倍以上あり、福祉サービスの充実が望まれる。
- ○障害児が増えていること等から、今後もますます手厚くなっていくと思われる。
- ○ケアマネ制度がないためトータル的なマネジメントの必要性を感じる。相談支援事業所も少なすぎる。受給の基準が、 はっきりせず、利用者にとって必要なサービスが受けられない。
- ○移動支援、同行援護などヘルパー側から見ると仕事として成り立たず、ボランティアの精神を求められていることが、 問題だと思います。
- ○三障害が一緒のサービス提供では、ヘルパーが疲れ切ってしまう。報酬単価の切り下げをしていては担う人がいなくなるのでは、と思う。
- ○制度がたびたび変わりわかりづらい。
- ○障がいをもつ人々に働ける場づくり(介護や環境整備等公的事業)を創設していくべき。
- ○年々改正で事務局は忙しい。
- ○公的制度にたよるところが多くなり、地域での連携が少なくなってきた。
- ○消費税がどんどん上る一方、社会保障制度がどんどん切りすてられることは大変不満。憤りを感じる!
- ○65才以上になっても介護保険に移行しない利用者もいて、ケースワーカーとのやりとりのなかできちんとしたケアプランがたてられない場合がある。
- ○国は現状で良いと思っているのでしょうか?
- ○親団体が実施。
- ○精神疾患といった目に見えない障害を持っている方に対して、認定区分が少なく判定されることがある。そのため障害 者自立支援法のヘルパーと併用して、たすけあいサービスを利用するケースがある。
- ○障害者があらゆる分野、あらゆる場所で1人でも参加している風景にみんなが接する事。
- ○支援学校の送迎でも親の負担になっていて、働けないなどの声を良く聞きますが、もっとバスを運行してほしい。
- ○ヘルパー業務の意見 障害福祉サービスも同様に利用内容が介護保険に準じているため、上記と同様な面がある。
- ○支援専門員の育成が必要。
- ○精神障害者への支援の脆弱さ。就労できる企業の少なさ。理解不足。
- ○特に居宅介護 介護報酬が上らないと、サービスあって担い手なしの状態になりかねない。
- ○セラピスト育成による自立支援。
- ○利用者がほとんどいない。(居宅介護事業)。
- ○精神障害のある保護者の子育て支援はむずかしい。専門的に教育された支援者の配置を。
- ○活動者が常々不足している 待遇を大幅に改善するべき。
- ○教育がもっと幼い時から、親も含めて行われることを望みます。
- ○公的制度は緊急時の対応が出来ないのでボランティアで対応が必要。
- ○障害児へのヘルパー派遣がとても困難。もう少し使い易くなればよいと思う。
- ○真剣に自立・社会参加を追求する。
- ○改正のたびに、こちらも、ゆらぎがある。一体誰のための法なのか、理念がみえない。
- ○障害者が地域で生活できる為に、支えるヘルパー担い手の確保と、スキルアップ。ヘルパーの社会的地位の向上や、賃金アップを早急に取組むこと。

### ■子育て支援施策 88件

- ○母親の孤立を支援していく事で虐待を防げるのではないか。働く母親を支援する方向でいかないと益々少子化になっていく。
- ○対象を高齢者としているため、特に考えていない。
- ○夜間や病気の時の保育サービスがない。
- ○高齢者と子ども達が交流できる居場所を!
- ○働く女性が増加する中で、企業が子育てを応援する体制が整っていないと思います。母子寡婦福祉資金の規定が厳しすぎて、進学したい子たちのモチベーションをさげている。
- ○ファミサポでも産前産後や家事援助の支援ができるとよい。(第2子の出産時に第1子の園への送迎や預かり、家事援助の相談がある)子育て経験のない祖母が孫の世話ができないとヘルプを利用するケースがあった。就労時に子供を預かる支援だけでなく、家庭でも子育てができるワーク・ライフ・バランスの推進を望む。
- ○一時保育を容易に受けられるようにしてほしい (施設・設備・人材の確保等含む)。いつでも誰でも簡単に利用できるようにすることで、母親の育児負担や悩みを軽減でき少子化対策にも繋がる。
- ○保育園や一人親の支援が以前より世論に押され進んできているが、生活スタイルが多様化する中の要望にこたえ切れて無い。また、学童保育の最終学年やの終了時間など、地域によってかなりの格差がある。住む地域での格差をなくすようにする必要がある。
- ○中山間地域でも、子育て支援に地域の目が向くような施策を期待する。
- ○稼動率の低い公的施設のNPOの利用を進める施策(複数あるにも関わらず、利用を認めず無駄に維持費を費やしている)
- ○何もかも管理して弱い子供が多くなっている。自由の中でしか学べない。
- ○身近な距離で気安く行くことができる、子育て相談機関の設置。
- ○ファミリーサポート事業との連携。
- ○親の育児支援。
- ○児童館の設置。貧困対策。
- ○元気な高齢者がうまく関われるといいと思う。
- ○子供がいても働きたいと思っている女性が多くいる。この様な女性が働きやすい労働法にすべきだ。その労働力を活用しそのお金で子供育と就労が可能になる施策を考えなければ行き詰る。いつまでも男性優位の法律ではダメだ。オランダスウェーデンは女性の職場進出がすばらしい。パートでもたくさんの管理者がいる。女性の職場進出をやりやすくしそこから上ったGNPのup分を福祉にふれ向ければ少子高齢化を税金を上げなくとも可能になる。オランダの例を見習ってもらいたい。
- ○支援のためのサービスではあるが、一時的 (期間限定) なものにすぎない。子ども、家族また環境を見て支援するトータルコーディネーターの配置が必要だと思う。また、保育所等金額の問題も緩和する必要がある。
- ○男女が均等に仕事を継続していくために子育てのサポート機能を充実させる必要性あり(待機児童対策、病児保育対策 等)。
- ○双子、障害、兄弟が多い等にもう少し手厚いサービスが必要。
- ○横浜市はがんばっていると感じる。空き家利用等が進めば、子育てサロン等により、より支援ができると思うのだが。
- ○サロンによる子育で中のお母さんや子ども達の支援(若い母さん達の働く場づくり)。
- ○ファミリーサポートセンターが近隣の市町村になく、又、スタッフが集まらない。
- ○未来を背負う子供達のことをもっと大切に考えるべき。子供を生みたいと思うような制度をしっかり作っていかなければいけないと思います。
- ○こども預り、働く母親へかわって学童の様な事をしてサポートをしている。
- ○ファミサポ事業は、地域の中で育児の相互援助活動を行う活動であり、失われつつある昔の良き体制を見直す、とり戻すよい取組だと思っております。公的制度として、地域全体で取り組む大切さを感じております。
- ○母親への支援(社会的環境整備も含め)が充実しないと!
- ○子ども子育て新システムとなり民間保育サービスが、より充実されると期待する一方、市町村の事業計画に盛りこまれなければ、実施されないし、待機児童ゼロの福井県は、どうなるのか?と思う。保育園の合併で地域から子どもの声がなくなると案じている、村部、に"小規模保育"等、の実施をぜひ、残してほしいと願う。
- ○福井県のみ、独自の子育て支援サービスを実施している為、ファミリーサポートセンター事業が実施されていない。今後、 福井県の政策としてファミリーサポートセンター事業を考えてほしい。
- ○利用者が不定期にいる。支援施策の中に食事サービスを入れる。
- ○5年前に子育て支援のNPOが設立されたため、一般利用者は、なくなりました。障がい自立支援の利用子供さんあり。
- ○母親の孤立を、支援していく事で虐待を防げるのではないか。働く母親を、支援する方向でいかないと益々少子化になっ

#### ていく。

- ○有償運送が利用できず、病時の子だけでも利用できるとうれしい。
- ○市のファミリーサポートシステムが今は利用者宅でのサービスなっていない、その希望がある。
- ○家庭の病気など緊急のニーズに対応するサービスが用意されていない。
- ○産前産後だけでなく、うつや障害をもっている子育て家庭への公的支援をもっとすべきだ。
- ○高齢化対策も大切だが、少子化対策(安心して子育てが出来る環境づくり)にもっと力を。
- ○子育て支援センターとの交流を積極的に行っているが…(クリスマス会、七夕まつり、ひなまつり)。
- ○子供は国の宝という考えで、若い夫婦に力を貸してあげたい。
- ○公的には条件下のサービスで、本当に困っている人には手助けがない。
- ○国のファミリー・サポート・センター事業における子育て世帯を対象とした「家事支援等」の緩和。
- ○子育で中の母親のサポートをしっかりしてほしい(安価で)。
- ○子育ては国で、地域が育てる。学校だけにませない 専門職だけでなく、なくゆるやから育つ施策。
- ○母親への精神的支援・社会参加環境支援を公的な側面から充実させないと。
- ○子育て、真っ最中のお母さんから、家事支援の依頼を受けることがありますが、たすけあいの利用料を伝えると、利用 を見合わせることもしばしばで、公的にこうした利用への支援を望みます。私達が入ることで、子育ての相談にのるなど、 利用している方には、喜ばれていますし、今のお母さん達には必要な支援です。
- ○あまり携わっていないため、よく分からないが、「福祉有償運送」の乗客について、「介護保険の認定者」「障害者手帳等の所持者」と言われているが、子どもには該当していない。学童保育の送迎に地方は車が必要な地域もある。その点も考慮し、特区指定等で、自動車を用いた学童送迎を可能にしていただきたい。
- ○ファミリーサポートの協力員が不足していると思う。
- ○核家族化が進んできている中、ぬくもりは自費で子育て支援をH8年からやっています。子育てにゆき詰まっている母親への声かけや病気後の保育や登校ができない時の保育や産前産後のお手伝いと、上の子の保育をしています。今、家事援助と身体介護(自費)には補助金は、市から、と都から時間数によって助成されていますが、子育てには、助成がありません 利用料金も若い家庭を支えるため、値上げもしていません。このように地道にやっている事業所も大切だと思います。是非、助成金を考えて下さい。
- ○①県内全ての自治体で産後支援が有償でも受けられるようにしてほしい。②切迫流産など産前でも利用できるサービス にしてほしい。
- ○子供を産み育てる環境整備は最重要課題。ひとり親の就労支援も含めて手厚くしてほしい。若年層の就労が安定しない 世の中では、子供は育てられない。
- ○乳幼児の母親同志の交流の橋渡しなど必要。集える場など費用面、時間帯など、工夫が必要。
- ○いつでも気軽に集まれるようなサロン的な場があり、そこで情報交換だったり、親子で学べる場が必要だと思います。
- ○養育困難家庭が増えてきていると感じます。また、通常の育児支援においても介護保険のような制約がないため家政婦 と勘違いしている人もいます。キャンセルも多いです。
- ○少子化にともない、子育ての経験を活かした事業を展開したい。
- ○提供時間が少ない場合がある。
- ○厚生労働省はファミリー・サポート・センター事業において 「病児・緊急対応強化事業」 の推進を図っているが、当センターでは支援者の確保が難しく、実施が困難。"病児預かり"を行う公の施設や病院ができれば良いと思う。
- ○国は現状で良いと思っているのでしょうか?
- ○産前産後、子育で期間中に家事の援助をするような公的サービスは川口市にはない。一人親で家事が負担になっていたり、一人で抱えこみ、精神疾患になってしまうケースもあり、身体・精神的にも負担を軽減させられるような施策が求められる。
- ○ファミリサポート事業創設に向けて行政と協議中。
- ○子育て支援施策も、親が、安心して、仕事、学習に望める事も大事だと思うが、その前にしっかりと自分の子供は責任もって育ててほしいと考えます。
- ○高齢者、障害者、子供、地域で一緒にくらす(接する)機会を多くする。
- ○養育支援のヘルパー業務も取り組んでいるが、実際のケースには繋がっていない。
- ○幼稚園、保育園の預り制度の充実。
- ○若いお母さんの働き場と託児所の確保。母子家庭への精神的な支援の必要。
- ○自治体によって格差がありすぎる。
- ○発達障害児と親のケア。
- ○少子化が影響し、一時預かり事業に於ける利用者が少なくなりました。

- ○国の予算増大を望みます。
- ○子育てのことや母親の悩みなど、気軽に相談できる場があるとよいと思う。市町にあるが、何かハードルが高く、身近な場所にあるといい。また、相談者には、継続的な(定期的に)声かけや訪問などで、自殺虐待など防ぐきっかけになると思います。
- ○子育て支援券がNPOでない為使えない。利用者のために改善してほしい。
- ○市川の公的機関の支援施策に自主活動グループのため参加できない事。(理由。NPO団体ではないためと断られた)。
- ○もっと使いやすい、全体を見渡せる様な施策が必要。
- ○目下の社会ではバラバラチグハグで子供の為というより親の為に向かっています。
- ○公的制度は緊急時の対応が出来ないのでボランティアで対応が必要。
- ○一時的保育事業の拡充など、保育システムの多様化が必要であると感じる。
- ○朝・夕の保育園の送迎等、毎日の事になるとファミサポしか利用できるものがない。保護者の経済的負担は大きいと思う。 金銭的な補助等あればよいと思う。
- ○低所得者層の無料サポート券配布や障害児の送迎サポートの充実。
- ○少子化とはいえ、子供の施策については、絶対的に予算をかけていない。様々な解決すべき課題はあるが、子供を生み、 育てやすい環境作りが急がれる。
- ○共働きで子育て (出産も含め) 時期を、もっと力を入れていく必要がある。退職せずに働ける環境を整えて、それが当たり前の世の中にしていくには、国も行政も連携し、ただお金をばらまいても根本は変わらない。

#### ■その他 51件

- ○相談内容に対し、柔軟に対応していく。
- ○低所得者への就労支援として、お金を支給するということではなく、一定の期間だけでも公的な機関で職の提供を含めた支援をお願いしたい。
- ○公的制度では対応できない、あるいは公的制度のみでは不足してしまう部分のたすけあい活動を今後もおこなっていき たいと思います。
- ○安心して暮らすには、医療施設の充実と福祉との連携が取りやすい施策を期待する。
- ○社協のあんしんサポート事業が、契約対象者の幅が狭く、審査までに長期間かかり、機動性がなく、大変使いづらい制度の為、是非とも改善していただきたい。
- ○高齢者・障がい者・子育て支援の縦割りを無くし、暮らし全体を支える仕組みが必要!昔ながらの保健師の訪問などを 事業化し、セーフティーネットの張り直しが急務!
- ○子育て・障害・高齢者等の区別のない支援窓口づくりを早急に。
- ○制度全体が縦割りになりすぎていて、利用者にも支援者にもやりにくい。
- ○公共交通、移送サービスの不足。
- ○公的制度が充実することは大切だが、家庭関係や地域のつながりなど崩壊しないような制度にして欲しい。
- ○生活していける程の給料が出ないので、若い世代の担い手を、確保出来ない。
- ○お互いが助け合う気持で活動しているので、公的制度は別に考えていない。
- ○高齢者も障害者も、憲法25条で保障されている「人間らしい尊厳ある生活」ができるよう、公的制度はあってほしいと 思う。
- ○地域では働く親(母)が多くなり、留守宅へ一人で帰す不安も多く、又災害時の時の連絡所ともなる。
- ○生活保護の優遇が良く、自立する意欲がなくしている。
- ○書き出せばキリなく、国はきちんと10年先、20年先の制度設計の展望をもって施策を考えているのか?疑問。
- ○支える助け合い会員の若返りが必要と思う。
- ○認定法人(NPO)の対応として市よりの助成金(収入金の割合が高いため)のため認定法人化出来ない。※地域の信頼関係から。
- ○自立生活を維持するために栄養バランスの良い食事は欠かせないことの社会的認知を高める。
- ○サービス提供責任者の報酬は、(総)利用者数、活動時間数に応じて基本報酬をつけて欲しい。介護職員の処遇改善をもっともっと進めないと、在宅生活を支援することが困難です。
- ○支えられたり支えたりができなくなっているのを何とかしたいが、地域内に知人、友人、など近所づきあいをしない人が多い。
- ○ひとり親家庭への支援。
- ○医療を含め、介護保険において国の予算不足が根本にあるのが問題です。もっとノルウェーを見習って国民意識改革を 勧める必要があると思います。

- ○年寄りから子供までが自由に生き生きとふれあえるコミュニティーの場が欲しい。
- ○上記制度が窓口1つで行なえる様にしてほしい。
- ○一律でサービス内容を決めるのでなく、各利用者に合ったサービスを提供できると良い。
- ○当会は任意でもあり子育て、障はこちらから積極的に声かけをしています。
- ○利用者宅への駐車料の負担の補助依頼。
- ○介護保険の適正化が図られて「たすけあい事業」への依頼が右肩上がりの昨今、当事業でも、まだまだ受けられない部分 (活動) も多い。しかし、その方たちを他の民間サービスにつなげようとすると何倍もの利用料金がかかってしまう。このような時に、他の民間サービスに補助・助成を出してサービスを受けやすくする手立てがないだろうかと思うことも ある。また、利用者側の所得に応じたサービスの振り分けの必要性も感じる。当事業においても所得制限等を設けることの検討をしても良いのではないかと思う。
- ○公的制度にはもちろんさらなる充実が必要ではあるが当然限界もある。そこをいかに住民同士のささえあい活動の理解・ 充足させていきカバーできるかが課題である。
- ○夫のDVのため子連れで家を出た女性の生活や子育て支援を行っているが、資金の出所がない。良い制度がないか。
- ○人と人との関わりが少なくなったせいか、あるいは、バブル全盛時代あらゆる分野で、「お客様」と奉ったせいか、自分本意の無理難題なサービスを要求し、担い手との関係を築けない人が公的サービス利用者に多いように思います。私達は、ともに作りあげる「地域」を目ざし、たすけあい事業をスタートさせましたが、利用者さんと共に歩むを実感している一方、収益面での課題と、自分達の活動のアピール方法が課題となっています。
- ○地域包括ケアシステムが有効なシステムとして機能できるように構築を進めてほしい。
- ○介護保険で賄いきれなくなる家事援助の部分を行政はどう考えいるのか。
- ○移送サービスについて。
- ○制度の狭間で困っている方からは様々な要望が上がってくるが、対応範囲に限界がある。(通院の付き添い、大掃除など)
- ○福祉有償運送については、自立高齢者や子どもにも該当者を広げていただきたい。
- ○縦割りをなくし、サービス内容、報酬ともにできるだけ包括化が必要。公的制度依存よりも助け合いの普及を!
- ○介護保険外の生活支援事業の拡大。
- ○一人の人が生れた時から障害が記録されフォローされる仕組みが必要。
- ○最近は三つ子ちゃんの依頼がある。
- ○ファミリー・サポートで出来ない内容 (特別支援学校の中等部・高等部の送迎支援) 小学部卒業後の支援体制が不十分だと思うので…。
- ○居場所を介護保険を利用する時の選択の1つにしてほしい。高齢者が元気にならないし、介護保険の金が不足していく。
- ○地域で助けあえるしくみと活動に対しての助成。

# 21. 直面している活動の課題について(問21)

団体が直面している活動の課題について聞いたところ、最も大きな課題としては「〔A〕組織運営につ いて」が「担い手不足」 19.6%、「〔B〕サービス提供体制について」が「たすけあい活動の担い手(有償ボラ ンティア等)と介護保険等のヘルパーとの資金差」9.5%、「[C]サービスの質について」が「生活支援内 容の多様化」10.0%とそれぞれのトップとなっている。

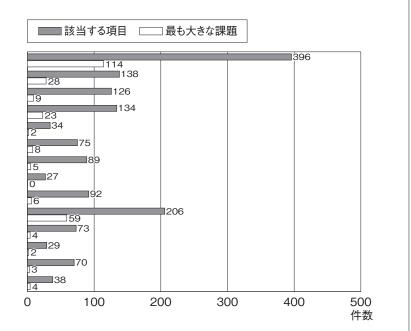
### ■図表32 現在直面している活動の課題

項目	該当する	項目 (○)	最も大きな	:課題 (◎)
[A] 組織運営について	件数	%	件数	%
1. 担い手不足	396	68.2	114	19.6
2. 資金不足	138	23.8	28	4.8
3. 広報不足	126	21.7	9	1.5
4. 利用者の減少	134	23.1	23	4.0
5. ハードの老朽化	34	5.9	2	0.3
6. コーディネーターの不足	75	12.9	8	1.4
7. 事務局の体制が不十分	89	15.3	5	0.9
8. 作業マニュアル、就業規則等が未整備	27	4.6	0	0.0
9. 人材育成の機会不足	92	15.8	6	1.0
10. 後継者不足	206	35.5	59	10.2
11. 地域組織(自治会等) との関係づくり	73	12.6	4	0.7
12. 他事業、他都道府県との連携・協働	29	5.0	2	0.3
13. 行政あるいは社協との連携・協働	70	12.0	3	0.5
14. その他	38	6.5	4	0.7
〔B〕サービス提供体制について	件数	%	件数	%
1. 助け合い活動の利用者負担額	146	25.1	42	7.2
2. たすけあい活動の担い手(有償ボランティア等)と介護 保険等のヘルパーとの資金差	142	24.4	55	9.5
3. 労働基準法との兼ね合い	50	8.6	10	1.7
4. 活動先(サロンの会場等)の確保	52	9.0	13	2.2
5. 24 時間見守り体制づくり	52	9.0	12	2.1
6. サービス提供(申請)のための手続き	26	4.5	3	0.5
7. その他	74	12.7	32	5.5
〔C〕サービスの質について	件数	%	件数	%
1. 医療行為が必要な方へのサービス提供	66	11.4	15	2.6
2. サービスのマンネリ化	52	9.0	7	1.2
3. ニーズをサービスに結び付けられない	130	22.4	35	6.0
4. 担い手の専門性が確立されていない	97	16.7	25	4.3
5. ニーズの把握ができていない	36	6.2	5	0.9
6. 行き場のない方への支援	105	18.1	26	4.5
7. 生活支援内容の多様化	200	34.4	58	10.0
8. その他	53	9.1	16	2.8

### ■図表33 現在直面している活動の課題で最も大きなもの

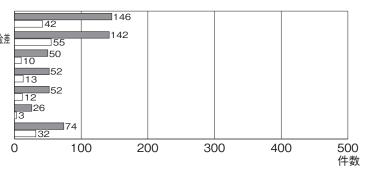
#### [A]組織運営について

- 1. 担い手不足
- 2. 資金不足
- 3. 広報不足
- 4. 利用者の減少
- 5. ハードの老朽化
- 6. コーディネーターの不足
- 7. 事務局の体制が不十分
- 8. 作業マニュアル、就業規則等が未整備
- 9. 人材育成の機会不足
- 10. 後継者不足
- 11. 地域組織(自治会等)との関係づくり
- 12. 他事業、他都道府県との連携・協働
- 13. 行政あるいは社協との連携・協働
- 14. その他



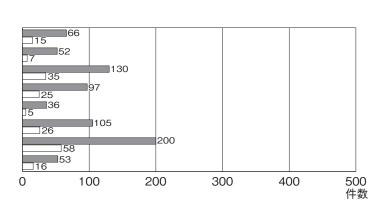
### [B]サービス提供体制について

- 1. 助け合い活動の利用者負担額
- 2. たすけあい活動の担い手(有償ボランティア等)と介護保険等のヘルパーとの資金差
- 3. 労働基準法との兼ね合い
- 4. 活動先(サロンの会場等)の確保
- 5. 24時間見守り体制づくり
- 6. サービス提供(申請)のための手続き
- 7. その他



### (C)サービスの質について

- 1. 医療行為が必要な方へのサービス提供
- 2. サービスのマンネリ化
- 3. ニーズをサービスに結び付けられない
- 4. 担い手の専門性が確立されていない
- 5. ニーズの把握ができていない
- 6. 行き場のない方への支援
- 7. 生活支援内容の多様化
- 8. その他



# 22. 直面している活動の課題(問22・フリー回答)

- ○担い手は、有償ボランティアと仕事の区別及び理解がない方がいる。 ・利用者は、担い手を何でもやってくれるものだと思い、線引きが難しい。→登録の際の説明をていねいに行い、理解度を高めたい。
- ○ヘルパー、後継者不足。
- ○地域の人達がつながる拠点になる事を目指しているがボランティアをなかなか集められない。事務所改装をしてオープンスペースをつくり、人が入りやすいよう工夫している。
- ○今後とも定期的に広報を継続し、事業の周知に努めていく。また、在宅利用者への支援ということから、協力会員の意識や接遇の向上につながるよう、研修の機会を設けていく。
- ○協力会員の高齢化から新たな担い手を発掘・育成していくために、「地域福祉懇談会」で活動紹介を実施し多くの方から サービスを知っていただいたり、「男の料理教室」などの事業から新たな人材発掘につなげるなどの工夫をしている。
- ○事業開始から25年が経過し、現行のシステムの在り方等の検討を行っている。
- ○ご高齢の週1回の早朝の生ごみ出しの要望があり、通常の活動費規定に当てはまらず、総会で承認した上で、1回250円(交通費込)の利用金額での別途規定を設けました。
- ○あらゆる手段での広報、PR活動。
- ○広報活動の強化。
- ○二一ズをサービスに結びつけるために、サービスの調整をする場を開き、意見を聴いたうえで、コーディネートするようにしている。
- ○各施設に対する、サービスの広報(チラシ、施設の担当者への事業説明等)
- ○団体内での情報共有、課題解決に向けた打合せ。市との綿密な打ち合わせ。
- ○終末期の受け皿として担当しているが、余りにも人の尊厳を喪失してからの移動に驚いています。人は、尊厳の回復も早いが、もう少し、社会での幸せづくりの医療・福祉の在り方を期待しています。~普通の暮らしのできる居場所を全国に期待して~魔法の言葉・ありがとうを添えて~
- ○民生委員・児童委員定例会等で情報交換し、利用促進する。社協だよりやホームページにてPR記事を掲載し、利用者、 提供者の拡大を図る。
- ○活動担い手の高齢化。人材不足。資金不足。セミナー等、高齢化のため積極的に受講する人材がいない。宣伝はしているが、 新担い手は増えません。
- ○市内に活動者が極端に少ない地域がある。派遣の大変さと、今後の利用依頼にも問題が残る。
- ○担い手及び利用者増のため、全戸配布のえにわ社協だよりや事業紹介冊子等の広報誌を発行している。
- ○平成25年度より病児・病後児預かりへの対応が可能となるように天草市と調整を行っている。
- ○研修会・連絡会を行い、人材育成の向上を図る。関係機関との連絡調整。
- ○担い手の講習会を複数回開催する。
- ○ファミリーサポートの手助けが必要な方に知っていただき、利用してもらう為に交流会等で周知、広報活動を行っている。
- ○ヘルパー不足が恒常化しているが、いずれの事業所も不足の様子。名案がない。
- ○担当職員だけで事例を抱え込まず、1件、1件の依頼を場内で共有しながら対応しています。
- ○改善事項は明確であるが、現在はまだ具体的な取り組みをしていない。
- ○高齢者が自由に来られる場として「いこいのひろば」を開設したが、さらに利用者増のためには、送迎の手段を検討して いる。
- ○担い手の減少・高齢化、住民参加の助け合いの支援レベルでは難しいケースの増加から、平成24年度より持続性・緊急性・ 責任・介護負担の重さに対応できる支援として、新たに新潟市社協の生活支援システムを検討している。
- ○地域によって利用希望者や担い手の偏りがあるため、地域毎に事業案内周知を行っている。
- ○担い手不足を解消するため、まずは広報に重点を置き、目につきやすいような手書きの新聞を年に2回作成している。 それを介護保険関連施設、ケアマネージャー、関係する団体等に配布し、今後は配布先を増やしていく予定。
- ○ニーズに対応する援助活動に取り組みさらに行政等との連携を密に取るように務めています。
- ○家庭的で居心地の良い場所作りをモットーにサービス提供していますが、施設がどんどん増え利用者の減少となり、ひとり一人の個性に合ったサービスを重視していることをチラシ作成し、自治会や関係機関に配布している。
- ○広報誌などへ協力会員募集の記事を掲載。個別の声掛けなど。特殊なケースの依頼があった際は、事務局内で相談する 体制を取っている。
- ○設立より12年が経過しましたが、会員制(生協の組合員であり、当会の会員であること)を採用していることにより、活動の広がりが少なく、2010年度より組織のあり方について見直しをおこない、2012年4月に石川県内の一部地域(南加賀地域)において、会員制を取らず、運営・活動も全て組合員が自主的におこなう任意団体「コープおたがいさま南加賀」

を設立し、別組織としての活動を開始し、当会の活動を移行しました。もともと南加賀地域の活動は1ヶ月に30~35時間程度でしたが、コープおたがいさま南加賀への移行により、2012年12月現在の活動時間は1ヶ月平均で約100時間、前年比で270%以上の活動となり、大きな広がりを見せています。この状況を受け、当会では石川県内2ヶ所目となる他地域での「おたがいさま組織」の設立に向けた準備をすすめています。

- ○担い手確保のための声かけ。
- ○住民参加型サービスについては、現在見直しを行っているところで、今後の利用拡大に向け、広報のしかた等々、検討が必要となっている。
- ○認定NPO法人に向け努力中。
- ○サービスの質にさが生じないよう、新人協力会員に対して説明を行うことや、利用者に対しては専門性のある支援は難 しいことを周知するようにしている。
- ○既存事業の見直しを目的としたプロジェクトチームを発足させて、これからの方向性を模索するとともに、今後、運営 委員会組織を立ち上げ、新たな事業運営をしていく予定。
- ○権利擁護サポーター養成講座の開催、いわき市成年後見制度利用支援ネットワーク運営協議会において権利擁護支援センター設立に向けて活動中。
- ○担い手の減少と高齢化に、可能な募集の手段(新聞折込等の資金はない)を講じるが効果はない。問題が「いかに継続するか」から「いかに閉鎖するか」に移りつつある。
- ○公民館や地区社協と協働して「多世代寺子屋」を地域住民と開催している。寺子屋有志によって、現代版長屋・多世代シェアハウスの計画中。世代や障がいを超えた新たな集いと生活の場づくりを実践中です。
- ○・広報に事業紹介掲載 ・事業要綱の見直し協議 ・他の関係機関との連携 等
- ○13年間の活動の担い手として続けて来た人達が1人暮らしになった時助け合うことができるかをこの頃考えることがあります。
- ○多様なニーズに応えることができるように、必要に応じて、会議を開催している。定例会議にても、協議内容に、盛り込む。
- ○利用料、謝礼金、利用会員の年会費等、料金の改定を検討中。
- ○目こぼしのない見守りの実施と地域としての支援の確立
- ○高齢化と役員の交代がスムーズにいかない
- ○行政との連携を密にするために、常に顔の見えるあいさつ、研修等の参加を心がけている。
- ○経済的にきびしい家庭ほどファミサポは必要な事業である。危機に直面した家族にすばやく対応できるような賃金確保が必要。((現)子育てお助け基金で対応)
- ○職員の待遇及び資質をもっと改善するべき、ケース会議などコーディネーターとしての力量が必要。
- ○利用者と、協力会員のアンバランス 年々協力者側も高齢になっている為、人員の確保が、むずかしい。
- ○会員の皆様は全てボランティアとして動いておりますがせめて交通費位は出してやりたいのですが、無収入ですのでむずかしい問題です。改善の方法がありますでしょうか。
- ○居宅介護、重度訪問介護などを行う姉妹団体との連携の強化。
- ○障害者自立支援の強化の実施資金、人材の確保。
- ○財源をどのように確保してからと考えているので、検討中
- ○潜在するニーズの発掘のため、関係機関との連携を行う。ニーズを把握し、担い手の増員や研修の進め方を検討中である。
- ○いろいろな地区センターで出向き説明会を実施し、担い手の確保に努めている。アンケートを実施し、担い手にとって 魅力のある研修会を実施している。
- ○特別な資格がなくても住民が活動に参加しやすいように、基礎研修を簡素にしながらも種類を充実させている。
- ○短時間でのサービス提供依頼には、スポットサービス (30分以内の軽易な内容)の提供を設定している。
- ○スタッフの資質向上のために月1回の定例会を活用し、モチベーションのアップを目指している。
- ○地域別交流会の実施。
- ○学習会・研修会・コーディネーター会でのケーススタディ。
- ○身体介護の分野にもかかわる場面もあり、付添、傾聴 (うつや認知症) の時など全くの素人ではむりなので、地域ケアセンターや市の主催の研修会などに参加するようにしているが、全員の研修までやり過せず、役員がヘルパーに伝達するようにして努力している。ヘルパーの交通費を会員の寄付や利用者や賛助者から賛助会費などをいただきなんとか補充しているが…。会員 (ヘルパー、担い手) の善意によってかろうじて活動している。
- ○月に1度月末例会で、話し合い又研修している。提供責任者(コーディネーターが再三訪問する。地域の高齢者なんで も相談室と連携する。
- ○担い手が高齢化してきている。(若い人は収入の多い職に変るので小学生を持つ子育で中の人又は60才以後の人材に声をかけている)。

- ○若いお母さん方への料理教室を通して手作り弁当の味の継承と、当会を知ってもらいいずれボランティアになってもらいたいことを期待してとりくんでいる。
- ○担い手が高齢化してきていること。送迎のボランティアが高齢化、または不足していることが課題だが関係機関を通してPRをしている。
- ○会員数が減少傾向にあるため、広報の充実や地域のまつり等でアピールしました。報告書等からの要望があり、活動内容や時間、活動費等について今まで通りでよいか、他生協の団体の実情を調査し、会員の要望を把握するためにアンケート調査を実施しましたので、集計して検討していきます。
- ○全体的にサービスに結びつけようとする傾向があり、対象外の方は孤立してしまっている。そういう方は、最後にボランティアといわれるが、社協では地域の支援者 (インフォーマル) を募り、不足をサービスで賄う仕組みを行っている。
- ○広報で新規のボランティアの募集を行い、講習会を受講してもらい、担い手不足の解消に努めている。
- ○市報等により広報に努める他、民生児童委員、地区公務館、保育所を通した情報提供、会員募集を行っている。
- ○生活支援内容の多様化は、個々にいろいろなケースがあり、対応に苦慮する際には事務局で相談に乗れる体制を組んでいる。また、協力会員同士の情報交換会も年に2回ほど実施して、同じ立場で一緒に対応策を考えることもある。
- ○皆今まで一生懸命に支え合い活動をしてきましたが、メンバーほとんどいっしょに年をとり、高齢化がすすむ一方です。 新しいたすけあいのあり方を模索しています。
- ○マンパワー確保について、現在活動している協力会員、他ボランティア団体会員等への直接的な声掛け。
- ○生活支援内容 (ニーズ) の多様化について、内部・外部問わず、積極的な研修会への参加によるスキルアップ。
- ○協力会員募集を各種広報にて周知。
- ○ケース・バイ・ケースで、他機関や専門職等と連携し、条件・状況に応じて柔軟な対応・支援を実施している。
- ○説明会、研修会の回数を増やしたり、内容を充実したりしながら提供会員の募集や質の向上を図っている。
- ○研修及び交流会を通じて意識を上げる努力。
- ○組織内での課題検討PTの開催。
- ○他団体との情報交換。
- ○居場所(たまり場)作り。
- ○行政からの委託料予算確保。
- ○広報紙で担い手を募集している。
- ○後継者不足、賃金が払えず若い人が加入されない、とくに取り組みはできていない。
- ○サービス内容については、少しずつ変化しているので、会の内部でよく検討し、対応するようにしている。最近あった ものは施設入所のための衣類の名前書き、高齢化による通院付添い湿布貼り、等。保育についても、利用者のニーズに こたえるようにしている。保育園お迎え後の保育(親が帰宅するまで、見守るなど)。新しい要望については、よく皆で 話し合い、断るものは断るようにしている。
- ○利用者の謝礼金は今までどおりで活動会員、とヘルパーの賃金は同じにしようかと検討中です。
- ○会員間でのたすけあいの心から発足したささやかな会が、介護保険制度不備の穴埋めで包括支援センターからの依頼や、 社会福祉協議会からの依頼が多くなっています。困難なケースは断るしかない、という手だてしか今のところありません。
- ○マニュアルの作成、就業規則が、古く、現在に合うものに作成し直す。
- ○担い手の老齢化が進み、「ゆうあい」 そのものの継続が困難となっている。 そのため 「ゆうあい」 の活動内容を地域住民に 十二分に知らせ若手の担い手が入会されるよう啓発に努めている。 (自治会の広報に掲載を依頼するなど)
- ○近日中にケアマネジャーの研究会を発足したいと考察中です。(ケアマネの資質向上を目指します。)地域包括センター の活動に期待できなくなっています。
- ○高齢者・障がい者施設の調理に協力してきたが、民間事業所に委託するため、25年3月で終了することになり、活動の 転機が求められている。
- ○担い手が高齢化して来て今は利用者の固定化してきている。背伸びせずやれる範囲の活動を行っている。
- ○人材確保に対し広告以外で地域の方が見やすい様HP等を作成したり面接会には必ず出席し対応している。
- ○行政の協働体制について、認識がうすく、たびたびの交渉をおこなっている。
- ○若い世代との接点をもつとりくみをしている。(子育で中の母親向けの料理教室を実施し、その参加者に配食サービスの現場体験をしてもらい、活動を理解してもらうなど)。
- ○改善できない事なのですが12年前に退職金で買った中古の送迎用の車がもうすぐボツになりそうですがなんとかならないかと考えています。ボランティアで始めた宅老所ですが自分の力が足りなくて…多分よりあいの活動の報告は対象にはならないと思います。すみませんでした。
- ○後継者育成も考えながら、個人面談を開始し、職員一人一人の思いを組み上げ、事業に生かそうとしている。

- ○老人いこいの家の実施時間が短いこと。
- ○小規模なので、対応範囲が限られる。そこで、事業充実のため、他のNPOと話し合いを始めたところです。
- ○担い手が高齢になったため、後継者も不足しているので廃止を考えている。
- ○担い手の高齢化と共に、サロンにせよ、介護保険にせよ、ボランティア団体に活動として事業としていただける状況では、 ありません。せいぜいやれるのは、敬老会のアトラクションぐらいです。今回の結果の資料等いただければ…と思います。
- ○活動者の新規獲得、が課題となっているので、地域活動に関心のある方を対象に養成講座を開催して加入を促進している。
- ○課題は、この当会のシステムは、地域性にあわせてどこでも組織作りは出来ると思います。広がってほしいです (見学においでくださいませ)。
- ○①地域リーダーの設置(地域の者が活動を行う) かろやかてこねっと事業において地域の代表となって利用者、協力員の活動調整集金まで行う。②財源の確保 共同募金配分金、助成金の減少により、活動自体の運営が難しくなっているので町へ協力依頼の申請をする予定。
- ○担い手不足が、ニーズサービスにつながっていない事への課題が、少しでも解消する様、紙面や口頭、公共機関など、 利用活動へ繁栄できる様努めている所です。
- ○現在は利用者の減少と担い手不足から活動実積が低下している状況である。今後の課題は事業の広報と担い手の人材育成について展開していく段階である。
- ○それぞれ有効な手立てが無い…意欲の低下か?
- ○利用者宅に掃除用具がない場合は、当事業所から貸し出す。利用者宅に駐車場がない場合は、近隣の店舗等へ一時駐車をさせていただく依頼。聴力障がい者との会話は筆談、連絡はFAXを利用。事業運営財源の確保。
- ○担い手不足。養成研修を行ない、担い手の確保。
- ○ホームページ・広報誌での広報。ネット事業での他市との運営状況等連携。他事業との交流会を開催し、事業内容周知。
- ○乳児健診はじめ多方面での広報、会員外でも参加できる交流会・研修会の開催及び広報。
- ○活動者の交流。地域の方(組合員)に活動をお知らせすること。
- ○地域包括支援センターなどの関係機関への事業周知を徹底するとともに、サービス内容を整理する。サービス提供にバラツキがでないように、マニュアル化できるものはマニュアル化を図る。
- ○真にサービスを必要とされている方へ情報が届いていない為、その情報提供方法を検討中。
- ○認定NPOをとって寄付をふやし、もっと助けあい活動にも注力したいが、ハードルが高く難しい。会計など、組織運営の刷新を求められており、まずは、内部ガバナンスを確立してからでないと、サービス提供の充実、後継者の育成、などなどの諸課題にまで手が回らない状況。
- ○応援者の自家用車を使用しての応援依頼の対処の仕方検討中。
- ○担い手が公の仕事の収入を中心に考えている。特に40代50代は、ボランタリーな助け合いサービスへの関心が低い傾向が見られる。研修などの必要性を感じていない。ヘルパーの活動 (公の) 時間を念頭に定例会などの時間を工夫している。
- ○創立当時はまだ介護保険もなく、利用者もあったが、現在は介護保険でまかなえると判断し、ほとんど活動していない。 担い手側も年をとってきた感がある。現在は会食会中心に活動している。
- ○ワーカー拡大のための取り組み (チラシまき、HP掲載等) 研修 (医療・介護技術・ケアマネジメントプロセス等) サロン・たまり場事業 (企画・運営等)。
- ○①介護保険認定者の通所事業利用打ち切りによる利用者の減少。②従来、通所事業に市所有のバスを利用していたが、 25年度から使用が許可されなくなる。①②行政側と話し合いを続けている。
- ○資金不足のため、利用料と担い手の受取額を同一金額に改正した。
- ○会では地域福祉推進基盤の強化に取り組んでおり、その中で今後は住民の日常生活を支える視点に立ち、地域の実情に即しながら、ちょっとした困りごとは住民同士の支え合い・助け合いで解決するための事業展開を目指している。ホームケアサービス事業(住民参加型有償サービス)についてもそれらの取り組み等と連動しながら、事業の抜本的な見直しを図っていく。
- ○資金不足のための事業 (夕暮市・配食サービス) の充実。
- ○職場によるワークショップ。
- ○平成24年度で事業廃止となりました。
- ○町民全員が利用できる活動だが、まずは町民の協力あっての活動なので、皆様一人一人により活動内容等の周知、理解 をして頂けるよう、会合や個々への呼びかけ等で、働きかけを続けていきたい。
- ○要介護にならないためにサロン事業の内容の充実と参加者の拡大を図っている。
- ○福祉車輌5台を会としてもっているため、その維持費(駐車場、保険料、車検、点検整備費)が課題となっており、減車

することを検討中。

- ○一人の利用会員に対して、3人の提供会員がかかわっている。今後利用会員が増えた場合に、提供会員特に家事援助が 出来る人を多く参加してもらえるように研修と、ミーティングを増やしていきたい。
- ○広報不足のため、ホームページ作成を準備中。
- ○同事業を行っている団体との情報交換を行い、利用者の現状とニーズの把握することで、要支援者がこぼれることなく サービスを受けられる地域作りをも目標に、交流会の開催を検討している。
- ○週2回の活動の中で片寄った利用者の参加で平均化されていない。平均的利用者の参加人数(16~18人/回参加)改善。
- ○利用案内・チラシの作成。きめ細かい対応。コーディネーターの活用。(電話対応の困難。コミュニケーションの困難。認知・ 物忘れの多発)。
- ○多様化するニーズに対応するための人材育成や人材の発掘。
- ○二社一寺の世界遺産、温泉の観光に来る障害者、高齢者の車椅子介助を有償から無償ボランティアで、25年度から実施するように計画、賛助会員寄付者を増やし、認定NPO取得にむけて進めている。
- ○地域の人達がつながる拠点になる事を目指しているがボランティアをなかなか集められない。事務所改装をして、オープンスペースをつくり、人が入りやすいよう工夫している。
- ○現在宿泊サービスは実費で行なっているが、制度を利用できたり、助成金をもらえたらもっと○安く提供できる。
- ○介護保険制度が出来てから利用者が減少している。担い手も高齢となり活動も減少している。若い会員が増加するよう 今後取り組みたい。
- ○町内に募集のポスターを貼る。
- ○障害者が支援を利用することを当り前と思わず利用する前の「お願いします」終りの「ありがとうございました」を云っていただくよう文書を出している。
- ○提供会員、利用会員を増やす為のPR。ボランティア連絡協議会等でチラシ配布等。
- ○広報活動のあり様について、検討中。
- ○公民館等にチラシを置かせてもらっている。バス公告。
- ○担い手募集のチラシまきなどを生協の行事に合わせて色々な所に参加している。又、そのことなどを含めて「会」の課題 を話し合う場づくりをしている。
- ○同じ内容の介護をしながら、ヘルパーは1300円/時間、事務所スタッフは800円/時間と差が大きいので、スタッフ の時給を少しでも上げられるように検討している。若いスタッフを雇用するには、生活出来るだけの給与が不可欠だと 実感している。
- ○ボランティアとして自主運営しています。口コミでいこいの家を場所として、行っています。自由に利用者、ボランティアと同じレベルでやっています。おしつけはやらない様にしてます。
- ○担い手のレベルアップの為の研修を充実させる。
- ○1. 会員組織による自主事業の分野を充実させて在宅支援を強固な支援にしていく。2. 高齢者や障害者支援の職員の確保と育成 利用者さんの居場所つくり。
- ○担い手不足の解消のため、どのように募集するか等検討中です。
- ○後継者不足 会員各人による声かけ。
- ○調理をしてくれるボランティアさんが配食と結びつかず、帰り途の配食実施をお願いしています。(利用者が配食日を 忘れたり、通院で外出しても連絡がなく、持ち帰らなければならない)。
- ○新規参加者の継続が難しく、派遣奉仕員が固定されてしまう。登録者が仕事を持っていたり、技術を持っていても学生 だったり、派遣が難しい。毎年手話教室を開催して、開拓している。
- ○若い人の担い手不足。広報活動に力を入れて若い人への入会を進める。
- ○配食のメニューを改善するために、検討会を実施しています。
- ○担い手不足と担い手が自分達の組織という意識が低い為、活動全体が事務局からやらされている感が強く、主体性に乏しくなっています。
- ○介護保険事業に参入していないため、収入源が少ないので、デイサービス、ふれあい活動、地域の居場所、など実施し、 会員増につとめているが、人手不足、時間不足というのが現状です。
- ○活動について特に問題ないが後継者不足になっている。再度募集しないといけない。(ヘルパー人材養成など。)当TA には介護サービスの施設があるので会としては、協力して頂いている。
- ○たすけあい活動はほとんどが介護保険利用に移行しています。現在は一軒の家をお借りして月:木10:00~3:00(昼の茶の間)毎月第3金6:30~8:30(夜の茶の間)情報交換ネットワーク作りをしています。参加者は増えております。 又原発で避難されている皆さんの参加が多くなっています。特に借上げ住宅の方々は情報不足支援不足。茶の間は情報の場にもなっています。

- ○担い手の若年化へ力を注ぐ為、研修の強化。
- ○地域で密着してサービス提供を展開していくため、新たなサービスが地域資源となるよう、広く知っていただきたいので、今の拠点を出て、公的な場所での活動に繋げていきたい。心と身体に良い食事 (日本食) の提供と健康長寿をめざす意図や効果を伝え啓蒙していきたい。
- ○介護保険制度の中で枠が一杯の場合の受け皿としてのたすけあい活動ですが、身体に関わる支援の場合の料金アップで 対応。
- ○利用会員の減少、協力会員の高齢化 会のPR。
- ○外部、社内研修を行い、意識と技術の向上をめざす。
- ○運営資金不足による脆弱な事務局体制を補完するため、担い手の中から委嘱して、コーディネーター業務(派遣調整、 実態調査等)を職員と協働して実施。また、各種専門資格を有している会員に研修講師や補佐を依頼する等、会員との 協働運営を推進している。
- ○その時代のニーズに合った支援内容へ柔軟に対応するための見直しを行っている。
- ○一般市民向けに公開講座・研修を開催し、会員の募集につなげている。
- ○サービス内容の見直しのため、担い手からの情報収集。利用者・担い手拡大のためのPR活動。(「路線バス内にチラシ設置」など)。
- ○担い手、依頼会員を増やすため、人が集まる機会にでかけてサービスの紹介を続けている。
- ○認知症の利用者様の物品のチェックをノートで確認する事とした。
- ○有償ボランティアの活動と雇用。
- ○①口コミや人海戦術で周知を行う。②担い手の活動が続きやすいように利用会員にも協力してもらう(体調不良等のキャンセル)。
- ○住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、地域で支える担い手(協力会員)を社協だよりにて募集しています。
- ○まずは活動していただく、協力していただく担い手の充足が必要であるため、積極的に各自治体、サロン等に呼びかけ 出前講座等で養成講座を行っている。
- ○地区に専門医がないので重病人になった一人暮し高齢者の方を通院介助しなければいけないので、活動者を同行させるが、低所得者が多く支払に問題がある。利用者の負担を少なくする事を考えたい。月1回の通院介助が24年度から2回認められるようになった。
- ○①元気高齢者を増やすためバランスのとれた食を提供する準備を行っている。②籠りきりの高齢者の居場所作りを検討中。
- ○ワーカーズであるため、代表や理事を交替で運営するが、スムーズにできないことも多く、運営や、会議の持ち方の研修を、受け、ワークショップや等を取り入れながら、全体の意見をひろい、改善に向っています。
- ○働き手(介護職員)が安心して家庭生活を営めるように勤務の硬直化を防ぐ工夫、希望を出しやすい職場環境を作るよう 全員で努力している。職員の安心は利用者の安心に直結するという理念で活動をしている。
- ○たすけあい活動を存続して行くために公的サービスを行っているが、デイサービスの乱立のため訪問介護の実績が伸び て行かないのが現状ですが、特に対策を立ててはいない。
- ○月に1度月末例会で、話し合い又研修している。提供責任者(コーディネーターが再三訪問する。地域の高齢者なんでも相談室と連携する。
- ○活動が継続出来るか案じています。
- ○活動に結びつかない相談が多く、活動につながる相談が少ない。日常生活をする上での「ちょっと困った」を相談してもらえるよう、地域に出向き啓発、又、広報誌にて啓発をしている。
- ○担い手確保のために、広報紙に募集記事を掲載 できるサービス・できないサービスについて、職員が説明し、サービス内容の見直し、調整を図る。
- ○地域によっては、協力員が余っているところがあるので、車を使って多少遠くても活動に行ってもらうようにしています。介護介助はしていませんが車イス介助は臨機応変に対応しています。
- ○責任者の後継者が出来ず困っております。
- ○広報紙(社協もりぐち)に担い手の募集記事を掲載したり、また2級ヘルパー研修(守口市社会福祉協議会内事業)終了 時に募集をしています。
- ○地域のネットワークづくりによって、問題解決の情報交換ができる。
- ○地域行政広域連合・社協等は全く(連絡なし)ないので困る。どうなっているのかが知りたい。小さい私達の考えとは全く相違があるのでは?もっと地域の社協・行政が私達を正当な考えで考え直して欲しい そうすれば地域の方々がもっと助かるのでは?
- ○広報紙への掲載、地域別説明会。

- ○活動会員の不足や、更に利用しやすい活動にするためなど助け合いの活動をさらに広げるために、今後プロジェクトチームを立ち上げて検討していく計画です。2013年度内に方向性を整理します。
- ○後継者育成。単なる労働者ではなくNPOとしての職務に造詣が深く当団体の活動理念を理解し継承していこうという 意欲のある者の育成。
- ○今後は、担い手養成研修を積極的に行い、ニーズに対応できるようにしていきたい。
- ○利用者増の為、利用料金等の検討をしている。
- ○公的サービスまでのすき間を補う支援として実施。担い手側の年会費は免除している←無い方が活動に誘い易い。(会員の声)。
- ○町内会館がなく、地域の方々と活動できるサロンが必要と、当法人事務所の、一部をサロンに改修した。今後、顔のみえる関係を築き、共にたすけあえる活動をつくっていきたい。
- ○だれもが安心して暮らせる住んでいて楽しくなる地域づくりにする為にも、地域の諸団体や住民の人たちと、一緒に考え支えあえる絆を作っていくために、地域フォーラムは続けていきたいと思います。
- ○介護の質を向上させるため、介護職員の研修に注力している。
- ○感染症対応、ヘルパーやその家族がかかった場合の対処法、マニュアル作り、利用者がかかった場合も同じ。
- ○利用者の減少の中で、特に通所介護の落ち込み影響が大きい。これまでは、利用者と職員の安心感確保に配慮して法的 義務付けのない看護師配置を続けてきたが、採算上苦しいことから3月末で辞めてもらうこととして人件費の圧縮を図 ることにした。しかし、一方で、これまで考えていた他の小規模事業との差別化要素がなくなり、本質的な悩みは解消 されないため、次の施策の早急な具体化・実施が必要となっている。
- ○過疎で僻地で高齢者で独居者、交通の手段なしタクシーで買物に往復5500円かかる。自分自身の体力も勘案して後5年が目標。
- ○弱小組織としての特色を生かして、利用者への柔軟な対応と信頼関係の維持 担い手各々との相互連絡の徹底。
- ○①リーダー、サブリーダーの育成。②ボランティア高齢化。③資金不足。
- ○定期的に広報紙にて活動紹介をしている。
- ○事務局体制の確立のため、いたく事業の中で資金調達できないか行政に図っている。
- ○担い手不足、新会員募集。
- ○ヘルパー不足…(サービス事業が多い サービス時間帯が午前は10~12 午後13:30~15:30。夕方と重なる事が多い。ヘルパーに予定表は1ヶ月提出してもらい空いているところがわかる。(資格を持っているヘルパーは他事業とも契約している)。
- ○コーディネートできなかった事案や相談事の解決策として、市社協が地域生活を支える新規事業を立ち上げようとして いる。
- ○担い手不足については、広報紙、リーフレットを作成し、担い手の確保に努めている。
- ○親団体の職員も有償ボランティアとして活動している。
- ○有能な若手の発掘と育成。
- ○担い手の高齢化が進み、後継者へどうつなぐかが課題となっている当会活動ですが、担い手の知り合いに職場をリタイヤされた方がいるとのこと。声かけし入会してもらうことになりました。
- ○ボランティアの皆さんがたのしく食事作り出来るように声をかけあいながら活動しています。
- ○身の丈にあった活動をしているから特に問題なし。
- ○担い手が不足。利用者の減少していることが一番の課題。他団体との統合を検討している。
- ○現在活動して頂いているボランティアの高齢化率が高くなってきているので仕事を退職された方のおさそいをしている。
- ○担い手不足
- ○登録している担い手と、依頼者の希望内容や場所などのマッチングが上手くいかない。○コーディネーターや事務局等、 スタッフの後継者がいない。
- ○サポーターの研修。
- ○そんな余裕はありません。現状を保つのに必死です。
- ○収益を考えず、困っている人の援助に努力してきたので、後継者は望めないとあきらめています。
- ○担い手不足について、活動をしてくださる方がいないか、個別に声かけを行っている。
- ○現在は自立支援法に基づいて生活介護(重症心身障害児等)のみ空時間に地域交流事業をしています。25年度に生活介護は移転し、地域交流、支援事業を発足させる予定です。
- 〇ニュース (年2回) とパンフレットを公共施設、病院等に配置、会員の募集。イベント (町の文化祭、保育所の祭等) への参加。

- ○法人化に向けて進めています。
- ○この事業は主に社協会費を財源とし実施している。しかし、年々会員加入率が減少していることから財源が不足してきている。そのため町会等の会合に参加し、社協事業のPRを強化すると同時に、より市民に親しみを持ってもらえるよう社協会員制度を改正した。
- ○配食活動の折、声かけ、話し相手になれるよう、日頃から気をつけておく。
- ○担い手の高齢化。
- ○担い手の高齢化。ハローワーク等に常時募集を行なっている。ポスターを貼り出すなどの工夫をしている。
- ○全員が高齢化しました。若い人には生活を支える安定した収入が必要です。介護保険事業を引き継ぐ担い手づくりと元 気高齢、ボランティア参加型のいきいき社会 (地域) づくりと思っていますが、ハードルは高く、大変です。
- ○村山地域(山形・天童・寒河江・北村山)四地域で活動しておりますが、会員数、援助時間等、地域差があり、少ない地域は、 どうしても、消極的になりがちなので、年間計画を立てて、お茶会や食事会など開催するように、声がけしています。
- ○広報誌等での会員増強。居宅介護支援事業所や医療相談室との連携。
- ○広報誌の発行回数を増やす。会員募集や事業についてPRできる場があれば積極的にPRをする。
- ○援助を提供する協力会員の担い手不足に対しては定期的に広報などで募集を掛けている。利用したい人のニーズを的確に把握し、対応できないものに関しては他のサービスを紹介するなどの対処をしている。
- ○介護認定を受けている人でも街かどデイハウスを利用出来る様市に訴えていきたい。
- ○事業のPRと周知。
- ○ボランティア団体、個々の活動費(交通費に当る程度)は区や地区からの援助金でまかなっている。ボランティアの高齢化、若い人が参加しないのが問題。
- ○担い手の高齢化。
- ○本事業は、近隣での助け合いのしくみで活動しております。近隣地域での担い手不足の問題があるので、H24年度は、 7月に担い手の養成講座を開催し、新たに15名登録していただきました。H25年度は、養成講座を2回開催し、担い 手を増やす予定であります。
- ○若干の費用弁償を、頂くために、有料老人ホーム以外からのニード少ない。ボランティアの費用弁償が確立 (補償) すれば、財政上厳しい団体のサポート、支援できるが。
- ○後継者不足と、活動の担い手の育成。
- ○社内研修には力を入れています。
- ○なかなか先の見通しが立てられないなか、事業計画書の作成の指導を受けている。
- ○公設民営のファミリーサポートセンターを設置してもらう事により、資金を得る事ができ、担い手の育成が望める。緊急サポートを足がかりとしてファミリーサポートが発足したので、将来的には一本化する方向でいろいろ考えていきたい。(2012年7月オープン)。
- ○家事支援と子育て支援の利用料金を統一した。(子育ての値下げ)。
- ○事業周知の為、町イベントに参加しPR活動や一人暮らしの方を対象に月1回配布している通信にチラシを添付している。
- ○会議・研修に足げく出席する。
- ○利用者も担い手も老齢化が進んでいる。介護保険事業が中心となっている現状で今後どのように継続していくか検討中です。
- ○パートさんの有給を要求されている→就業規則の改定中 社労士さんと契約。
- ○制度など常に新しい情報を収集する。
- ○介護サービスに係る、団体・施設の増加により、利用者の争奪が暗にあり、中々、利用者増につながらない。
- ○介護保険外の生活支援サービスの担い手育成の強化。
- ○後継者不足、担い手不足については今後あらゆる機会を利用してP.R啓蒙を計り充足してゆきたいと考えています。
- ○5~6年ごとに利用会員・協力会員に対してのアンケート調査。
- ○資金不足が何よりの課題であるが、寄付金集めや、物品販売 (リサイクル品) 等で、何とか活動を続けている。
- ○チープレーバーの意識がある一利用者 ノーマライゼーションが判っていない一担い手。
- ○都、区の補助金が年々削減 活動拠点の事務所やソーシャルワークできるたまり場の確保がむつかしくなっている。
- ○担い手不足解消のため、ヘルパー養成講座開校を予定。
- ○地域への広報・宣伝活動。行政との連携の強化。
- ○公的機関から支援もれしてくる障害児の子育て支援が多い。小3までの支援も中学生まで延長し、送迎等を行なっている。このような支援こそ公的機関が行なうべき。
- ○社会福祉協議会を通して事業を実施することが多いが、会員数と事業のバランスはとれている状況。
- ○配食サービスを月3回30名の利用者(一人、2人暮し宅)に届け安否確認を行って実施している。行政よりの支援が年々

厳しくなり、財源の問題で困っている。私達は配食ボランティア活動の団体です。

- ○活動のスキルアップ学習会、交流会。
- ○認知症対策のため、市民後見人制度を推進している。
- ○改善策がなく税金に苦しめられています。
- ○サービス提供責任者の確保が難しく、質が低下している 研修及び個別指導体制の確立を図っている。
- ○病院または、自宅での夜間見守り活動ができる担い手の受け皿整備と、マニュアルの見直し。
- ○住民参加型福祉人材活用事業は、介護保険や障害福祉の公的なサービスで補いきれない福祉サービスを私的契約により、 互助有償的に供給している。実態は介護サービスと同等のサービスであり、担い手も介護保険や障がい者のヘルパーで あるため、担い手の身分や賃金等に課題があり検討中である。
- ○問20で答えたが、若干の費用弁償を、頂くために、有料老人ホーム以外からのニード少ない。ボランティアの費用弁償が確立(補償)すれば、財政上厳しい団体のサポート、支援できるが。
- ○担い手の個人的な判断で安易に仕事を受けない。
- ○数年前迄は利用に対し協力会員が不足している状態だったが、現在は、利用会員・協力会員ともに減ってきている。周知と、賛助会員の募集等を行っているが、なかなか伸びないのが現状です。
- ○会の説明会(お楽しみ企画との抱き合わせ)などを実施し、活動会員の登録を呼びかけたり、ブログを開設し、定期的な 更新をしている。
- ○特に取り組んでいない。
- ○担い手の高齢化が進み、若い人達の入会はない。若い人達は現金収入を求めているので○ボランティア的な活動は少なくなって来ると思います。介護保険の対象となる活動に切り替えない継続はむずかしい。
- ○ボランティアの高齢化が進んでいますので、どこまでできるのか不安です。
- ○各部署(常勤 理事含む)全員参加の業務改善会議の開催。
- ○利用者確保のために、PR活動の強化を行っている。わかりやすいチラシに工夫したり、広報にとりあげるなど。
- ○同様の活動をしている民間NPO法人が町内に増えてきているため、サービスの差別化を図る必要がある。対象やサービス内容の再検討を行っている。
- ○課題「明日の担い手の不足」取り組み「会の活動のPR」。
- ○子育て支援関係・団体・行政等とのケース会議・連絡会議の開催など。那覇市社協対応のひとり親子育てサポート券配布の実施(広報も含む)。年2回(7月・2月)保育サポーター養成講座の開設。
- ○前問[A]について、①⑥⑦⑩については、課題ではあり、改善はしたいが、現状ではどうすれば良いのか模索中である。
- ○運営体制の見直し(コーディネーター業務の整理と役割分担、など)検討を開始していく。
- ○介護保険と自立支援(週3回)同じ施設内でやっている為お互い声をかけ、助け合ってやれるよう、声がけを行ってる。
- ○担い手不足を補うため、行政へ働きかけて、国庫補助事業であった「生活・介護支援サポーター養成事業」を受託し、国 庫廃止後は市へ働きかけて市単独予算での受託として事業を実施し受講者を担い手へ結びつけるよう働きかけている。
- ○これまで、ヘルパーの賃金差をなくすため、利用料=担い手賃金として、マイナスは事業所負担として行ってきたが、サービス提供数が多くなるにつれ、運営面が厳しくなってきている。今後は利用料を上げるなど、具体的対応策が必要と考えている。
- ○地域での他団体との協働。
- ○数年前から、居場所づくりに取り組んでいるが、場所の確保、収益に結びつけるのが、難しい。 どのようなコンセプトで等、 課題があり具体化に結びつかない。
- ○たすけあい活動を、広げていくこと。そのための具体的な計画が急務である。 定年退職後の人材発掘と、コーディネーターの資質向上も期待したい。

# Ⅲ クロス集計

			_	2	3	4						
		回答数	1990年度 以前	1991年度 ~1995年 度	1996年度 ~2000年 度	2001年度 以降	無回	平均価	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	<b>△</b> +	581	76	129	173	180	23					
	≖₩	100.0	13.1	22.2	29.8	31.0	4.0	1997.42	7.85	1942.00	2013.00	1998.00
	1000年 11 並	9/	9/	0	0	0	0					
	1890十/夏以則	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1984.22	8.43	1942.00	1990.00	1986.00
	1001年-:1005年	129	0	129	0	0	0					
問1.1:事	_	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	1993.23	1.45	1991.00	1995.00	1993.00
業開始年	1006年 年 - 2000年 年	173	0	0	173	0	0					
	1890年/夏~2000年/夏	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	1998.31	1.46	1996.00	2000.00	1998.00
	2004年日後	180	0	0	0	180	0					
	1007	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	2005.16	3.29	2001.00	2013.00	2005.00
	チョクサやかからの雑かせっ	278	32	99	93	77	10					
	エスジョナディカ河南である	100.0	11.5	23.7	33.5	27.7	3.6	1997.28	7.50	1942.00	2013.00	1998.00
問2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	191	27	38	46	75	2					
形態	٢	100.0	14.1	19.9	24.1	39.3	2.6	1997.99	8.72	1951.00	2012.00	1999.00
	1000	108	17	25	32	28	9					
	102	100.0	15.7	23.1	29.6	25.9	5.6	1996.75	7.10	1973.00	2011.00	1997.00

 
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12

 2月
 3月
 4月
 5月
 6月
 7月
 8月
 9月
 10月
 11月
 12月
 無回答
 問1.2:団体として事業を開始した年月をご記入ください。 ||

5.00 5.00 5.00 5.00 6.00

平均値

			-	2	
			法人格を	法人格に	# E
		× (u =	8 8 1	もっていない	in I
	\$\tag{\dag{4}}	581	418	159	4
	丰体	100.0	71.9	27.4	0.7
	2000年	9/	09	16	0
	1990牛 東久門	100.0	78.9	21.1	0.0
	1001年 年 - : 100F 年 申	129	91	38	0
問1.1:事	1981年1861年1861	100.0	70.5	29.5	0.0
業開始年	1006年年-:0000年申	173	117	26	0
	1880年1975年19861	100.0	67.6	32.4	0.0
	2001年申118	180	133	45	2
	2001十岁公म	100.0	73.9	25.0	Ξ
	住 日 色 中 的 た 今 自 紹 鎌 だ 末 ろ	278	183	95	0
		100.0	65.8	34.2	0.0
問2:運営		191	170	21	0
无额	ている	100.0	89.0	11.0	0.0
	N 6 34	108	64	42	2
	<b>一川の2</b>	100.0	59.3	38.9	1.9

			-	2	3	4	5	9	7	
		回答数	特定非営 利活動法 人	認定特定 非営利活 動法人	社会福祉 法人	財団法人	社団法人	有限会社	生活協同	農組
	<b>*</b>	418	201	5	176	4	-	3	18	
	王体	100.0	48.1	1.2	42.1	1.0	0.2	0.7	4.3	
	1000年申13章	09	22	0	28	2	-	_	9	
	1930+XXE	100.0	36.7	0.0	46.7	3.3	1.7	1.7	10.0	
	1001年年~1006年申	91	49	-	34	0	0	-	3	
間1.1:事	_	100.0	53.8	Ξ	37.4	0.0	0.0	Ξ	3.3	
業開始年	F 1006年	117	58	3	45	2	0	-	5	
	19304/82000	100.0	49.6	2.6	38.5	1.7	0.0	6.0	4.3	
	2001年中118	133	62	-	64	0	0	0	9	
	2001 十次公平	100.0	46.6	0.8	48.1	0.0	0.0	0.0	2.3	
	4 日子 日子 的 かくり 日 名 報 か ま 2	183	171	4	3	0	-	0	2	
		100.0	93.4	2.2	1.6	0.0	0.5	0.0	1.1	
問2:運営	営 市区町村社会福祉協議会が運営し	170	0	0	168	0	0	0	0	
形態	ている	100.0	0.0	0.0	98.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	から年	64	29	-	5	4	0	က	16	
	고 이 교	100.0	45.3	1.6	7.8	6.3	0.0	4.7	25.0	
問3-2_1:	問3-21:【問3-2で「特定非営利活動法人」と回答の方】認証・申請区分/特定非営利活動法人	答の方]認	証·申請区	分/特定非	宫利活動	¥√ (SA)				

			-	2	
		回答数	認証をう けている	申請中で ある	無回%
	++4	201	197	0	4
	±₩	100.0	98.0	0.0	2.0
	1000年申21指	22	20	0	2
	1330十/4文形	100.0	90.9	0.0	9.1
	1001年申~1005年申	49	49	0	0
四1.1.4	33  牛  麦~  330   英	100.0	100.0	0.0	0.0
業開始年	1006年申~2000年申	58	58	0	0
	1300+1×1×1×0661	100.0	100.0	0.0	0.0
	2001年申118	62	19	0	-
	2001 十1文公平	100.0	98.4	0.0	1.6
	1 日子の十名かる日名第7年2	171	168	0	3
		100.0	98.2	0.0	1.8
問2:運営		0	0	0	0
无聽	ている	100.0	0.0	0.0	0.0
	から年	29	28	0	-
	別のと	1000	986	00	3.4

問3-2.2:	問3-2 <u>-2.[問3-2で「認定特定非宮利活動法人」と回答の方]認証・甲請区分/認</u> 定特定非宮利活動法人(SA)	1と回答のア	7.188世 中	H 177 H
			-	2
		回答数	認証をう けている	申請中である
	+14	2	3	2
	丰体	100.0	0.09	40.0
	1000年 年 1 指	0	0	0
	1330十1文公司	100.0	0.0	0.0
	1001年年~1005年申	-	0	-
11:11:11:11:11:11:11:11:11:11:11:11:11:		100.0	0.0	100.0
業開始年	1006年世-10000年	က	2	-
	13364/支~20004/支	100.0	66.7	33.3
	2001年申118	-	-	0
	2001 十12 公平	100.0	100.0	0.0
	マ 年 3 世 5 年 5 年 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日	4	3	-
		100.0	75.0	25.0
問2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	0	0	0
光德	ている	100.0	0.0	0.0
	を多り	-	0	-
	出いる	100.0	0.0	100.0

	2	持ってい 無回答ない	8 86	16.9 1.4	18	23.7 1.3	19 0	14.7 0.0		17.3 1.2	28 3	15.6 1.7	60 2	21.6 0.7	16 1	8.4 0.5	21 3	
	-	持っていする	475	81.8	22	75.0	110	85.3	141	81.5	149	82.8	216	7.77	174	91.1	84	0 0
		回答数	581	100.0	9/	100.0	129	100.0	173	100.0	180	100.0	278	100.0	191	100.0	108	0007
問4: 責団体は事務所をお持ちですか。(SA)			#4	##	4000年	1350+14×XEI	1001年中~1005年年		業開始年 1996年 デンクハハケー	X/+0007 - X/+0001	2001年118	世を対す 1007	4 臣の白土的な今日紹織だせ 2	THYOUTHUNGENESS COO	問2:運営 市区町村社会福祉協議会が運営し	形態 ている	から	当つ

			-	2	3	4	5						
		回答数	50人未避	50人~ 100人来 謝	100人~ 200人未 谢	200人~ 500人未 渐	500人以 上	無回	中均高	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	# *	581	218	126	95	75	37	30					
	至体	100.0	37.5	21.7	16.4	12.9	6.4	5.2	168.92	337.49	00.00	4482.00	67.00
	1000年11前	9/	24	17	7	13	10	5					
	1990十/英父郎]	100.0	31.6	22.4	9.2	17.1	13.2	9.9	255.45	379.53	00.00	1735.00	89.00
	1001年 年-:1005年 申	129	46	30	28	16	2	4					
問1.1:事	_	100.0	35.7	23.3	21.7	12.4	3.9	3.1	130.00	191.38	0.00	1588.00	00.99
業開始年	1006年年-:0000年年	173	89	40	34	16	6	9					
	1990年/支~~2000年/支	100.0	39.3	23.1	19.7	9.2	5.2	3.5	144.30	277.36	0.00	2100.00	65.00
	2001年128	180	73	34	24	25	Ξ	13					
	2001 中区公正	100.0	40.6	18.9	13.3	13.9	6.1	7.2	176.93	428.89	0.00	4482.00	26.00
	(4 日子 白十 名から 日 名 報 か 4 2	278	118	29	46	32	5	18					
	日内の日上によりに関係にある	100.0	42.4	21.2	16.5	11.5	1.8	6.5	105.34	133.65	0.00	1005.00	53.00
問2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	191	62	44	28	30	21	9					
无额	ている	100.0	32.5	23.0	14.7	15.7	11.0	3.1	224.98	451.76	0.00	4482.00	83.00
	からま	108	37	22	21	13	10	5					
	到LC0.2.	100.0	34.3	20.4	19.4	12.0	63	46	212 99	386.85	000	2100 00	78 00

						1	間1.1:事	業開始4						問2:運営 〒	无额			問7.2:貴						1	四1.1.等	莱開始4					間2:運営	表記に		
		全体		1990年度以前	1 × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	1991年度~1995年度	+0001 - ×1+1001	E 11996年 座 → 2000年 座	×/+0007 - ×/+0661	2001年世以降	4.007	4 日の白土的た今回名簿だちん	日から日上によれば記載しめる	市区町村社会福祉協議会が運営し	ている	からも	1	問7.2:貴団体に登録されているたすけあい活動の「担い手数 		± .	至本	1000年 年 1 1 並	1330十18公用1	1991年度~1995年度	~	1996年度~2000年度	<b>C</b>	2001年度以降		住民の自主的な会員組織である	1 市区町村社会福祉協議会が運営し	202	から名	月(2)4 日(2)4
	回答数	581	100.0	9/	100.0	129	100.0	173	100.0	180	100.0	278	100.0	191	100.0	108	100.0	加加を	回答数	581	100.0	9/	100.0	129	100.0	173	100.0	180	0.001	1000	191	100.0	108	100.0
	۲۵	84						26										F数」(直接サ			16.5											24.1		
4	<b></b> <u></u>	54						Ξ						21				サービスを	<u>\</u>	43	7.4											7.3		
,	77	24						7						5				ービスを提供している会 2 3	5人		2.4							Φ;		000				
	37	15		2		2						5		80				od a	37		0.0		1.3					7				1.0		60
	4	6 ,		2		3				2		3		4		2		5,717,7	4	ľ	0.2											0.5		
	5人~10 人未謝	L ,				0		2		4		2				3		数)について、下記表にその人	5人~10 人未謝	9	1.0	_	1.3			7		7		0 0		0.5		0
	10人~20 人米謝	7	1.2	_	1.3	-		-	9.0	4				4	2.1	0	0.0	数と	10人~20人未辦	0	0.0	0	0.0			0 0	0.0	0 0	O.O.	> 0		0.0		
	20人~30 人未謝	- 3		0	0.0			0		-		0				0		こ記入ください。	20人~30人未辦		0.0							0 6				0.0		
,	30人以上	2 2						0		-						0		/。/20代男/	30人以上		0.0											0.0		
	無回機	378						124				193		109			68.5	(N) 計	無回%		71.6											64.4		
	平均值	L	2.03		2.92		1.15		1.22		2.84		1.91		2.41		1.53		平均值		0.78		0.81		0.49		0.85		0.87	117		0.59		0 40
	標準偏差	L	4.34		09.9		2.12		2.58		5.21		4.15		5.16		2.25		標準偏差		1.41		1.83		0.96		1.81		1.20	1 7 1		1.25		77
_	最小值		0.00		0.00		0.00		0.00		00.00		00.00		00.00		0.00		最小值		00.00		00'0		00.00	0	00.00	0	0.00	000	2	0.00		0
	最大値		32.00		32.00		13.00		16.00		30.00		32.00		30.00		9.00		最大値		8.00		8.00		2.00	0	8.00		2.00	00 8	3	8.00		0000
			٦,		-		_	_	_	_	_	-	_		$\overline{}$		-	_				╙	_		-	_	$\rightarrow$		-	_	-	$\overline{}$	$\overline{}$	_

中央値

引/3:真[		頭の! 強い言	数   直		か旋珠し	(CC)		7,7,7 5	記数にたり		は人ください。	。/20代合計	SET (N)					
		回答数	-   	7 7	72	, X	-		5人~10人米謝	10人~20人米謝	20人~30人未謝	니 식	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値	
	全体	581			61	29	15	12	16	9 5	4 0.7	0.3	1.03	3.37	00.00	32.00	00:00	
	1990年度以前	76			9 0	m 0	0 0	2 2	m 0	0 0			1 22	7 40	000	32.00	000	
100	1991年度~1995年度	129		100	16	200	0 0	1 2	2 2 9	- 6	0 0	0 0	0.56	1.74	000	15.00	000	
業開始年	1996年度~2000年度	173			15	5 2 2	12	1 0	1.2	3	1 0	0 0	0.72	2 88	000	27.00	000	
	2001年度以降	180			21	10	6 0.5	9 8	9 20	2 2	1.1	0.0	1.64	4.17	00:00	30.00	00.00	
	住民の自主的な会員組織である	278 100.0			31	17	3.2	0.7	2.2	4 4.	1 0.4	1 0.4	0.87	2.91	0.00	32.00	00:00	
問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191			24	3.1	2.1	3.7	3.1	2.6	0.5	0.5	1.28	3.87	00:00	30.00	00'0	
	その他	108			6 5.6	5 4.6	1.9	2.8	3.7	0.0	1.9	0.0	1.04	3.59	0.00	27.00	00:00	
7.4: 貴臣	問7.4: 貴団体に登録されているたすけあい活動	ハ活動の「担い手数」(直接サ	手数」(直排	接サービス	を提供し	一ビスを提供している会員数))	:員数)に	について、下記表	:記表にその	人数をご	にその人数をご記入ください	'。/30代女性						
		回答数	- ~	<sup>2</sup> <sup>7</sup>	27	ر پر پر		5 4 十	5人~10	7 10人~20 人未謝	8 20人~30 人未謝	930人以上	無回答	平均価	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	全体	581		23	71	48	35	3.8	44	33	8 4	13	284	7.18	17.04	00.00	204.00	3.00
	1990年度以前	100.0			8 1	5 9	4 K	2 2 2 6	7 9 9	7 0 0	2 2	2 2	37	7 90	10 14	000	48 00	4 00
1011	1991年度~1995年度	129			27.5	- 5	200	9 7	7 7 2	6 6 7 7	- 8	0 0	64	3.69	4.57	000	26.00	000
業開始年	1996年度~2000年度	173		12 11	20	11 6.4	8 4.6	3.5	11 6.4	3.5	1 0.6	1 0.6	97	4.12	6.76	0.00	46.00	2.00
	2001年度以降	180			81 0:	10.01	16	2.8	15	14	2.2	10	77	11.91	26.78	0.00	204.00	3.00
	住民の自主的な会員組織である	278 100.0			38	15	18	10	16	14	1 0.4	0.7	154	4.78	8.16	0.00	65.00	2.00
問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191		10 5.2 9	8 4.	21	1.3	9	17 8.9	11 5.8	2.1	8	80	9.94	25.08	00:00	204.00	3.00
	その他	108			15	11.1	3.7	2.8	10 9.3	7.4	2.8	2.8	48 44.4	7.15	10.91	00:00	00'99	3.00
5.貴臣	問7.5.貴団体に登録されているたすけあい活動	前の「担い言	F数」(直	接サービス	を提供し	711/2	:員数)に	71,7, F	ハ活動の「担い手数」(直接サービスを提供している会員数)について、下記表にその人数をご記入ください。	人数をごう	己入ください	。/30代男性	3性 (N)					
		回 数	-   	<u> </u>	72	<u>ੂ</u>		, 4 4	5人~10	10人~20人米謝	20人~30 人未謝	30人以上	無回%	平均值	標準偏差	最小值	最大値	中中
	全体	581 100.0			66	14	15	3	1.1	1 0.2	1 0.2	0.0	390	1.34	2.63	0:00	29.00	1.00
	1990年度以前	76 100.0		14 3	E 6.	- 5.	0.0	0.0	2.6	0.0	- 1.3	0.0	55 72.4	2.19	6.40	0.00	29.00	0:00
二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	1991年度~1995年度	129			51 9.	3.9	1.6	1 0.8	1.6	0.0	0.0	0.0	86	1.12	1.58	0.00	8.00	1.00
開始年	1996年度~2000年度	173			20 9:	2 2.	2.9	1 0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	120	1.04	1.43	0.00	7.00	1.00
	2001年度以降	180			22	2.8	8 4.4	1 0.6	2.8	1 0.6	0.0	0.0	114 63.3	1.50	2.01	0.00	10.00	1.00
	住民の自主的な会員組織である	278			31	7	3.2	0.7	£ +	1 0.4	1 0.4	0.0	203	1.81	3.61	00:00	29.00	1.00
間2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191			23	2.6	2.1	1 0.5	3.7	0.0	0.0	0.0	113	1.18	1.86	00:00	9:00	1.00
		007			C	c	-	c	7	•	•	•	0					

5人×10   10人×20   20人×30   30人以上 平均値	10.0.1回   	問/.0:   見団体  - 登越されているだ9 「7めい活]	到 0.7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1	,	3 2 2	4	4	9	7	α	o						
			回答数	   같	<u>'</u>	27	YE	1	5人~10 人米謝	10人~20人米謝	20人~30 人未謝	30人以上	平均值				中央値	
1995年 日		全体	581 100.0								10	18	4.60	15.46	0.00	207.00	1.00	
1995年後一7009年後   1700   584   51   51   51   51   51   51   51   5		1990年度以前	100.0								2.6	3.9	4.66	9.60	0.00	48.00	0.50	
1995年第一7000年度   1000   100	問1.1:事	1991年度~1995年度	129								0.0	0.8	2.23	4.25	00:00	30.00	00:00	
(17年度の経験 (1779) (1774) (177	業開始年	1996年度~2000年度	173		,						1.2	1.2	3.28	15.57	0.00	194.00	0.00	
(日本) 日本の		2001年度以降	180								3.3	12 6.7	7.85	21.73	0.00	207.00	1.00	
大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大		住民の自主的な会員組織で	278 100.0		·						0.7	4 4.1	2.64	6.71	0.00	00:99	0.00	
(株に登録されているかでは 100	問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会か ている	191								2.6	9	6.49	20.30	0.00	207.00	1.00	
(株理学院大いで全球性が必要の7担い・乗り、直接サービスを提供している金融を1201 に対する。 1 2 2 3 4 2 1 2 2 2 3 3 1 2 2 2 3 3 3 3		その色	108								2.8	4.6	6:39	20.67	00:00	194.00	1.00	
全体 1500 日 5 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	問7.7:貴臣	あい活	前の「担い手	F数」(直接		提供してい	る会員数)」	12017	記表	の人数をご	記入くださし	0						
(990年度以前 (100			回 教	-	<u>\</u>	° ۲۵	3 3 4		5人~10	10人~20人米謝	20人~30 人未辦	30人以上	₩ū	平均価				中央値
1995年度上時 (1962) (1962) (1962) (1962) (1962) (1962) (1963) (1963) (1964年度上時 (1962) (1964) (1		全体	100.0								3.1	48	185	12.12	20.21	00:00	140.00	5.00
1996年度~1995年度 1102		1990年度以前	76 100.0	0							5.6	11	23	18.81	24.85	1.00	99.00	7.00
1996年度~2000年度   1000   2.9   1.2   1.4   1.4   1.5   1.4   1.5   1.4   1.5	周1.1:事		129								3.1	9 7.0	36 27.9	10.03	17.00	0.00	131.00	5.00
	業開始年	1996年度~2000年度	173								1.7	2.9	34.7	7.64	12.86	00:00	95.00	4.00
		2001年度以降	180								2.2	22 12.2	59 32.8	15.24	25.23	00:00	140.00	5.00
大いの		住民の自主的な会員組織で	278 100.0								2.2	3.6	110 39.6	8.00	12.80	00:00	93.00	4.00
全の他         1000         11         11         11         11         12         12         12         12         14         16         15         29         17.66         26.48         0.00         140.00           (体)に登録されているとすけあい活動の「担い手数」(直接サービスを提供しているを書数)「コンドン・「スを提供しているとすけあい活動」」」」         1         2         3         4         5         6         7         8         9         17.66         26.48         0.00         140.00           全体         1         2         3         4         4         5人で10         10人で20         20人へ30         の以上書類         平均値         標準備差         最小値         中央           全体         100         1         2         3         4         5人で30         10人で30         30人以上書類         平均値         標準備差         最小値         中央           全体         100         1         1         2         4         4         5人で30         10人へ30         30人以上書類         平均値         再分値         中分値         10         0<	間2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会か ている	191								3.7	12.0	44 23.0	13.93	22.41	00:00	132.00	5.00
体に登録されているたすけあい活動の「担い手数」「直接サービスを提供している会量数)について、下記表にその人数をご記入ぐださい。 4 5 6 7 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		その色	108								4.6	15	29	17.66	26.48	00:00	140.00	7.00
全体         日舎数         0人         1人         2人         3人         4人         5人         人未満         人未満         人未満         人未満         人未満         本分         10人之一         10人一一         10人工         1人	問7.8:貴厄		動の「担い手	F数」(直接	サービスを	提供してい	- 5会員数) - 4	(221,7,	下記表にそ	<b>の人数をご</b> 7	記入くださし		- 1					
全体			袒			27			5人~10人来谢	~ 50	20人~30人未谢	30人以上	回答	平均值				中央値
1990年度以前         78         10         10         10         0		全体	581 100.0								0.0	1 0.2	389 67.0	1.49	2.99	00:00	32.00	1.00
1996年度~2000年度 173 19 18 5 1 2 0 0 8 8 8 8 1 197 5 5 2 0 0 0 3 2 0 0 1 8 8 8 8 1 197 5 5 2 0 0 0 3 2 0 0 1 1 0 0 1 1 1 0 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 1 0 1 1 0 1 1 1 0 1 1 1 0 1 1 1 1 0 1 1 1 1 0 1		1990年度以前	100.0								0.0	0.0	65.8	1.35	1.85	00.00	7.00	1.00
138   1996年度   173   199   18   18   19   18   19   19   1	開1.1:事	1991年度~1995年度	129								0.0	0.8	90	1.97	5.52	0.00	32.00	1.00
2001年度以降 18 2 3 3 12 6 7 6 2 6 6 6 6 7 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	業開始年	1996年度~2000年度	173								0.0	0.0	124	1.39	2.23	00:00	11.00	1.00
住民の自主的な会員組織である 278 178 18 10 0 1 13 0 0 0 203 147 240 0.00 1400 141 11 19 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2001年度以降	180								0.0	0.0	111	1.30	1.64	00:00	10.00	1.00
TOVA 15 19 30 27 10 3 8 3 1 0 1 108 18 3.86 0.00 32.00 1 108 15.7 14.1 5.2 1.6 4.2 1.6 0.5 0.0 0.5 56.5 1.81 3.86 0.00 32.00 1 108 16 12 2 1 0 1 0 0 0 0 0 76 18 1 108 0.00 5.00 1 108 11.1 1.9 0.9 0.0 0.9 0.0 0.0 0.0 0.0 174 0.75 1.08 0.00 5.00 1 14.8 11.1 1.9 0.9 0.9 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 1.04 0.75 1.08 0.00 5.00 1 108 0.00 1 10		住民の自主的な会員組織である									0.0	0.0	203 73.0	1.47	2.40	00:00	14.00	1.00
108	問2:運営 形態 上	市区町村社会福祉協議会が運営 ている									0.0	0.5	108	1.81	3.86	00.00	32.00	1.00
		その他	108								0.0	0.0	76 70.4	0.75	1.08	0.00	5.00	0.50

日/.3:     日/4 -1日	即の1 担いす	- 数」(直接)	\   	が存ました。	(いる	7,10	ト記汝したり	ノ人数かし	07//201	10 401 V	N) Tar					
	回答数	_   	<u></u>	ء 27	3 3 3		5人~10	10人~20人米謝	20人~30 人未謝	30人以上	平均值	標準偏差:	最小值:	最大值	中央値	
全	581 100.0	175 30.1			32	30	92	10.5	17	55	9.80	23.57	0.00	308.00	2.00	
1990年度以前	100.0	27.6			- 5	- 5	11.5	13.2	6.6	11 14.5	13.71	22.97	00.00	104.00	3.50	
問1.1:事 1991年度~1995年度	129	37			4.7	10	24	13	3.1	10	7.83	15.85	0.00	132.00	3.00	
1996年度~2000年度	173	34.7			15	8 4.6	29	17	1.7	4.0	7.20	25.86	00.00	308.00	2.00	
2001年度以降	180	51			9	11 6.1	26	16	2.2	13.9	12.33	26.86	0.00	208.00	3.00	
住民の自主的な会員組織である	278	105			16	12	44	24	1.8	12 4.3	5.26	11.21	00.00	94.00	1.00	
市区町村社会福祉協議会が運営し ている		41 21.5			13	11	30	22	3.7	13.6	12.72	25.58	0.00	208.00	4.00	
その他	108	27 25.0	11 10.2	5.6	2.8	6.5	18	13.0	4.6	17	16.58	37.50	00:00	308.00	4.50	
問7.10:貴団体に登録されているたすけあい活動の「担い手数」(直接サ	動の「担い	手数」(直接	きサービスを	ービスを提供している会員数)について、下記表にその人数をご記入(ださい)。	る会員数)	(2017).	下記表にそ	の人数をご	記入くださ	い。/50代女性	女性 (N)					
	回答数	-   	<u></u>	2 72	37	, \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	5人~10 人米謝	10人~20 人未謝	20人~30人未辦	30人以上	無回答	平均值	標準偏差:	最小值	最大值	中央値
全体	581				46	34	104	79	39		118	16.62	28.64	1.00	241.00	7.00
1990年度以前	100.0				S 8.	9.2	10.5	9 7.9	5.6		20	34.52	54.97	1.00	227.00	9.00
1991年度~1995年度	129				9 7.0	9 7.0	32	28	8		10.9	15.01	25.58	1.00	241.00	8.00
1996年度~2000年度	173	0.0	10.4	15 8.7	12 6.9	5.2	36 20.8	18	16	12 6.9	37	11.69	17.23	00.1	155.00	5.50
2001年度以降	180				20	8 4.4	26	23	9		42	15.61	22.96	1.00	129.00	00:9
住民の自主的な会員組織である	278				23	18	52 18.7	33	14		21.6	10.25	14.50	1.00	91.00	5.00
市区町村社会福祉協議会が運営し ている					17 8.9	12 6.3	33	24 12.6	12 6.3		33	19.30	29.72	1.00	227.00	7.00
その他	108				5.6	3.7	19	22 20.4	12		23	28.06	45.42	1.00	241.00	13.00
問7.11:貴団体に登録されているたすけあい活動の「担い手数」(直接サービスを提供している会員数)について、下記表にその人数をご記入ください。	動の「担い	手数」(直接	きサービスを	提供してい	る会員数)	122117.	下記表にそ	の人数をご	記入くださ	い。/50代男性	男性 (N)					
	回答数	- ا ۲۰	ر اب	3 2人	37	· 2 4 4	6 5人~10 人来辦	10人~20人米辦	20人~30人米謝	90人以上	±4a	平均信	標準偏差:	最小値	最大値	中一
	581	69			17		18	4	6	-	362					
⇔	100.0	10.7			2.9	2.4	3.1	0.7	0.3	0.2	62.3	2.25	4.59	0.00	53.00	1.00
1990年度以前	76 100.0	10.5			3.9	3.9	2.6	3.9	0.0	0.0	47 61.8	2.90	3.82	00:00	15.00	2.00
1991年度~1995年度	129	12			2.3	1.6	1.6	0.0	1 0.8	1 0.8	85	3.07	8.57	00:00	53.00	1.00
1996年度~2000年度	173	20			1.7	2.9	2.3	1 0.6	1 0.6	0.0	113	1.90	3.19	00:00	20.00	1.00
2001年度以降	180	21 11.7			3.9	1.7	10	0.0	0.0	0.0	101	1.86	2.10	00:00	8.00	1.00
住民の自主的な会員組織である	278	18			3	18	10	1 0.4	1 0.4	0.0	190	2.17	3.23	00:00	24.00	1.00
市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191	26	28	9	12 6.3	2.6	4.2	1.0	1 0.5	1 0.5	99	2.68	60.9	00.00	53.00	1.00
9	00,				,				,	,		i	,		,	

		回答数	-     중	<u> </u>	° ۲۶	* \	, 4	5人~10 人米謝	10人~20人米謝	20人~30 人未謝	30人以上	平均值	標準偏差	最小値	最大值	中央値	
	全体	581	L	5 45			47		2 87 3 15.0	42	79	15.19	30.68	00.00	282.00	5.00	
	1990年度以前	76 100.0	19			9 7.9		4 10 5.3 13.2				26.67	51.49	0.00	240.00	5.00	
間1.1:	1991年度~1995年度	129										14.43	25.49	00.00	242.00	8.00	
業開始年	1996年度~2000年度	173										11.03	21.69	00.0	181.00	5.00	
	2001年度以降	180										15.13	30.29	0.00	282.00	4.50	
	住民の自主的な会員組織である	278										8.81	14.33	00.00	92.00	4.00	
間2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営している	191					18			13		18.99	35.41	00.0	282.00	0.00	
	その他	108		0.0					1 22 4 20.4		22 20.4	25.17	45.89	0.00	242.00	10.00	
問7.13:貴	問7.13:貴団体に登録されているたずけあい活動の「担い手数」(直接サービスを提供している会員数)) こついて、 1 1 2 3 4 5 6 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	動の「担い	手数」(直	接サービス:	を提供して 3	11、名会員	数)につい	て、下記表に	下記表にその人数をご記入ください。 6 7 8	言記入くださ	い。/60代女性 9	女性 (N)					
		回答数		<u> </u>	77	37	<b>4 ∀ 4</b>	5人~10人米謝	10人~20人未辦	20人~30人未辦	30人以上	無回%	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中中
	全体	581 100.0	1 0.2	2 3.4		23	26	20 99 3.4 17.0		11.7	119	17.1	27.72	54.11	00:00	802.00	14.00
	1990年度以前	76 100.0							7 12 2 15.8			14	65.97	122.02	1.00	802.00	22.50
間1.1:事	1991年度~1995年度	129									30	5.4	24.37	33.12	1.00	289.00	15.50
業開始年	1996年度~2000年度	173	0.0	3.5		1.2	10	10 42 5.8 24.3		20	24	21	18.39	31.93	1.00	353.00	10.00
	2001年度以降	180									32	13.9	23.29	32.36	0.00	181.00	13.00
	住民の自主的な会員組織	278 100.0									36 12.9	13.3	15.63	18.98	1.00	160.00	10.00
問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191	0.5								55 28.8	18	38.80	74.33	00.00	802.00	19.00
	その他	108									28	15	38.75	64.71	1.00	331.00	17.00
明7.14:貴	問7.14:貴団体に登録されているたすけあい活動の「担い手数」(直接サービスを提供している会員数)について、下記表にその人数をご記入ください。 3	動の「担い	手数」(直	後サービス	を提供して	(1)名会員	数)につい	7、下記表に	その人数をこ	ご記入くださ	い。/60代男性	男性 (N)					
		回答数		<u></u>	, \( \sqrt{2}	37	4	5人~10	10人~20人未辦	20人~30人未謝	30人以上	無回答	平均值	標準偏差	最小值	最大値	中央値
	全体	581 100.0	35	5 88	3 61 1 10.5		40	18 60 3.1 10.3	0 31 3 5.3	10	11.9	227 39.1	5.67	10.29	00.00	100.00	2.00
	1990年度以前	76 100.0									3.9	34	69.6	17.18	00.00	92.00	3.00
間1.1二	1991年度~1995年度	129									2.3	53	5.50	12.63	00.00	100.00	2.00
業開始年	1996年度~2000年度	173									2.3	37.0	4.64	8.24	00.00	53.00	2.00
	2001年度以降	180 100.0									1 0.6	36.7	5.11	6.32	00:00	37.00	3.00
	住民の自主的な会員組織										0.7	118	4.09	6.05	00.00	53.00	2.00
間2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている										4.2	28.3	8.12	13.72	00.00	100.00	3.00
	そのも	108									0.9	54	4.31	9.30	0.00	61.00	2.00

引7.15: 貴巨	問7.15:貴団体に登録されているたすけあい活動の「担い手数」(直接サ 	動の1担い	手数」(直	掛サービ	スを徒り	ましている	公公員級)	17007		の人数をし	- 1177773	い。/ 601七百計	(N)					
		回答数	-     상	<u> </u>	27	2	37	ر 44	5人~10 人米謝	10人~20人米謝	20 Y 7 *	30 Y	平均值	標準偏差:	最小値	最大値	中央値	
1	全体	581			17	13	16	23	95	142	73	142	29.11	59.03	000	894.00	13.00	
F	1990年度以前	76			2 2	- 6	0 0					29		125.07	00.0	00 708	17.50	
## ##	間11.事 1991年度~1995年度	129			0 0 0	. e. e.	0 6	6 6 7 7				37	96		000	292.00	00.7	
開始年	1996年度~2000年度	173			2 0 2	- 9	2 2 2	8 4				28		98	000	396.00	1 0	
	2001年度以降	180			9 8	8 4	3.9	8 4				41		43.37	0000	374.00	12.50	
20	住民の自主的な会員組織である	278	11.9		2.2	2.5	13	13		71 25.5	26	16.5		20.47	00:00	161.00	10.00	
問2:運営 〒 形態 て	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191			8 2.4	1.0	1.0	9				34.6		83.65	00:00	894,00	19.00	
į	その他	108			3.8	3.7	0.9	0.0	11 10.2			30 27.8		66.99	0.00	344.00	15.50	
.16:貴臣	問7.16:貴団体に登録されているたすけあい活	100	手数」(直	接サービ	スを提供	乗している	0000	数)について、	下記表にそ	の人数をこ	下記表にその人数をご記入ください。		/70代以上女性	(N)				
		回答数	- 3		27	m	3.7 3.4	4 4 7	5人~10	7 10人~20 人未謝	20人~30 人未谢	30人以上	無回	平均值	標準偏差:	最小値	最大値	中央値
Z Z	全体	581 100.0		13	46	37	44	27		76	39	50	138	16.01	44.31	0.00	793.00	6.00
-	1990年度以前	100.0			5.3	2.6	5.3	5.3				17			110.88	1.00	793.00	10.00
# #:	問1.1.事 1991年度~1995年度	129			12 9.3	11	6.2	5.4				6.2			13.90	00'0	91.00	00'9
]始年	1996年度~2000年度	173		3	16	12 6.9	15	4.0	38	20	12 6.9	5.2	41 23.7		19.85	0.00	185.00	5.50
2	2001年度以降	180			13	11 6.1	16	8 4.4				14 7.8			18.79	0.00	116.00	5.00
4	住民の自主的な会員組織である	278 100.0			24	16	24	17				3.2			10.57	00:00	62.00	5.50
問2:運営 <del> </del> 形態   て	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191			9	9 4.7	13	3.1				32 16.8		26.	70.48	0.00	793.00	8.50
W	その他	108			13	11.1	6.5	3.7				9.3		13	27.13	00:00	151.00	5.00
17:貴臣	問7.77:貴団体に登録されているたすけあい活動の「担い手数」(直接サービスを提供している会員数)について、下記表にその人数をご記入ください。	動の「担い	手数」(直	接サービ	スを提供	#1771	(会員数)	1501,7,	下記表にそ	の人数をこ	ご記入くださ		人70代以上男性	(X)				
		回答数	-     중	<u> </u>	27	2 .	37	· 4	5人~10 人米謝	10人~20人米謝	20人~30 人未謝	30人以上	第回	中方音	標準偏差:	最小值	最大值	中央値
(Au	全体	581		32 1	76	49	40	21	48		14 2.4	101		6.24	12.06	0.00	141.00	3.00
-	1990年度以前	76 100.0			12 5.8	10.5	7.9	2.6						10.71	23.19	00:00	141.00	3.00
# ::	問1.1:事 1991年度~1995年度	129		7 5.4 1	17	9 7.0	9 7.0	3.1	11 8.5	5.4	1.6	0.8	62		12.01	00:00	93.00	3.00
	1996年度~2000年度	173			2.1	11.0	12 6.9	8 4.6						4.78	6.92	0.00	38.00	2.00
Ŋ	2001年度以降	180			24	13	11 9	333							7.35	00:00	35.00	3.00
日	住民の自主的な会員組織である	278			44	25	26	12							5.36	00:00	38.00	3.00
:運営計	問2:運営 市区町村社会福祉協議会が運営し 形態 ている	191			19	14	10	9 4.7			9	3.1			17.56	00.00	141.00	4.00
<u> </u>		108			13	10	2	0				6						

問7.18:貴	問7.18:貴団体に登録されているたすけあい活動の「担い手数」(直接サービスを提供している会員数)について、下記表にその人数をご記入ください。	動の「担い	F数J(直接	サービスを	提供してい	、る会員数)	について、	下記表にそ	の人数をこ	記入くださ		<u>/70代以上合計</u>	( <u>N</u>			
		į	-	7	m .	4	٥ :	b 5 λ ~ 10	10 Å ~20	8 20 Y ~30	n :	1		:		1
		回答数	<b>살</b>	<b></b> ∠	5人	3	<b>4</b> ∤	海米 人	大米瀬	が 無米イ	30人以上	平均值	標準偏差	最小值	最大値	中央信
	全体	581 100.0	227 39.1	30	25	27	3.4	13.9	65	40	11.4	14.44	47.67	00:00	934.00	3.00
	1990年度以前	76 100.0	31	2.6	1.3	3.9			10.5	5 6.6	18	37.51	116.28	00.00	934.00	4.00
問1.1:	1991年度~1995年度	129	47	8	7.5.4	2.3				8	11 8.5	10.04	19.08	0.00	120.00	3:00
業開始年	1996年度~2000年度	173	39.9	11 6.4	5.2					14 8.1	11 6.4	9.57	21.83	0.00	217.00	2:00
	2001年度以降	180	38.9	8 4	8 4					12 6.7	23	12.45	24.60	0.00	177.00	3.00
	住民の自主的な会員組織である	278	115	15	12 4.3					24	12 4.3	7.33	12.71	0.00	86.00	2:00
問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191 100.0	63 33.0	3.7	2.6		1.0	13.1		13	44 23.0	27.12	77.73	00:00	934.00	7.00
	その色	108 100.0	48 44.4	7.4	7.4	3.7	4.6			2.8	10 9.3	10.43	27.10	00.00	166.00	1.00
問7.19:貴	問7.19:貴団体に登録されているたすけあい活動の「担い手数」(直接サービスを提供している会員数)について、下記表にその人数をご記入ください。	動の「担い	F数」(直接	サービスを	提供してい	、る会員数)	(221,7,	下記表にそ	の人数をこ	記入ください	\I°	全年代合計女性	(N)			
		回答数	- - - -		5 72	3,7	, , , ,	5人~10人米謝	10人~20 人米謝	20人~30人未谢	30人以上	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	全体	581	45	3	9 0.1	0.7	0.3	50	96	85	290	66.81	134.46	0.00	1874.00	29.00
	1990年度以前	76 100.0	9 11.8	- 5.					12	9 7.9	44 57.9	146.14	288.40	00:00	1874.00	42.50
開1.1:事	1991年度~1995年度	129	1.6	0.0	1.6	1.6	0.0		13	21	79	59.78	86.54	00:00	751.00	36.00
業開始年	1996年度~2000年度	173 100.0	13	0.6	0.0				37	32	74	43.79	77.99	0.00	850.00	25.00
	2001年度以降	180 100.0	18 10.0	1 0.6	1.7				31	23	80	60.83	92.29	0.00	468.00	25.50
	住民の自主的な会員組織である	278 100.0	22 7.9	1.0	2 0.7	E 1.1	0.4	27 9.7	60 21.6	52 18.7	110	37.50	49.49	00:00	382.00	24.00
問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191 100.0	10	1.0	1.0			9.9	22 11.5	10.5	114 59.7	99.03	190.74	0.00	1874.00	38.00
	その街	108 100.0	12 11.1	0.0	1.9	0.0	0.0		14	11.1	64 59.3	86.58	150.06	0.00	795.00	40.00
問7.20:貴	問7.20:貴団体に登録されているたすけあい活動の「担い手 	動の「担い	F数」(直接サ-	サービスを	提供してい	ービスを提供している会員数)  ・ ・ ・ ・ ・ ・	について、下記表	下記表にそ	の人数をこ	にその人数をご記入ください。	\]°	全年代合計男性	(N			
		回略数	   상	≺	2 72	37	, \(\frac{4}{}	5人~10人米謝	10人~20人米謝	20人~30人未辦	30人以上	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	全体	581 100.0	160	54	53	42	36	94	11.9	25	48	10.13	27.47	0.00	415.00	3.00
	1990年度以前	76 100.0	25 32.9	3.9	10.5				9.2		10	19.97	58.01	00:00	415.00	3:00
間1.1.	1991年度~1995年度	129 100.0	36 27.9	19	13	9 7.0	4.7	13.2	21 16.3	0.0	8	8.70	27.38	00:00	286.00	2.00
業開始年	1996年度~2000年度	173	47 27.2	15 8.7	16 9.2				15		10	8.02	15.26	0.00	114.00	3.00
	2001年度以降	180 100.0	46 25.6	13	16				24 13.3		17	9.04	14.09	0.00	84.00	4.00
	住民の自主的な会員組織である	278 100.0	68 24.5	24 8.6	28 10.1				35 12.6		13	7.00	11.42	00:00	68.00	3.00
問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191 100.0	43 22.5	15 7.9	15 7.9				27 14.1		31 16.2	17.74	43.65	00.00	415.00	4.00
	その色	108 100.0	48	13.9	10 9.3				6.5		3.7	4.84	14.55	0.00	125.00	1.00

1 2 3 4 5			-	2	3	4	2	9					
		回 数	10人未謝	10人~50 人未謝	50人~ 100人未 谢	100人~ 150人未 谢	150人~ 200人未 谢	200人以 上	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	全体	581	10.5	287		39	25	10.5	09 00	169 73	000	919100	27 00
	1990年度以前	76						17	-	346		_	20 05
111	1991年度~1995年度	129						11					41 00
業開始年	1996年度~2000年度	173	17	95	36	13	4 6	8 9			000	964.00	33.00
	2001年度以降	180						22				_	34 00
	住民の自主的な会員組織である	278						12					29 50
問2:運営形形態	市区町村社会福祉協議会が運営している						15	32	-	2		2	
į	その他							17					
				7	2	4							
		回答数	担い手が 不足して いる傾向 がある	利用者が 少ない傾 向がある	担い手と 利用者の バランス はちょうど よい	傾向にム ラがあり 一概に言 えない	無回						
	<b>*</b>	281	L	20			32						
	<u>₹</u>	100.0		8.6			0.9						
	1990年度以前	92		2			4 0						
	4000年年	129		11			9.0						
問1.1:事		100.0		8.5			7.0						
開始	1996年度~2000年度	173	84	14	10.4	46 26.6	11 6.4						
	2001年度以降	180		22			7						
	4.002	100.0		12.2			3.9						
	住民の自主的な会員組織である	278		17			19						
ij.	「東京はないない。」という。	100.0		9			0.8						
1017:研四二元 表表 1121	一ドと当れた女神化が殺みが生きてしている	10001		110			3.0						
5	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	108		12			7						
	見られ	100.0		11.1			6.5						

		100.0	20.0		5.5		25	7							
9:担い手	問9:担い手の募集にあたって、貴団体として実施し	施し、効果	し、効果があったと考えらえるもの全てに〇印をつけてください。	考えらえるも	うの全てに	〇印をつけ	てください。	(MA)							
			-	2	3	4	2	9	7	8	6	10	11	12	
		回答数	ンプレン・ レン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ポペ マーパ マージ	他団体の 広報誌	個別に声掛け	会員による紹介	担い手機 成講座・ 研修会	広報誌	お を オ・FMラ ジオ	説明会、 交流会	ハローワーク	揭示板	その他	無回答
'	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	581	260	96	53			107	182	6	82		14	61	25
	+	100.0	44.8	16.5	9.1	46.1	57.3	18.4	31.3	1.5	14.1	6.9	2.4	10.5	4.3
ľ	1000年年17部	9/	36	10	6	23			31		8			6	5
	1350十/文序!	100.0		13.2	11.8			23.7	Ì	1.3	_			11.8	9.9
	1001年年-:1006年	129		25	12	57	81	18	39	3	16	8	8	Ξ	9
四1.1.1	+6661~31+	100.0		19.4	9.3			_			_			8.5	4.7
開始年	1006年年-:0000年年	173		26	14	98		23	52				5	15	5
	+0007	100.0		15.0	8.1		60.1	_		2.3	_			8.7	2.9
	2001年中18	180		30	16	92		45	56		33	16	5	24	9
	2001 十岁 文म	100.0		16.7	8.9					9.0				13.3	3.3
ľ	4.日の日十七七十七十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	278	105	35	29	151	178	45	39		28	33	8	30	14
	35 H H	100.0		12.6	10.4				_	1.8				10.8	5.0
12:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	191	101	37	19	77	87		112			0			4
		100.0	52.9	19.4	6.6	_		24.1		1.0	17.8		1.0	8.4	2.1
	46年	108	23	23	5	39	19	16	30	2		9	4	14	9
	- PLO 2-	100.0			4.6			_	2	_	_	5.6	3.7	13.0	5.6

「大学語 (大学語 (大学語 (大学語 (大学語 (大学語 (大学語 (大学語 (	(F)	(内部研			1 2 3 4	2	3	4	2	9	7	80	6	9	=	12	13	14	
58	58	58		回 格 数		内/参 实部次	歩く		Α	(内部部の)を記りませる)をいい。 (内部の)をのいい (連単のを中でを)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を	(7参行) を 後に を 後に を 後に を かい を かい かい かい は かい	おの	(ダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「今時のできるなり、大学のでは、大学のでは、大学の対象をできる。 タードイン りゅう いんかい はんかい はんり はんり はん かい はん	(外部の) を ( を を を を を を を を を を を を を を を を を	(外部研修等)社 物・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・	部 學 公 令 文	(外部研修等)をの合	回
100	1000   718   580   260   399   212   406   165   57   353   126   181   177   158   83   83   100   718   580   588   20   598   599   79   713   158   83   100   718   7	1000   718   580   260   399   212   406   165   57   353   126   181   177   158   83   83   1000   750   592   408   828   203   500   118   79   68   79   79   711   158   171   158   181   171   191   1	ŧ	581	ļ	337	151		123	236	96	33	205			103	92	48	30
	1000   756   592   408   368   263   500   19   6   289   79   171   158   11   11   11   11   11   11	100   756   592   408   368   263   500   18   79   6   13   15   13   10   10   12   13   10   10   12   13   10   10   12   13   10   10   12   13   10   10   10   10   10   10   10	<b>*</b>	100.0		58.0	26.0		21.2	40.6	16.5	5.7	35.3			17.7	15.8	8.3	5.2
100.0 75.0 628 33.3 47.3 29.5 50.4 24.8 75.0 118 75 28.9 79 17.1 15.8 17.1 13.2 12.9 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0	1000   750   892   408   368   263   500   118   79   289   79   717   158   77   132   132   130	1000   750   592   408   368   263   500   118   79   289   79   171   158   171   132   172	000年世二指	76		45	31		20			9	22		13	12	13	10	4
179 170 170 170 170 170 170 170 170 170 170	179   170   175   628   33.3   47.3   29.5   50.4   24.8   7.0   43.4   14.0   24.8   22.5   3.2   9.9   9.9     170   175   62.8   33.3   47.3   29.5   50.4   24.8   7.0   43.4   14.0   24.8   22.5   13.5   17.0     170   180   18.5   24.1   43.4   19.1   35.3   15.6   4.6   39.3   15.0   20.2   18.5   18.5   18.5   18.5     170   180   17.3   29.5   29.8   14.0   24.8   29.8   15.0   20.2   18.5   18.5   18.5   18.5     170   171   29.5   29.8   14.0   29.8   14.0   24.8   20.8   14.0   24.8   20.8   14.0   24.8   20.8   20.8     170   171   39.6   29.8   14.0   29.8   14.0   24.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8     170   100   61.3   20.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8     170   100   61.3   49.7   11.5   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8     170   100   61.3   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8     170   100   61.3   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8     170   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8     170   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8     170   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8     170   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8   29.8     170   29.8   29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8     29.8   29.8   29.8     29.8	173   175   175   628   33.3   4.3   6.1   2.8   5.04   2.8   2.9   5.04   2.9   5.04   2.9   5.04   2.9   5.04   2.9   5.04   2.9   5.04   2.9   5.04   2.9   5.04   2.05   2.04   2.05	30十岁久門	100.0		59.2	40.8	36.8	26.3			7.9	28.9		17.1	15.8	17.1	13.2	5.3
100.0 775 62.8 33.3 47.3 29.5 50.4 24.8 7.0 43.4 14.0 24.8 22.5 19.4 7.0 7.0 43.4 14.0 24.8 22.5 19.4 7.0 7.0 43.4 14.0 24.8 22.5 19.4 7.0 7.0 43.4 14.0 24.8 22.5 19.4 7.0 7.0 43.4 14.0 24.8 22.5 19.4 7.0 7.0 43.4 14.0 24.8 22.5 18.5 2.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4	1000   775   628   333   473   295   504   248   70   434   140   248   225   194   70   70   70   70   70   70   70   7	100.0   77.5   62.8   33.3   47.3   29.5   50.4   24.8   7.0   43.4   14.0   24.8   22.5   19.4   7.0	001任年-11006任年	129		81	43	61	38			6	56			29	25	6	9
173 120 694 555 231 434 19.1 35.3 15 6 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	173   120   694   555   231   434   191   353   127   8   68   26   35   35   35   15   15   150   165   185	173   120   694   555   424   191   353   127   8 6 8 6 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	31十万~1337十万	100.0		62.8	33.3	47.3	29.5			7.0	43.4			22.5	19.4	7.0	4.7
1000   694   555   231   434   191   353   156   46   393   150   202   185   185   87   87   87   87   87   87   87	1000   694   555   231   434   191   353   156   46   393   150   202   185   185   87   87   87   87   87   87   87	1900   694   555   231   434   191   35.3   156   46   39.3   150   20.2   18.5   18.5   8.7     1800   67.8   56.1   16.7   32.8   15.8   65   56.2   11   13.9   144   278   10.6   13.3   144   10.6   6.7     1910   741   60.1   32.0   26.4   28.5   11   15.2   39.8   14.4   278   10.6   13.3   14.4   10.6   6.7     1910   741   60.1   32.0   26.4   29.8   14.4   57   17   14   46   4   8   5   25.2   29   25.2     1900   741   60.1   32.0   26.4   29.8   14.4   57   17   14   46   4   8   5   29.8   29.8   29.8   29.8     1900   86.1   67.6   33.3   56.5   24.1   62.0   18.5   8.3   32.4   9.3   21.3   13.9   17.6   13.9     日本	96年年~3000年年	173		96	40	75	33			8	89			32	32	15	8
(2表 2 18) (10 0.12 2.10 1.01 2.01 2.01 2.01 2.01 2.	(25) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25)	である         180         671         671         65         65         65         65         65         78         70         73         71         70         <	304/2~20004/支	100.0		55.5	23.1	43.4	19.1			4.6	39.3			18.5	18.5	8.7	4.6
(2かる 678 561 167 328 156 361 139 44 278 106 133 144 106 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67	(2) (2) (4) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(2) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (4) (5) (5) (4) (7) (5) (7) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	101年申118	180		101	30	29	28			8	20			26	19	12	10
5         278         206         167         89         140         82         111         59         100         122         58         73         82         70         25         90           MC         1000         741         601         32.0         504         295         399         112         36         439         263         295         295         290         80<	である 28 28 20 16 28 140 82 111 59 10 12 26 439 20 25 29 25 29 25 20 25	である         278         206         167         89         140         82         111         59         100         112         80         120         80         10         112         80         100         80         100         112         80         100         80         100         80         100         100         80         100         80         100         100         80         100	201十点文革	100.0		56.1	16.7	32.8	15.6			4.4	27.8			14.4	10.6	6.7	5.6
大連営し         191         174         60.1         32.0         50.4         29.5         39.9         21.2         3.6         43.9         20.9         26.3         29.5         25.2         9.0           水運営し         191         117         95         25         29         14         57         17         14         46         4         8         5         3         8           1000         61.3         49.7         13.1         15.2         7.3         24.8         7.3         24.1         2.1         4.2         2.6         4.2         4.2           1000         86.1         67.6         33.3         56.5         24.1         62.0         18.5         8.3         32.4         9.3         21.3         13.6         13.9         13.6         13.9	(1975) 100	100   74.1   60.1   32.0   50.4   29.5   39.9   21.2   3.6   43.9   20.9   26.3   29.5   25.2   9.0   25.2   3.0   43.2   43	14	278		167	89	140	82	111		10	122			82	70	25	10
が適當し         131         117         95         25         29         14         57         17         14         46         4         8         5         3         8           1000         61.3         49.7         131         15.2         7.3         29.8         73         24.1         42         2.6         2.6         4.2	Aが運営し 191 117 95 25 29 14 57 17 14 46 4 8 5 5 3 8 8 8 7 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1	19   117   19   117   19   117   19   117   19   117   19   118   1	S	100.0		60.1	32.0	50.4	29.5	39.9		3.6	43.9			29.5	25.2	9.0	3.6
1000         61.3         49.7         13.1         15.2         73         29.8         8.9         73         24.1         2.1         4.2         2.6         1.6         4.2         4.2         4.2         1.6         4.2         4.2         1.6         1.6         4.2         4.2         1.6         1.6         4.2         4.2         1.6         1.6         4.2         4.2         1.6         4.2         4.2         4.2         1.6         4.2         4.2         4.2         1.6         4.2         4.	1000 613 497 131 152 73 298 73 241 2.1 42 2.6 1.6 42 2.7 4.2 1000 861 61 61 8 8 7 3 2 4 1 2.1 21 3 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13	1000   613   497   11   152   73   298   73   241   21   42   26   16   42   42   42   42   42   42   42   4	が運営			95	25	29	14	57		14	46			5	က	8	16
108         93         73         36         61         26         67         20         9         35         10         23         15         19         15         19         15         19         15           100.0         86.1         67.6         33.3         56.5         24.1         62.0         18.5         8.3         32.4         9.3         21.3         13.9         17.6         13.9	108   93   73   36   61   26   67   20   9   35   10   23   15   19   15   15   15   15   15   15	108   88,1   67,6   88,1   87,6   87,7   87,6   87,7	5.75	100.0		49.7	13.1	15.2	7.3	29.8		7.3	24.1			2.6	1.6	4.2	8.4
100.0   86.1   67.6   33.3   56.5   24.1   62.0   18.5   8.3   32.4   9.3   21.3   13.9   17.6   13.9	1000   861 676 333 565 241 620 185 83 324 93 213 139 176 139   139 部令 勧治令 距後令第17回答の方 HILT=人の距後離今に口いて 顕本語を (北東諸市・大一郎入げ大大大、い回教 同) (「内別 距後19部令 勧治令 距縁令等 (N)	1000   861 676 333 565 241 620 185 8.3 32.4 9.3 21.3 13.9 17.6 13.9   13.9	姜	108		73	36	61	26	19		6	35			15	19	15	(*)
	習会、勧強会、研修会等1と同答の方1担に手への研修機会について、開催領庫(出産領庫)をご記入ください回数[ 回]/[内部研修]学習会、勧強会・研修会等	習会、勉強会、研修会等」と回答の方】担い手への研修機会について、開催頻度(出席頻度)をご記入ください/回数[回]/「内部研修」学習会、勉強会、研修会等   1 2 3 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	<b>型LCO</b>	100.0	86.1	9.79	33.3	56.5	24.1	62.0		8.3	32.4		21.3	13.9	17.6	13.9	2.8
										_		_							

			-	2 5	က							
		回答数	3回米 瀬米	3回~12 回米謝	12回以上	無 回 極	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値	
		417	173	141	84	16						
		100.0		33.8	20.1	4.6	5.85	7.41	1.00	20.00	3.00	
1000年申13部		22		25	7							
-		100.0		43.9	12.3	3.5	5.88	8.25	1.00	50.00	3.00	
中 40007年		100		36	23							
991年度~1995年度		100.0		36.0	23.0	1.0	90.9	69.9	1.00	36.00	3.00	
# 7,0000		120		38	26							
996年度~2000年度		100.0		31.7	21.7	5.0	5.93	8.18	1.00	50.00	3.00	
9001年中以降		122	22	38	22							
- 区文年		100.0		31.1	18.0		5.24	6.51	1.00	36.00	3.00	
サイナないのの後とする	1 4 4 7	206		70	54							
ノ日土的な医具相称	1 C 8 0	100.0		34.0	26.2	3.9	6.97	8.60	1.00	50.00	4.00	
r村社会福祉協議会	きが運営し	117		34	4							
202		100 0		29.1	3.4	3.4	2 83	386	1 00	36 00	2 00	
		93		37	25	7					i	
トのあ		100.0	25.8	39.8	26.9	7.5	7.16	96.9	1.00	38.00	2.00	
1 2 3			-	2	3					Í		
		回答数	据米回8	3回~12 回未謝	12回以上	第回答	平均值	標準偏差	最小值	最大値	中央値	
		337	99	19	10	242						
		100.0		5.6	3.0	71.8	4.68	9.60	1.00	72.00	2.00	
OOOO年刊ご報		45			2	25						
-   X X E		100.0		Ξ	4.4	55.6	7.30	17.13	1.00	72.00	1.50	
001年1005年		81			4	54						
-  支 ~   9954  支		100.0			4.9	66.7	3.85	5.32	1.00	24.00	2.00	
0006年 - :0000年 申		96			က	69						
FI支~2000年/支		100.0		4.2	3.1	71.9	4.57	7.94	1.00	36.00	2.00	
0004年中に18		101			-	82						
上內公耳		100.0			1.0	81.2	3.58	5.31	1.00	24.00	2.00	
子匠の白土的な今日知識がある	まっなス	167	38		7	113						
フロエのみち見配職	K C 602 60	100.0			4.2	67.7	4.25	7.14	1.00	36.00	2.00	
市区町村社会福祉協議会が運営し	きが運営し	95			2	77						
		100.0		4.2	2.1	81.1	8.39	17.88	1.00	72.00	2.00	
÷ (		73			-	20						

95年度 7会員組織である 福祉協議会が運営し 1部研修)学習会、勉強会 1部研修)交流会   と回答の 1部研修)交流会   と回答の		全体 1990年度以前	581 100.0 76 100.0	417 71.8 57 75.0	56 , 58	337 58.0 45 59.2
1996年度~2000年度 2001年度以降 住民の自主的な会員組織である でいる その他 (周10-1で「(内部研修)学習会、勉強会、 1990年度、2000年度 2001年度へ1995年度 1996年度、2000年度 でいる その他 (周10-1で「(内部研修)交流会」と回答の 同2001年度の付社会福祉協議会が運営し でいる その他 (周10-1で「(内部研修)交流会」と回答の 高264	開1.1.1	1991年度~	100.0 129 100.0	75.0 100 77.5		81 81 62.8
住民の自主的な会員組織である 市区町村社会福祉協議会が運営している その他 1990年度以前 1991年度~1905年度 1996年度 2001年度 1996年度 2000年度 1996年度 2001年度 1996年度 2001年度 1997年 2001年 20	業開始年	1996年度	173	120	2	96
住民の自主的な会員組織である 市区町村社会福祉協議会が運営している その他 1990年度以前 1990年度以前 1990年度へ1995年度 1996年度~2000年度 1996年度~2000年度 1996年度~2000年度 1996年度~2000年度 1996年度~2000年度 1996年度~2000年度 1996年度~2000年度 1996年度~2000年度 1996年度、1995年度 1996年度~2000年度 1997年 1998年 1998		2001年度以降	180	122 67.8	1 56	101
市区町村社会福祉協議会が運営している その他 1990年度以前 1991年度~1995年度 1996年度へ2000年度 1996年度へ2000年度 1996年度へ2000年度 1996年度と前 1996年度と前 1997年度へ1995年度 1996年度と前 1997年度と前 1997年度と 1997年度 1997		住民の自主的な会員組織である	278	206	16	167
その他       全体       1990年度以前       1990年度       2001年度       2001年度以降       在品の自主的な会員組織である       市区町村社会福祉協議会が運営し       でいる       その他       (問10-1で「(内部研修)交流会」と回答の       宣答	問2:運動 形態		191	117	95 49.7	95
100-1で[[内部研修]学習会、勉強会、研修会等」と回答の方    100-1で[[内部研修]学習会、勉強会、研修会等」と回答の方    100-1で[[内部研修]学習会、勉強会、研修会等」と回答の方    1990年度以前		その他	108	93 86.1	73 67.6	73
全体 1990年度以前 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 10	周10-3.1:	【問10-1で「〔内部研修〕学習会、勉強		等上回答	の方】担	5
全体     4017     173     3       1990年度以前     57     202     41.5     3       1991年度~1995年度     1000     40.4     40.4     40.4       1996年度~2000年度     1000     40.0     35     35       2001年度以降     1000     45.1     3       日日の自主的な会員組織である     1000     35.9     3       市区町村社会福祉協議会が運営し     100     35.9     3       その他     100     64.1     2       その他     100     40.5     3       1010-1で「(内部研修)交流会」と回答の方)担い手への研修機会     100.0     35.9     3       全体     100     10.6     10.5     10.5       全体     100     10.6     10.6			回答数	選米回8	3回~12 回未謝	
1990年度以前		全体	417	173	141	- o
1991年度		1990年度以前	57 100.0	23	25 43.9	മ
120   15	問1.1:事	1991年度~1995年度	100	40.0	36.0	(C) C)
1000     55       1000     55       1000     74       1000     74       1000     35,9       1000     35,9       1000     64,1       20他     100       その他     100       1000     25,8       1000     25,8       1000     25,8       1000     35,9       1000     35,0       1000     33,7       66       46     10,6       10     10,6       10     10,6	業開始年	1996年度~2000年度	120	50 41.7	31.	m r
(日の日主的な会員組織である 100 359 3 市区町村社会福祉協議会が運営し 117 75 25 350 250 250 250 250 250 250 250 250 250 2		2001年度以降	122 100.0	55 45.1	31.	œ <del></del>
市区町村社会福祉協議会が運営し 117 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75		住民の自主的な会員組織である	206	74	7	ا ما
でいる 1000 84.1 2 その他 1000 2.58 3 [間10-1で「[内部研修]交流会」と回答の方】担い手への研修機を 回答数 3回未満 回来 全体 1000 1.66 1.3	問2:運営		117	75	34.0	2
25.8 3 30 4 30 4 30 4 30 4 30 4 30 4 30 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	光额		100.0	64.1	29.	_
への母参機余 1 2 2 3回~12 まず 回まず 回まず 19.6 5.1 13.6 5.1		その他	100.0	24 25.8	37 39.8	~ m
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	問10-3.2:	[問10-1で[[内部研修]交流会]と回	答の方】担	-	修機会に	27117,
337 66 100.0 19.6 45 13				3回米謝	3回~12 回来谢	
100.0 19.6		全体	337	99	-	6
		77 10 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40	100.0	19.6		വിയ

			-					_			
		回 参 数	3回米	3回~12 回未謝	12回以上	無回物	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	全体	151 100.0	70	30	15	36	4.74	6.88	1.00	36.00	2.00
	1990年度以前	31		32.3	12.9		8.04	10.09	1.00	36.00	4.00
四1.1.	1991年度~1995年度	43 100.0	18 41.9	10 23.3	11.6	10	4.12	5.04	1.00	24.00	2.00
<b>業開始</b> 年	1996年度~2000年度	100.0		15.0	7.5		3.38	4.11	1.00	18.00	
	2001年度以降	30		13.3	3.3		3.54	7.05	1.00	36.00	
	住民の自主的な会員組織である	100.0		13	7.9		4.07	6.10	1.00	36.00	
問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営している	25 100.0	13	32.0	12.0	4.0	6.25	9.73	1.00	36.00	
	その他	36 100.0		25.0	13.9		4.93	5.56	1.00		
110-3.4	問10-3.4:【問10-1で「〔内部研修〕ミーティング、	定例会の際	미구디그	答の方]担い手への研修機会	手への研修	参機会につ	について、開催	頻度(出	頻度)をご	席頻度)をご記入ください/回数[	✓回数[ 回] ✓ [内部研修]ミーティング、定例会の際に
		回巻数	8回米河	3回~12回米謝	12回以上	無回答	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	全体	232	19	36	160	17	15.35	26.86	100	350.00	12.00
	1990年度以前	28		21.4	13	7.1	8.27	5.60		24.00	
======================================	1991年度~1995年度	100.0		14.8	41 67.2	8.2	13.20	11.89	1:00		12.00
開始年	1996年度~2000年度	100.0		12.0	58	3,04,0	16.96	19.10	1.00		
	2001年度以降	100.0		12 20.3	41 69.5	10.2	13.26	10.51	3:00		
	住民の自主的な会員組織である	140		10.0	106	8	17.27	32.93	1.00	۳	
問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営している	100.0	20.7	10	34.5	10.3	7.19	4.60	1.00		
	そのも	100.0		12	70.5	8.2	14.68	13.21	2.00		
10-3.5	問10-3.5:【問10-1で「〔内部研修〕ケースカンファレンス」と	アレンス」と	回答の方】担い手への研修機会	胆い手への	研修機会	32117,	開催頻度(出	山席頻度)を	ご記入くた	ご記入ください/回数	[ 回]/[内部研修]ケースカンファレンス
		回答数	3回米	3回~12 回未謝	12回以上	無回%	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央価
	全体	123	15	23	65	20	21.70	40.54	100	356.00	12.00
	1990年度以前	100.0		30.0	35.0		14.88	28.06	2:00	_	
引.1.事	1991年度~1995年度	38		10.5	23 60.5		27.73	30.28	1.00		12.00
業開始年	1996年度~2000年度	33		24.2	18		13.34	13.73	1.00		
	2001年度以降	100.0		17.9	15		15.41	14.12	1.00	50.00	12.00
	住民の自主的な会員組織である	82 100.0		15.9	48	15.9	17.18	18.25	1.00		12.00
間2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営している	1000	3	1 1	9 67	4 4 8	03.76	37 53			
Š	9	90.00		-: 6	11	0.07	27:00	20.70		$\perp$	

_	標準偏差 最小値 最大値 中央値		3.43 1.00 36.00 2.00		6.92 1.00 36.00 2.00		1.75 1.00 12.00 2.00		3.12 1.00 12.00 1.50		1.73 1.00 12.00 1.50		2.39 1.00 12.00 2.00		4.84 1.00 36.00 2.00	
	平均值標到		2.53		3.69		2.30		2.74		2.03		2.41		2.55	_
	無回% 一	16	6.8	4	10.5	4	6.2	2	3.3	9	9.2	8	7.2	2	8.8	c
23	12回以上	8	3.4	2	5.3	-	1.5	4	9.9	-	1.5	4	3.6	-	1.8	~
2	3回~12 回米謝	54	22.9	6	23.7	21	32.3	Ξ	18.0	12	18.5	23	20.7	14	24.6	16
-	拠米回8	158	6.99	23	60.5	39	0.09	44	72.1	46	70.8	9/	68.5	37	64.9	45
	回答数	236	100.0	38	100.0	69	100.0	19	100.0	65	100.0	111	100.0	22	100.0	67
		+4	王体	000年年11章	390 十/岁 父 Bil	001年-1006年		006年申○2000年申	3304年60007~支(十966)	2001年申11隊		作用の日子的な今日紹復が抜く	日から日上記を対反応しのい。	市区町村社会福祉協議会が運営し	ている	2 1
							間1.1:事	業開始年				Ì		河運	无额.	

間10-3.7	問10-3.7.【問10-1で「【内部研修」他団体と共催により研修会を開催」と回答の方】担い手への研修機会について、開催頻度(出席頻度)をご記入ください/回数[	垂により研修	る会を開催	」と回答の元	7.担い事へ	の中参照	祭について	、開催頻度	(出席頻度)	をご記入く	ださい/回縈		回]/[内部研修]他団体
			- 1	2	3								
		回答数	3回未谢	3回~12 回未猶	12回以上	無回答	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値		
	<b>♦</b>	96	69	17	4	9							
	±.₩	100.0	71.9	17.7	4.2	6.3	2.39	3.18	0.12	24.00	1.00		
	1000年時11前	6	9	-	0	2							
	1930+1×××1	100.0	66.7	11.1	0.0	22.2	1.87	1.93	0.12	9.00	1.00		
	1001年中~1005年中	32	19	8	က	2							
111:   章	+0001   X/+1001	100.0	59.4	25.0	9.4	6.3	3.45	4.80	1.00	24.00	2.00		
業開始年	丰 1006年 年 2,2000年 時	27	19	9	-	-							
	×(+0007-,×(+086)	100.0	70.4	22.2	3.7	3.7	2.35	2.23	1.00	12.00	2.00		
	2007年世上8	25	22	2	0	-							
	2001年度公平	100.0	88.0	8.0	0.0	4.0	1.35	1.01	1.00	5.00	1.00		
	(十四) 日子 おかかる 日知 銀んせる	29	42	11	-	5							
	日内の日上にいる内は高橋へののの	100.0	71.2	18.6	1.7	8.5	2.00	1.88	1.00	12.00	1.00		
問2:運営		17	14	2	0	-							
形態	ている	100.0	82.4	11.8	0.0	5.9	1.50	0.89	1.00	4.00	1.00		
	からを	20	13	4	က	0							
	3 (S)	100.0	65.0	20.0	15.0	0.0	4.16	5.70	0.12	24.00	2.00		
間10-3.8	問10-38:「問10-1で「「内部研修)その也」と回答の方】担い手への研修機会について、開催頻度(出席頻度)をご記入ください、回数「	答の方]担(	い手への研	- 修機会にた	こいて、開催	<b>[頻度 (出席</b>	5頻度)をご	記入ください		回]/[内部	回]/[内部研修]その他	(N)	
			_	2	8				Г				

			-	7	0						
		回答数	3回朱谢	3回~12 回朱謝	12回以上	第回称	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	\$\frac{1}{4}	33	7	8	5	13					
	土体	100.0	21.2	24.2	15.2	39.4	5.10	4.33	1.00	12.00	3.50
	1000年年12日	9	2	-	-	2					
	1990 十1次 久阳	100.0	33.3	16.7	16.7	33.3	4.75	5.19	1.00	12.00	3.00
	1001年年~1006年年	6	-	2	က	e					
四1.1:事	13314/支~13324/支	100.0	11.1	22.2	33.3	33.3	7.67	4.84	2.00	12.00	8.50
業開始年	1006年申二2000年申	∞	2	က	0	က					
	1990十一天 1900十二天	100.0	25.0	37.5	0.0	37.5	2.60	1.14	1.00	4.00	3.00
	2001年中16	8	2	-	-	4					
	2001 牛皮以降	100.0	25.0	12.5	12.5	50.0	4.75	5.19	1.00	12.00	3.00
	4 日の日子がからの組み組みなる	10	2	4	2	2					
	ひみなばらばいる	100.0	20.0	40.0	20.0	20.0	5.75	4.06	2.00	12.00	5.00
問2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	14	က	2	က	9					
形態	ている	100.0	21.4	14.3	21.4	42.9	5.75	5.28	1.00	12.00	3.50
	からき	6	2	2	0	2					
	-CO-1-	100.0	22.2	22.2	0.0	55.6	2.50	1.91	1.00	5.00	2.00

サノル
3

年に対する研修内容について、貴団体として実施しているもの全でにつりをつけてください。         1         2         3         4         1         6         6         6         5         6         5         6         6         5         6         6         5         6         6         7         9         7         7         7         7         7         7         7         7         7         7         7         8         7         8         7 <th>  画格数   画齢者・   10   10   10   10   10   10   10   1</th> <th>(MA) 5 6 6 6 6 7 6 7 6 6 7 6 6 7 6 6 7 6 6 7 6 6 7 6 7 6 6 7</th> <th>(MA) 5 6 7 1 (食中毒) 202 212 151 348 365 260 348 46.1 316 408 46.1 316 44 46.0 55 44 46.0 35 37.1 39.6 43 37.1 39.6 38 37.1 39.6 33 37.1 39.6 33 37.1 39.6 33 37.2 37.3 39.6 33 37.3 38.6 33 37.3 38.6 38 37.3 38.6 38 37.3 38.6 38 37.3 38 37.3 38 38.5 38 38.6 38 39.7 38 39.8 38 39.8 38 30.8 30 30.8 30 30.8 30 30.8 30 30.8 30 30.8 30 30.8 30 30.8 30</th> <th>(MA) 6 7 8 8 7 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</th> <th>事し、小子操 調理 (食中毒) ビス 18 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9</th> <th>(MA)</th> <th>(MAA)         6         7         8         9         10         11           草木子標         調理         食品衛生         第送サー         開除         軟命教急         緊急時対           202         212         151         94         93         189         170           348         365         260         162         160         32.5         29.3           40.8         40.8         36         26         16         32.5         29.3           43.4         46.5         38         19.4         23         35         26.1           43.4         46.5         38         19.4         23         36.4         47           44         26.7         43         37         32         47         47           44         26.7         16.7         10.0         8.3         36.5         26.1           37.1         39.6         33.5         25.5         17.6         37.8         39.4           38.5         25.7         17.6         31.3         34.2         36.3           38.5         26.7         10.0         8.3</th> <th>(MA)</th> <th>(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13           車レ寸操         調理         食品衛生         移送サー         掃除         軟命教息         緊急時対         対害時期         医療時期         上         13           202         212         151         94         93         189         170         36         125           348         365         260         162         160         325         293         62         215           54         46         46         136         132         184         25         19         56         215           54         46         46         43         37         32         47         47         47         39           57         44         46         36         18         185         272         272         202           44         48         30         18         185         33         26.1         39         178           103         110         93         27         47         47         7         32           244         267         167         18         33         26.1         39</th> <th>(MAA)</th> <th>(MA)</th> <th>(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16           車上寸機         調理         食品権生         移送サー         掃除         救命救急         販売時対         販売時対         販売申売         投票         日本         日本</th> <th>(MA)</th> <th>(MA)</th> <th>(MA)         (MA)         &lt;</th> <th>(MA)         (MA)         &lt;</th> <th>(MA)         (Ba)         &lt;</th> <th>問11:担い手に対す</th> <th></th> <th>±&lt;</th> <th><b>₹</b></th> <th>1000年申い前</th> <th>×1+0551</th> <th>,</th> <th></th> <th>業開始年 1006年</th> <th>₹/±0881</th> <th>2001年申218</th> <th><b>科</b>+1007</th> <th>本田今日</th> <th><u>H</u></th> <th>回風</th> <th>お態っている</th> <th>164</th> <th></th>	画格数   画齢者・   10   10   10   10   10   10   10   1	(MA) 5 6 6 6 6 7 6 7 6 6 7 6 6 7 6 6 7 6 6 7 6 6 7 6 7 6 6 7	(MA) 5 6 7 1 (食中毒) 202 212 151 348 365 260 348 46.1 316 408 46.1 316 44 46.0 55 44 46.0 35 37.1 39.6 43 37.1 39.6 38 37.1 39.6 33 37.1 39.6 33 37.1 39.6 33 37.2 37.3 39.6 33 37.3 38.6 33 37.3 38.6 38 37.3 38.6 38 37.3 38.6 38 37.3 38 37.3 38 38.5 38 38.6 38 39.7 38 39.8 38 39.8 38 30.8 30 30.8 30 30.8 30 30.8 30 30.8 30 30.8 30 30.8 30 30.8 30	(MA) 6 7 8 8 7 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事し、小子操 調理 (食中毒) ビス 18 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	(MA)	(MAA)         6         7         8         9         10         11           草木子標         調理         食品衛生         第送サー         開除         軟命教急         緊急時対           202         212         151         94         93         189         170           348         365         260         162         160         32.5         29.3           40.8         40.8         36         26         16         32.5         29.3           43.4         46.5         38         19.4         23         35         26.1           43.4         46.5         38         19.4         23         36.4         47           44         26.7         43         37         32         47         47           44         26.7         16.7         10.0         8.3         36.5         26.1           37.1         39.6         33.5         25.5         17.6         37.8         39.4           38.5         25.7         17.6         31.3         34.2         36.3           38.5         26.7         10.0         8.3	(MA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13           車レ寸操         調理         食品衛生         移送サー         掃除         軟命教息         緊急時対         対害時期         医療時期         上         13           202         212         151         94         93         189         170         36         125           348         365         260         162         160         325         293         62         215           54         46         46         136         132         184         25         19         56         215           54         46         46         43         37         32         47         47         47         39           57         44         46         36         18         185         272         272         202           44         48         30         18         185         33         26.1         39         178           103         110         93         27         47         47         7         32           244         267         167         18         33         26.1         39	(MAA)	(MA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16           車上寸機         調理         食品権生         移送サー         掃除         救命救急         販売時対         販売時対         販売申売         投票         日本	(MA)	(MA)	(MA)         <	(MA)         <	(MA)         (Ba)         <	問11:担い手に対す		±<	<b>₹</b>	1000年申い前	×1+0551	,		業開始年 1006年	₹/±0881	2001年申218	<b>科</b> +1007	本田今日	<u>H</u>	回風	お態っている	164	
A P	S   中年	(MA) 5 5 6 64 64 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 4	(MAA) 6 7 7 6 7 7 6 7 6 7 7 6 6 7 7 6 6 7 7 6 6 7 7 6 9 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1	(MA) 6 7 8 8 2 4 4 8 8 2 4 4 8 8 2 4 4 8 8 8 8 8	(MAA) 6 7 8 9 9 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 12 13 13 13 14 14 15 15 13 14 15 15 13 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	(MAA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16           車上寸操<	(MAA)	(MA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16         17         18         19         20           車小寸機         調理         食品衛生         稼送サー         構験         救命救急         販売車         機         一二二二二         16         17         18         19         20           202         212         212         151         94         93         189         170         36         125         149         162         133         16         22         16         162         173         229         26         162         184         3         186         170         <	(MA)         <	る研修内容について、貴団				- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1005年	★(+css) -		三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	· ·		日知様に共		徊			
をしているもの全てにつり日をつけでください。 高齢者・ 高齢者・ 原毒者理解 (2000年 2000年 20	S	(MA) 5 5 6 6 6 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	(MAA) 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 7 7 7 7 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(MA) 6 7 8 8 7 8 8 2 4 9 6 7 8 8 2 4 9 9 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	(MAA) 6 7 8 9 9 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 12 13 13 13 14 14 15 15 13 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	(MAA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16           車上寸操<	(MAA)	(MA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16         17         18         19         20           車小寸機         調理         食品橋生         移送サー (食中毒)         構験         救命救急         販売時効 (食中毒)         販売車の (全中毒)         大力 (大力)         大力 (大力)         大力 (上力)         大力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上	(MA)         <	体として実施	裕	581	100.0	9/	100.0	129	100.0	173	100.0	180	100.0	278	100.0	191	100.0	108	0007
	S	(MA) 5 5 6 6 6 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	(MAA) 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 7 7 7 7 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(MA) 6 7 8 8 7 8 8 2 4 9 6 7 8 8 2 4 9 9 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	(MAA) 6 7 8 9 9 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 12 13 13 13 14 14 15 15 13 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	(MAA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16           車上寸操<         調理         食品衛生         後送サー         掃除         救命救急         緊急時対         監告時         投票         170         13         13         15         16         15         16         16         17         18         170         36         125         149         170         18         25         29         26         215         256         279         229         18         40<	(MAA)	(MA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16         17         18         19         20           車小寸機         調理         食品橋生         移送サー (食中毒)         構験         救命救急         販売時効 (食中毒)         販売車の (全中毒)         大力 (大力)         大力 (大力)         大力 (上力)         大力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力 (上力)         大力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上力 (上	(MA)         <	施している	- 開	353	8.09	20	65.8	06	8.69	112	64.7	87	48.3	197	70.9	93	48.7	19	
ODE 2-17でください。 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	S   中年	(MA) 5 5 6 64 64 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 4	(MAA) 6 7 7 6 7 7 6 7 6 7 7 6 6 7 7 6 6 7 7 6 6 7 7 6 9 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1	(MA) 6 7 8 8 2 4 4 8 8 2 4 4 8 8 2 4 4 8 8 8 8 8	(MAA) 6 7 8 9 9 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 12 13 13 13 14 14 15 15 13 14 15 15 13 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	(MAA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16           車上寸操<         調理         食品衛生         稼送サー         掃除         救命救急         緊急時対         禁害性活         操売・         付職         イーショ         投通           202         212         212         151         94         93         189         170         36         215         256         279         229           34         36         26         162         160         32         293         62         215         266         279         229           40.8         46.1         31.6         13.2         184         32         215         266         279         289           40.8         46.1         31.6         13.2         184         32         26         215         266         279         289           43.4         46.6         35         22         25         25         25         216         27         289         184           43.4         46.6         36         27         27         27         27         27         27         27	(MAA)	(MA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16         17         18         19         20           車小寸機         調理         食品衛生         稼送サー         構験         救命救急         販売車         機         一二二二二         16         17         18         19         20           202         212         212         151         94         93         189         170         36         125         149         162         133         16         22         16         162         173         229         26         162         184         3         186         170         <	(MA)         <	もの全てに	知症理	314	54.0	46	60.5	9/	58.9	102	59.0	78	43.3	168	60.4	72	37.7	72	
	S   中年	(MA) 5 5 6 64 64 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 4	(MAA) 6 7 7 6 7 7 6 7 6 7 7 6 6 7 7 6 6 7 7 6 6 7 7 6 9 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1	(MA) 6 7 8 8 2 4 4 8 8 2 4 4 8 8 2 4 4 8 8 8 8 8	(MAA) 6 7 8 9 9 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 12 13 13 13 14 14 15 15 13 14 15 15 13 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	(MAA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16           車上寸操<         調理         食品衛生         稼送サー         掃除         救命救急         緊急時対         禁害性活         操売・         付職         イーショ         投通           202         212         212         151         94         93         189         170         36         215         256         279         229           34         36         26         162         160         32         293         62         215         266         279         229           40.8         46.1         31.6         13.2         184         32         215         266         279         289           40.8         46.1         31.6         13.2         184         32         26         215         266         279         289           43.4         46.6         35         22         25         25         25         216         27         289         184           43.4         46.6         36         27         27         27         27         27         27         27	(MAA)	(MA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16         17         18         19         20           車小寸機         調理         食品衛生         稼送サー         構験         救命救急         販売車         機         一二二二二         16         17         18         19         20           202         212         212         151         94         93         189         170         36         125         149         162         133         16         22         16         162         173         229         26         162         184         3         186         170         <	(MA)         <	〇印をつけ	。 2級養成 講座	43	7.4	9	7.9	10	7.8	15	8.7	10	5.6	27	9.7	9	3.1	10	
	S	(MA) 5 5 6 6 6 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	(MAA) 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 7 7 7 7 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(MA) 6 7 8 8 7 8 8 2 4 9 6 7 8 8 2 4 9 9 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	(MAA) 6 7 8 9 9 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	(MA)	(MAA) 6 7 8 9 10 11 12 13 13 13 14 14 15 15 13 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	(MAA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16           車上寸操<         調理         食品衛生         後送サー         掃除         救命救急         緊急時対         監告時         投票         170         13         13         15         16         15         16         16         17         18         170         36         125         149         170         18         25         29         26         215         256         279         229         18         40<	(MAA)	(MA)	(MAA)	(MA)         6         7         8         9         10         11         12         13         14         15         16         17         18         19         20           車小寸機         調理         食品橋生         移送サー (食中毒)         構験         救命救急         販売時対 協力         販売時対 協力         大力 大力         大力 大力	(MA)         <	てください。	か ルパー2 粉様成講 座を除く)	102		19				23	13.3			63	22.7	14	7.3	24	000

有向け公的サーヒイ」																		
到了,一向斯		無 四 を	125	21.5	16	21.1	16	12.4	34	19.7	54	30.0	89	24.5	28	14.7	27	25.0
1917あい活	4	その他	13	2.2	2	2.6	9	4.7	က	1.7	2	1.1	7	2.5	2	1.0	4	3.7
ロ くが、 1 だ	3	障害者向 け公的 サービス	147	25.3	21	27.6	42	32.6	44	25.4	29	16.1	29	24.1	48	25.1	31	28.7
、わらすー	2	高	201	34.6	25	32.9	53	41.1	63	36.4	47	26.1	103	37.1	55	28.8	42	38.9
St. 645	1	たすけあい活動	427	73.5	29	77.6	108	83.7	127	73.4	116	64.4	194	8.69	154	9.08	77	71.3
としていた		回数数	581	100.0	9/	100.0	129	100.0	173	100.0	180	100.0	278	100.0	191	100.0	108	100.0
同12.1:頁団体が行っているサーロイ筆(こつをつけてください。 なお、そのサーロイか、「たりけめい活動」、「高齢有同け公的サーロイ」、「噂き			+4	王仲	1000年年11部	1930十/文 次 Bil	1001年年-:1006年申	問1.1:	始年 1006 年 - : 3000 年 申	三390十/支~2000年/支	9001年中118	2001 牛皮炎庫	4 日の日十七七十七十七十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	日内の日上町でお見る場である。	運営 市区町村社会福祉協議会が運営し		164	- CO-1-
12.								듪	業題						問2:運	型		

1 2 3 4	r		_	2	က	4	
		回答数 九	たすけあい活動	高 時 け か サービス	障害者向 け公ち サービス	その他	無回答
***		581	208	200	144	4	278
王体		100.0	35.8	34.4	24.8	0.7	47.8
1000年		9/	28	24	18	-	40
1990十点以前		100.0	36.8	31.6	23.7	1.3	52.6
1001年年-:1006年年		129	19	20	42	-	51
		100.0	47.3	38.8	32.6	0.8	39.5
業開始年 1,006 年 1,000 年 年		173	64	65	43	-	75
1990年度~2000年度		100.0	37.0	37.6	24.9	9.0	43.4
9001年中川隊		180	44	48	30	-	105
2001 十成 交革		100.0	24.4	26.7	16.7	9.0	58.3
休屋の白土的な今島知識が生え	御んせる	278	125	106	69	2	115
正式の日上間のお見記	(A)	100.0	45.0	38.1	23.4	0.7	41.4
問2:運営   市区町村社会福祉協議会が運営し	会が運営し	191	43	49	47	-	107
ている		100.0	22.5	25.7	24.6	0.5	26.0
4 € #		108	39	44	31	-	53
三.公.2.		100.0	36.1	40.7	787	60	49.1

ď	一				•		
5	1990十/4 文 Bij	100.0	19.7	21.1	11.8		1.3
č	1年中二1005年中	129	38	41	28		2
+::	1.1:事   1991年/夏~1995年/夏	100.0	29.5	31.8	21.7	1.6	
開始年	6年申ご3000年申	173	32	48	28	-	
<u> </u>	3904/夏~20004/夏	100.0	18.5	27.7	16.2	9.0	60.1
2	1 在無い際	180	26	40	18	0	122
, 0	2001年度公路	100.0	14.4	22.2	10.0	0.0	67.8
ŧ	7年7歳の日かない日子日子	278	69	06	45	2	156
Ħ	より日土町をお見を動いめる	100.0	24.8	32.4	16.2	0.7	56.1
2:運営 市	市区町村社会福祉協議会が運営し	161	23	33	26	-	131
	ている	100.0	12.0	17.3	13.6	0.5	9.89
N	10000000000000000000000000000000000000	108	27	33	21	-	99
Ý		100.0	25.0	30.6	19.4	6.0	61.1

			-	7	2	4	
		回答数	たすけあ い活動	高齢者向 け公的 サービス	障害者向 け公的 サービス	その他	順
	#4	581	186	104	09	14	332
	丰体	100.0	32.0	17.9	10.3	2.4	57.1
Γ	1000年 年 11 指	9/	30	15	6	4	33
	1990十一岁女臣	100.0	39.5	19.7	11.8	5.3	43.4
	1001年中二1005年中	129	45	25	15	9	72
間1.1.事	1991年/支~1990年/支	100.0	32.6	19.4	11.6	4.7	55.8
業開始年	1006年 年 二 2000年 年	173	28	33	20	4	94
	3304/女 5000十/女	100.0	33.5	19.1	11.6	2.3	54.3
	2001年申11隊	180	45	22	00	0	123
	2001十分交म	100.0	25.0	12.2	4.4	0.0	68.3
Г	1 日子の十分なる日の第2年2	278	106	63	37	4	
	エスジョナディスは記載でめる	100.0	38.1	22.7	13.3	1.4	51.4
問2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	191	47	28	18	9	117
oos	ている	100.0	24.6	14.7	9.4	3.1	61.3
	から若	108	31	13	2	က	70
	回のう	100.0	28.7	12.0	4.6	2.8	64.8

##      	全体 1990年度以前 1991年度~1995年度	回答数 581 100.0 76 100.0 129	たすけあ い活動 364 627 627 67.1 67.1 96 74.4	声 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3 ・ 中 ・ 中 ・ 中 ・ 中 ・ 中 ・ ト ・ ト ・ ト ・ ト ・ ト ・ ト ・ ト ・ ト	その 20 12 13 13 4 4	無回答 174 29.9 19 25.0 25.0 24 18.6	
業開始年	年 1996年度~2000年度	173		39 22.5	35	1 0.6	56 32.4	lo -
	2001年度以降	180	53.9	10.6	13.3	1 0.6	38.9	
	住民の自主的な会員組織である	278	181	99	63	4 4	79	
問2:運営	営 市区町村社会福祉協議会が運営し	191		22	36	- c		
<u> </u>		1000		26	26.9	2 6	34.3	

たまける 高齢者向 障害者向 たすける けな的 けな的 3 い活動 サービス サービス | 1990年度以前 | 1990年度以前 | 1990年度以前 | 1991年度~1995年度 | 1991年度~1995年度 | 1996年度~2000年度 | 2001年度以降 | 住民の自主的な会員組織である | 間2:運営 市区町村社会福祉協議会が運営し | 形態 | でいる | その他

(ださい。なお、そのサービスが、「たすけあい活動」」「高齢者 1 2 3 4 4 1 2 3 4 4 たすけあ 高齢者向 障害者向 にすけあ けな的 けな的 その他 無回答 い活動 サービス サービス 76.2 66 86.8 98 98 98 71.1 145 80.6 204 73.4 156 81.7 ・ (エン)降 住民の自主的な会員組織である 間2:運営 市区町村社会福祉協議会が運営し 形態 その他 | 1990年度以前 | 1990年度以前 | 1990年度以前 | 1991年度~1995年度 | 1996年度 | 2001年度以降 | つら主的な会員 | つき主的な会員 | つき主的な会員 | いっき主的な会員 | いっききがなる | いっきをがなる | いっきをがない | いっ

問128:貴国体が行っているサービス全てに〇をつけてください。なお、そのサービスが、「たすけあい活動」、「高齢者向け公的サービス」、「障害者向け公的サービス」、「その他」のどの形態で実施されているか分けてお答えください。 / 宅老所(MA)	ところ	リンノこうい	000,000	''''	11.200	11000	
			-	2	3	4	
		回 楼	たすけあい活動	高齢者向 け公的 サービス	障害者向 け公的 サービス	その危	無
±4		581	10	10	8	3	560
王14		100.0	1.7	1.7	0.5	0.5	96.4
1000年112年		9/	0	-	0	-	74
1990年度以前		100.0	0.0	1.3	0.0	1.3	97.4
1001年申-1005年申	##	129	-	-	-	0	128
1881~至十1881	対する	100.0	0.8	0.8	0.8	0.0	99.2
1006年 申 - 2000年 申	0年世	173	6	4	-	2	159
1880年度~200	20年位	100.0	5.2	2.3	9.0	1.2	91.9
2004年中16		180	0	4	-	0	176
2001 <del>1</del> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	#	100.0	0.0	2.2	9.0	0.0	97.8
十日 〇日 十	マー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー	278	6	8	2	-	261
日かなせ	HJYや女児和歌へのごの	100.0	3.2	2.9	0.7	0.4	93.9
市区町村名	問2:運営 市区町村社会福祉協議会が運営し	191	0	-	-	2	188
ている		100.0	0.0	0.5	0.5	1.0	98.4
40th		108	-	-	0	0	107
ころに		100.0	0.9	0.0	0.0	0.0	99.1

94.8 126 97.4 126 97.7 164 94.8 94.8 92.2 270 97.1 170 170

全体 1990年度以前 1990年度以前 1990年度以前 1990年度 1995年度 2000年度 2001年度以降 2001年度以降 住民の自主的な会員組織である 間2. 運営 市区町村社会福祉協議会が運営し 形態 ている

			-	7	,		
		回答数	たすけあ い活動	高齢者向 け公的 サービス	障害者向 け公的 サービス	その他	軍
	**************************************	581	16	=	2	2	554
	丰体	100.0	2.8	1.9	0.3	0.3	95.4
	1000年年11年	9/	2	0	0	-	73
	1990十八岁之后]	100.0	2.6	0.0	0.0	1.3	96.1
	1001年年~1006年年	129	က	2	-	0	124
問1.1:事	_	100.0	2.3	1.6	0.8	0.0	96.1
業開始年	1006年0000年 年	173	9	9	-	-	164
	1880年/英~2000年/英	100.0	3.5	1.7	9.0	9.0	94.8
	3001年申118	180	5	9	0	0	170
	世 次 文十 1007	100.0	2.8	3.3	0.0	0.0	94.4
	(4日) 日子的な今日知識がある	278	10	9	-	-	263
	14月20日上町4万月市職である	100.0	3.6	2.2	0.4	0.4	94.6
問2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	191	-	3	-	-	185
不聽	ている	100.0	0.5	1.6	0.5	0.5	6.96
	から幸	108	4	2	0	0	103
		100.0	3.7	1.9	0.0	0.0	95.4

				2		4		
		回答数	たすけあ い活動	高齢者の け公的 サービス	障害者向 け公的 サービス	その他	無回%	
全体		581 100.0	0.2	12	0.7	0.2	565 97.2	
1000年申い前		9/	0	0	0	0	9/	
1990年度公司		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
開11.車 1991年度~1995年度	Lo.II	129	0 0	1 2	0 0	0 0	127	
開始年		173			9 00	- 0.0	166	
1996年度~2000年度	htd	100.0	0	2.3	_	9.0	0.96	
2001年世已8		180	0	4	-	0	175	
2001 牛皮以降		100.0	0.0	2.2	9.0	0.0	97.2	
7 年7 集界 日 今 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	1.8日4年7日2	278	-	6	8	0	267	
	1年度に800	100.0	0.4	3.2	Ξ	0.0	0.96	
問2:運営  市区町村社会福祉協議会が運営	協議会が運営し	L		-	-	-	188	
形態でいる		100.0	0.0	0.5	0.5	0.5	98.4	
464		108	0		0	0	106	
到10.3		100.0	0.0	1.9	0.0	0.0	98.1	

	<b>♦</b>	581	80	10	3	2	264
		100.0	1.4	1.7	0.5	0.3	97.1
	1990年13前	9/	0	2	-	-	74
		100.0	0.0	2.6	1.3	1.3	97.4
+	1991年度~1995年度	129	0 8	- 6	0 6	0 6	128
四1.1:事		100.0	0.0	0.8	0.0	0.0	99.2
十四三十	1996年度~2000年度	100.0	2.3	1.7	9.0	0.6	991
	2000年世上8	180	3	2	0	0	175
	2001十岁公冲	100.0	1.7	1.1	0.0	0.0	97.2
	作民の自主的な会員組織である	278	7	5	-	0	267
		100.0	2.5	1.8	0.4	0.0	0.96
間2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	191	0	က	0	-	187
光憑	200	100.0	0.0	1.6	0.0	0.5	97.9
	からき	108	_	2	2	_	106
		100.0	6.0	1.9	1.9	6.0	98.1
問12.13:	問12.13:貴団体が行っているサービス全てに〇をつけてください。 なお	をつけてく	ださい。なま		そのサービスが、「たすけあい活動」、「高齢者向け公的サービス」、「障害者に	たすけあい	活動」、「高
			-	7	ກ	4	
		回答数	たすけあいま	高齢者向 け公的	障害者向 け公的	その色	無回%
	+4	581	183	94	65	21	346
	丰体	100.0	31.5	16.2	11.2	3.6	59.6
	1000年申22章	9/	24	=	12	4	45
		100.0	31.6	14.5	15.8	5.3	59.2
	1001年年~1005年度	129	43	27	15	2	72
四二二甲		100.0	33.3	20.9	11.6	3.9	55.8
来照贴并	1996年度~2000年度	173	19	78	61	C (	66
		0.001	35.3	16.2	0.11	2.9	27.5
	2001年度以降	180	45	22	2 3		218
		100.0	25.0	12.2	1.2	3.9	929
	住民の自主的な会員組織である	278	105	48	29	က	155
		100.0	37.8	17.3	10.4	-	55.8
間2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	191	49	27	24	17	113
場際	2012	100.0	25.7	14.1	12.6	8.9	59.2
	からき	108	28	18	Ξ	_	75
		100.0	25.9	16.7	10.2	6.0	69.4

			-	2	2 3 4	4	
		回 整 数	たすけあ い活動	高 時 け か サービス	障害者向 け公的 サービス	その色	無
	± * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	581	353	48	28	=	203
	至体	100.0		~	4.8	1.9	.,
	1000年	9/	52	2	3	2	23
	1990 十/4 久門	100.0	68.4	2.6	3.9	2.6	30.3
	1001年年-:1006年	129		19	6	2	
問1.1:事		100.0	66.7	14.7	7.0	1.6	
業開始年	1006年年-1000年年	173	108		00	2	56
	1990年/天 20007 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100.0		8.6	4.6	1.2	
	2001年中江路	180	96	7	5	2	77
	2001 中/ 公本	100.0	53.3	3.9	2.8	2.8	42.8
	4 日の白土的た今日知識が生2	278	160	29	16	2	
	日内の日上にいる内に西域にある	100.0	57.6	10.4	5.8	1.8	37.1
問2:運営	問2:運営   市区町村社会福祉協議会が運営し	191	131	Ξ	9	4	51
形態	ている	100.0	9.89	5.8	3.1	2.1	26.7
	から年	108	29	∞	9	2	48
	当 ( )	100.0	54.6	7.4	5.6	1.9	44.4

		回多数	1 たすけあ い活動	2 画幣地向 け公的 サービス	3 障害者向 け公的 サービス	1     2     3     4       たすけあ 高齢者向 障害者向 い活動 サービス サービス サービス サービス オービス オービス オービス オービス オービス ガービス ガービス ガービス ガービス ガービス ガービス ガービス ガ	無回終
	\$\dagger\$	581	144	30	12	28	393
	主体	100.0	24.8	5.2	2.1	4.8	67.6
	1990年申ご部	9/	21	5	4	4	47
	1990牛/女房]	100.0	27.6	9.9	5.3	5.3	61.8
	1001年申二1006年申	129	30	9	3	9	91
間1.1:事	_	100.0	23.3	4.7	2.3	4.7	70.5
業開始年	10000年 10000世	173	43	10	-	7	115
	1330   1300   1300 	100.0	24.9	5.8	9.0	4.0	66.5
	3001年申11隊	180	40	8	3	6	129
	2001 十)女/平	100.0	22.2	4.4	1.7	5.0	71.7
	4 甲子 日子 おから 日名 銀んせん	278	95	15	8	9	169
	1年氏27日十四44万両元の0	100.0	34.2	5.4	2.9	2.2	8.09
問2:運営	3 市区町村社会福祉協議会が運営し	191	26	12	2	22	136
无態	ている	100.0	13.6	6.3	1.0	11.5	71.2
	から年	108	23	3	2	0	84
	三 ( )	100.0	213	2 8	1 9	00	77.8

問12.16:	間12.16:貴団体が行っているサービス全てにQをつけてください。なお、そのサービスが、「たすけあい活動」、「高齢者向け公的サービス」、「障害者向け公的サービス」、「その他」のどの形態で実施され、	つをつけてく	ださい。なま	3, <del>201-</del>	-ビスが、「7	たすけあい	活動」、「高
			-	2	3	4	
		回答数	たすけあ い活動	画 時 け か サービス	障害者向 け公的 サービス	その街	斯
	#4	581	159	0	14	19	405
	王体	100.0	27.4	0.0	2.4	3.3	69.7
	1000年間前	9/	15	0	2	-	09
	1990年度夕町	100.0	19.7	0.0	2.6	1.3	78.9
	_ ,	129	28	0	5	9	96
二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	1991 十/支~1990 十/支	100.0	21.7	0.0	3.9	4.7	7
業開始年	1000年年	173	43	0	4	7	125
	1890年/英~2000年/英	100.0	24.9	0.0	2.3	4.0	72.3
	2001年11隆	180	65	0	က	5	109
	2001 十岁 交掛	100.0	36.1	0.0	1.7	2.8	9.09
	4 日の白土的た今日知識が抜く	278	73	0	6	Ξ	197
	8	100.0	26.3	0.0	3.2	4.0	70.9
問2:運営		191	49	0	2	9	135
形態	ている	100.0	25.7	0.0	1.0	3.1	70.7
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	108	36	0	9	2	70

全体 588	たずけい活動	2	藤青春 日本 日本 日本 日本 日本 日本 1.4 2.4 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6	4	無回 539 92.8 92.8 90.8 124 96.1 164 164
7000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000	.0 2.2 8 2	4.4	2.8	2.8	91.1
1000   11   1000	0 0	1 19	0.0	18	153
_			۲.3	9.6	80.1

		回答数	たすけあ い活動	画 記 は 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	障害者向 け公的 + - x y	その他	無回答
				( )			
	+4	581	2	17	-	-	563
	王体	100.0	0.3	2.9	0.2	0.2	96.9
	1000年度い益	9/	0	_	0	0	75
	1350十1文文时	100.0	0.0	1.3	0.0	0.0	98.7
	1001年1005年	129	0	2	0	0	127
四1.1:4		100.0	0.0	1.6	0.0	0.0	98.4
開始年	1006年 年-: 3000年 年	173	-	5	-	-	167
	13304/支~20004/支	100.0	9.0	2.9	9.0	9.0	96.5
	3001年12隊	180	0	9	0	0	174
	2001 牛皮公庫	100.0	0.0	3.3	0.0	0.0	96.7
	4 日の日上的た今日の銀んせん	278	2	12	-	0	266
	日かり日上げる内見信息(める)	100.0	0.7	4.3	0.4	0.0	95.7
問2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	191	0	က	0	-	187
形態	ている	100.0	0.0	1.6	0.0	0.5	97.9
	から年	108	0	2	0	0	106
	ELO 2	100.0	0.0	1.9	0.0	0.0	98.1

77.3 55 72.4 101 78.3 74.0 151 83.9 216 77.7 145 77.7 145 77.7 76.9 2 3 4 たすけあ 高齢者向 障害者向 い活動 けな的 けな的 その他 サービス サービス | 1990年度以前 1000 | 176 | 1000 | 178 | 1991年度~1995年度 1000 | 173 | 1991年度~2000年度 1000 | 173 | 1901年度以降 1000 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180

/レノノ事業サーヒス利用者のつち、半成23牛度の介護保険制度・障害福祉サーヒス・その也(アニタ 「アめい寺/のサーヒス利用者数(美人数/ こついてお舎えくアニをレヘ。/介護保険制度[人] (N)																		
こが含えくたさい。		担		74.00		86.00		95.00		94.00		43.00		61.00		95.50		63.50
人数川こつい		最大值 中央値		32494.00		32494.00		2150.00 8		5017.00		11719.00		5017.00		1719.00		32494.00
利用有数(美		最小値最		0.00		0.00		0.00		00:00		0.00		00.00		0.00		0.00
のサーヒス		標準偏差		2462.29		6192.58		406.44		774.63		1627.17		621.61		1536.41		4840.98
ずけあい寺		平均值	-	7 525.87		3 1621.41	~	3 289.46	~	1 364.65	10	4 410.73	~	4 272.31	~	3 430.21		3 1229.33
・その他(た		無回%	1 364	2 62.7	2 47	3 61.8	7 73	9 26.6	108	9 62.4	3 125	0 69.4	168	3 60.4	3 133	9.69 7	1 60	1 55.6
エサーヒス	5	9 100人以 上	1 94	16.2	1 12	3 15.8	1 27	20.9	1 31	17.9	2 18	10.0	6 44	15.8	8 28	14.7	21	19.4
芆• 煇 픔 佃 4	4	51人~75 76人~99 100人以 人以下 人以下 上	14	2.4		5.3	_	3.1	7	2.3		1.		2.2	2	4.2		0.0
護保険制度	3	51人~75人以下	21	3.6	3	3.9	8	6.2	5	2.9	2	2.8	6	3.2		2.6	7	6.5
3年度の介	2	26人~50 人以下	43	7.4	4	5.3	6	7.0	14	8.1	=	6.1	21	7.6	10	5.2	12	111
25、半成2	-	25人以下	45	7.7	9	7.9	8	6.2	=	_	19	10.6	30	10.8	7	3.7	80	7.4
4利用有の・		回答数	581	100.0	9/	100.0	129	100.0	173	100.0	180	100.0	278	100.0	191	100.0	108	100.0
問13-1.1:真団体のホームヘルノ事業サーヒス			++	± *	1000年 年13 並	1980十一岁久町	1001年 = -: 1005年 申	1991+197	1006年 年 -: 3000年 申	13304月至~20004月	2001年申11隊	2001 牛灰公耳	4 日の日土的か今日紹譲かれる	H K W H H IIV & K	市区町村社会福祉協議会が運営し	71.5	からま	到のう
問13-1.1:								間1.1:事	業開始年						問2:運営 7	无额		

		回答数	25人以下	26人~50 51人~75 76人~99 100人以 人以下 人以下 人以下 上	51人~75 人以下	76人~99 人以下	100人以上	第回称	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	+	581	114	28	8	9	37	388					
	王体	100.0	19.6	4.8	1.4	1.0	6.4	8.99	121.16	482.91	00.00	5774.00	16.00
	1000年 年13 並	9/	12	4	-	3	8	48					
	1990十/文 / Bij	100.0	15.8	5.3	1.3	3.9	10.5	63.2	312.61	1104.15	00.00	5774.00	36.50
	1001年年~1006年年	129	27	6	က	-	Ξ	78					
問1.1.事		100.0	20.9	7.0	2.3	0.8	8.5	60.5	83.98	161.28	0.00	800.00	23.00
開始年	中人0000年	173	33	Ξ	3	2	9	118					
	930年/夏~2000年/夏	100.0	19.1	6.4	1.7	1.2	3.5	68.2	91.07	315.12	0.00	2188.00	15.00
	2004年11版	180	34	4	-	0	8	133					
	7001十万公正	100.0	18.9	2.2	9.0	0.0	4.4	73.9	89.77	286.78	0.00	1624.00	10.00
	4 日子の十分なる日名銀化サン	278	22	15	4	2	17	185					
	K 33	100.0	19.8	5.4	1.4	0.7	6.1	66.5	92.38	274.69	0.00	2188.00	10.00
問2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し	191	34	80	3	2	14	130					
形態	ている	100.0	17.8	4.2	1.6	1.0	7.3	68.1	101.30	245.47	0.00	1624.00	23.00
	2000年	108	24	4	-	2	9	71					
	目 6 7	100.0	22.2	3.7	0.9	1.9	5.6	65.7	231.59	966.73	00.00	5774.00	11.00

			_	7	3	4	2						
		回答数	25人以下	26人~50 51人~75 76人~99 人以下 人以下 人以下	51人~75 人以下	76人~99 人以下	100人以 上	無回物	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
		581	129	228	38	19	184	160					
	全体	100.0	21.0	10.0	6.5	3.3	ς,	27.5	468.10	1376.83	0.00	14212.00	65.00
	4000年時刊益	9/	12	5	4	2	31	22					
	1990年/安文形	100.0	15.8	9.9	5.3	2.6	40.8	28.9	642.87	1591.34	0.00	10319.00	116.00
	1001年申-:1005年	129	25	15		4	20	26					
問1.1:事	1331 4/支~1332 4/支	100.0	19.4	11.6	7.0	3.1	38.8	20.2	523.28	1299.37	00:0	9649.00	86.00
開始年	1000年	173	45	19	13	7	49	40					
	1890年度~2000年度	100.0	26.0	11.0	7.5	4.0	28.3	23.1	303.47	841.73	00:00	7941.00	54.00
	2001年118	180	34	17	12	9	46	65					
	2001年度夕屏	100.0	18.9	9.4	6.7	3.3	25.6	36.1	456.94	1542.34	0.00	14212.00	00.09
	4.日の日本化から日の銀んサ2	278	69	21	22	8	82	9/					
	8	100.0	24.8	7.6	7.9	2.9	29.5	27.3	442.62	1158.72	0.00	9649.00	00.09
問2:運営		191	32	24	Ξ	80	99	20					
万態	ている	100.0	16.8	12.6	5.8	4.2	34.6	26.2	499.62	1623.40	00:0	14212.00	83.00
	10000000000000000000000000000000000000	108	20	12	5	က	35	33					
	100 P	100.0	18.5	11.1	4.6	2.8	32.4	30.6	494.21	1454.23	1.00	10319.00	77.00

		四巻数	1000時間 未謝	1000時間 ~5000時 間未謝	5000時間 ~10000 時間未満	10000時間~ 15000時間未避	15000時間~ 20000時間未逝	20000時 間以上	第四略	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	全体	581	39			28			377	13230.95	31479.47	0.00	342458.00	6073.00
	1990年度以前	76	۳ o			۳ e			50	-	70947 20	000	342458 00	8553.50
<del>  </del>	1991年度~1995年度	129	5.4			10.9	3.1		71 55.0	_	13432.97	0.00	98277.00	8175.75
業開始年	1996年度~2000年度	173	12 6.9			8 4.6			113	_	14725.67	00'0	80400.00	4953.75
	2001年度以降	10001	14			17			131	_	29018 62	000	0000000	4288 00
	住民の自主的な会員組織である	278	28			13			178	9070	2001002	000	00 000000	4280 50
:: // // // // // // // // // // // // /	問2:運営 市区町村社会福祉協議会が運営し 形態 ている	191	3.7	10	17 17 8.9	8 4.2	2.1	9.0	136		14539.17	0.00	80400.00	8500.00
.	その他	108	3.7			6.5			60 55.6	- ''	53416.04	30.00	342458.00	5966.75
3-2.2	問13-2.2:貴団体のホームヘルプ事業サービス利	利用者のう	が 計	成23年度の介護保険制	護保険制度	度·障害福祉サ	ードス	その他(たす	(たすけあい等)	004-EZ	活動時間	こついてお答え	答えください	、/障害福祉サ
		回答数	1000時間 未満	2 1000時間 ~5000時間未満	5000時間 ~10000 時間未満	10000時間~ 15000時間未難	15000時間~ 2000時間未満	20000時間以上	斯 回 称	平均值	標準偏差	最小值	最大値	中央信
	全体	581 100.0	74	73	3.1	9	3		402	4335.90	13704.42	0.00	148065.00	1347.00
	1990年度以前	76	7	13		1.3			51	<b>⊢</b>	-	00.00	148065.00	1823.50
<del>₩</del>	1991年度~1995年度	129	19	21		2.3			77	_	_	0.00	34266.00	2524.50
業開始年	1996年度~2000年度	173	23	18	3.5	1 0.6	1.2	0.0	123			00:00	17779.00	1271.00
	2001年度以降	180	17	19		0.0			140	2214.15	4207.99	00:00	25199.00	1285.00
	住民の自主的な会員組織で	278 100.0	42 15.1	32 11.5		0.7			195 70.1	2285.30		00:00	28000.00	900.00
問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営している	191	18	26 13.6		0.5			133	4232.06	6507.90	0.00	34266.00	1897.00
	そのも	108	13	13.9		2.8			72 66.7	-		0.00		1271.00
3-2.3	問13-2.3: 貴団体のホームヘルブ事業サービス: 	ビス利用者のうち、 	55、平成23年度	3年度の介 2	の介護保険制度 2 3	度·障害福祉	サービス	·その他(たすけあい等) 6	トけあい等	6	ビス活動時間( 	こついてお	こついてお答えください	い。 <u>/その他</u> (たすけあい等)[_ 
		回答数	1000時間 米謝	1000時間 ~5000時間間未満	5000時間 ~10000 時間未満	100000時間~ 間~ 15000時間米謝	15000時間~ 20000時間未逝	20000時間以上	無回	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中中
	全体	581 100.0	166	160		1.2			181	4045.24	10539.58	0.00	156000.00	1502.00
	1990年度以前	76 100.0	11	21 27.6	9.2	0.0	5.3	9 7.9	35.5	10234.19	24014.73	00:00	156000.00	2777.00
間1.1.等	1991年度~1995年度	129	29	51 39.5		2.3			25 19.4	_	10110.30	0.00	87516.00	2418.00
<b>割</b> 始年	1996年度~2000年度	173	38.7	46		1 0.6			47		3362.37	0.00	26893.50	873.75
	2001年度以降	180	30.0	35		1.7			75		3764.25	0.00	26201.00	958.00
	住民の自主的な会員組織である	278 100.0	73	28.8		1.1	2.9		92 33.1		5064.17	0:00	36000.00	1557.00
運動調	問5:運営 市区町村社会福祉協議会が運営し 形態 しいる	191	31.9	50		2.1			53		14109.00	0.00	156000.00	1403.25
į		108	33	20					VC	¥				

4 5	無 回 秘	84	14.5	8	10.5	17	13.2	18	10.4	38	21.1	41	14.7	25	13.1	17	15.7
5	その他	80	1.4	-	1.3	0	0.0	က	1.7	4	2.2	3	Ξ	က	1.6	2	1.9
4	画 曲 か か な い で 、 が え い が た 、 が た い が い が い で 、 が り で い が い が い が い が い が い が い が い が い が い	228	39.2	34	44.7	49	38.0	73	42.2	67	37.2	114	41.0	83	43.5	29	26.9
3	回に	24	4.1	2	2.6	6	7.0	2	2.9	8	4.4	15	5.4	က	1.6	9	5.6
2	回になるのでになるとうなるとなっているをするかないなったいというない 大手 大手 大手 大手 医 悪悪 悪い 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	159	27.4	20	26.3	39	30.2	24	31.2	36	20.0	93	33.5	24	12.6	41	38.0
1	別々の者 が行って いる。	81	13.9	13	17.1	16	12.4	20	11.6	27	15.0	13	4.7	54	28.3	14	13.0
	回 裕 蛟	581	100.0	9/	100.0	129	100.0	173	100.0	180	100.0	278	100.0	191	100.0	108	100.0
		***	##	1000年申い益		1001年-:1006年申	×(+0661 - ×(+1661	1006年年~2000年年		9001年118	2001 十次 交革	4 日子白十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四	日内の日上門を対域を動きのの。	市区町村社会福祉協議会が運営し	ている	76年	-CO7世
							問1.1:事	業開始年						問2:運営	光额		

	1 2 3 4		_	2	2	4	2	9				9		
		回参数	100万円	100万円~500万	500万円 ~1,000万	1,000万円~5,000万	5,000万円 ~1億円	ı ≼	無回%	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値
			₩ V	<b>海米</b>	海 米 田	Į 採 田	<b>握</b>	4						
	44	581	Ξ	153	51	106	42	22	63					
	丰体	100.0	19.1	26.3	8.8	18.2	7.2	9.5	10.8	4057.52	11153.19	00:00	151934.00	459.50
	1000年 年 11 並	9/	16	15	4	19	6	∞	5					
	1890牛皮女郎	100.0	21.1	19.7	5.3	25.0	11.8	10.5	9.9	5411.98	12952.19	00:0	91842.00	1021.00
	1001年年2.1006年	129	22	35	Ξ	28	13	12	8					
問1.1.事	881	100.0	17.1	27.1	8.5	21.7	10.1	9.3	6.2	3752.59	7915.32	00:0	59616.00	649.00
業開始年	F 1008年 年 2,2000年 年	173	35	47	15	26	80	24	18					
	1930+12-2000+12	100.0	20.2	27.2	8.7	15.0	4.6	13.9	10.4	4307.20	10126.34	0.00	67710.00	438.00
	2001年中18	180	35	20	20	30	10	00	27					
	12001 十岁 20年	100.0	19.4	27.8	11.1	16.7	5.6	4.4	15.0	3370.89	13642.13	0.00	151934.00	332.00
	年日の日本的た今日の編をせて	278	48	64		63	25	33	27					
	日氏の日上の名式は高いのの	100.0	17.3	23.0	6.5	22.7	9.0	11.9	9.7	4251.36	8542.84	0.00	67710.00	864.00
問2:運営		191	48	63	24	19	9	13	18					
形態	ている	100.0	25.1	33.0	12.6	6.6	3.1	6.8	9.4	3985.76	15377.49	0.00	151934.00	254.00
	からま	108	13	26	6	24	Ξ	8	17					
	中の日	000	120	1 10	000	000	001	7 7	15.7	26.40.42	7621 05	0	000 5081800	040 00

990.38 404169 2409.10 9039.06 514.29 1309.02 647.04 1578.89 1085.03 3185.79 423.19 1000.96 2223.12 7061.60

328 36.5 38 50.0 69 93 53.5 93 53.5 111 61.7 140 60.7 70 64.8

全体 | 1990年度以前 | 1990年度以前 | 1990年度以前 | 1000 | 楽開始年 | 1996年度 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100

			-	2	က	4	2	9						(				
		回答数	100万田 新	100万円~500万円米部	500万円 ~1,000万 田米謝	1,000万円 ~5,000万 田米離	5,000万円 ~1億円 未難	品品 出	州回州	平均値 構	標準偏差]	最小値	最大値	中央値				
	全体	581 100.0	116		50	108	43	50	65	3848.12	10426.88	0.00	129905.00	450.00				
	1990年度以前	100 0			5	17	13.2	8 10.5	5	-	12889 54	_	91825 00	973.00				
<del>   </del>	1991年度~1995年度	129			9 2.0	28	16	9 2.0	9 2.0		7410.10	_	59497.00	533.00				
業開始年	1996年度~2000年度	173			16	28	8 9	12.1	10.4	3956.98	9676.41	_	67262.00	443.00				
	2001年度以降	180			10.6	32	3.9	9	28	_	12176.80	_	129905.00	330.00				
	住民の自主的な会員組織である	278			17	99	26	28	28	_	2147.87	_	00 69629	826.00				
問2:運営 転能	市区町村社会福祉協議会が運営し アいる				23	18	2 7 2	- E &	18	_	14106.09	_	129905 00	240.00				
	その他	108	13.9	23 21.3	10	24 22.2	9.3	8 4.7	18	_	7578.55	$\overline{}$	59497.00	807.50				
15.1a:	問15.1a:【活動実績のある団体のみご記入ください。】貴団 	さい。】貴国	体の平成	23年度	の収入および支	出の総額	は、いくらです  5	ですか。また、	その内訳のフ	の内訳の割合がわかればあわせ <sup></sup> 7 8 9	かればあた	せてご記し	てご記入ください。	/(収入の)	内訳)たすい	ナあい活動	(収入の内訳)たすけあい活動の利用料収入[ 	人[万円] (N)
		回数数	5万円未	5万円~ 50万円米 瀬	50万円~ 100万円 米辦	100万円 ~200万 田未謝	1	500万円 ~1,000万 円未謝	1,000万円 2 ~2,000万 元 円未謝 3	2,000万円 1 ~1億円 1 米謝	1億円以上	第回称	平均值	標準偏差〕	最小值	最大値	中中	
	全体	581	32	15.0	52	70	95	52	23	12	4 0.7	154	495.26	1456.14	00:0	16050.00	148.00	
	1990年度以前	76 100.0			5.3	8.00	17	15.8	6.6	5.3	- 5	23	834.32	1631.28	-	10781.00	345.00	
<del>  </del>	1991年度~1995年度	129			16	25	25	12	9 7.0	1.6	16	14.7	711.03	2171.15	_		174.00	
業開始年	1996年度~2000年度	173			16	21	29	18	2.9	1.2	1 0.6	38	411.16	1234.85	_	12900.00	119.00	
	2001年度以降	180			13	11.1	10.6	8 4	2.2	2.7	0.0	37.8	249.43	456.57	_	2393.00	81.90	
	住民の自主的な会員組織である		15	10.8	27 9.7	37	56 20.1	31	11 4.0	2.2	0.7	63 22.7	535.57	1569.89	_	16050.00	192.40	
間2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し   ている				16	22 11.5	9.9	10	8 4.2	1.0	0.5	55	348.25	1043.27	0.00	10781.00	75.05	
	そのも	108			9.3	11 10.2	18.5	9.3	3.7	3.7	0.9	34	653.02	1749.91	0.00		240.00	
5.1b:	問15.1b:【活動実績のある団体のみご記入ください。】貴団	さい。】貴臣		本の平成23年度の収入および支	入および支	出の総額は、	は、いくらですか。	トか。また、	その内訳の割合がわかればあわせてご記入ください	割合がわ7	かればあれ	せてご記、	入ください。	/(収入の	内訳)会費収入	7	(S)	
		回数数	5万円未	5万円~50万円米	50万円~ 100万円 米鮮	100万円 ~200万 田米鮮	200万円 5 ~500万 円未謝	ESTE	1,000万円 2~2,000万 2 日未謝 3	2,000万円 ~1衛円 米輔	) 計 以 以 計	無回納	平均值	標準偏差」	最小值	最大値	中帝	
	全体	581			45	30	12 2.1	7	3	1 0.2	0.0	213	69.78	194.07	0.00	2452.00	18.00	
	1990年度以前	100.0			9.2	5.3	9 2.9	S 9.	- E	0 0.0	0 00	30.3	122.60	211.49	0:00	1009.00	33.00	
<del>  </del>	問1.1:事 1991年度~1995年度	129			12 9.3	13	2.3	1 0.8	1 0.8	0.0	0.0	32 24.8	63.06	145.67	0:00	1250.00	17.00	
開始年	1996年度~2000年度	173			14 8.1	7.4.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	95.3	48.19	97.94	0.00	706.00	19.00	
	2001年度以降	180			5.0	2.8	1 0.6	1 0.6	1 0.0	1 0.0	0.0	86 47.8	76.29	296.19	0.00	2452.00	12.50	
	住民の自主的な会員組織である	278			35	19	4 4	0.7	0 0	0.0	0.0	62	46.16	79.89	0.00	763.00	19.50	
間2:運営	指示区町村社会福祉協議会が運営している	191	33	24	3.1	3.1	2.1	2.6	1.0	1 0.5	0.0	110	142.98	364.73	0.00	2452.00	12.00	
	40も	1000			3.7	46	3.7	0 0	- 60	0 0	0 0	37.0	59.61	136 06	000	1009 00	21.50	

			-	2	8	4	C	9		×	,							
		回答数	5万円未	5万円~ 50万円未 辦	50万円~ 100万円 米鮮	100万円 ~200万 田米謝	200万円 ~500万 田米謝	500万円 ~1,000万 日未謝	1,000万円 ~2,000万 田未謝	2,000万円 ~1億円 米謝	1億円以 上	無	平均值	標準偏差	最小值	最大値	中央値	
	全体	581	55	2 0.3	2 0.3	2 0.3	7	9	25	83	23	376	4862.80	8024.58	00.00	60794.00	2057.00	
	1990年度以前	100.0	11.8	0.0	0 0	0 0	2 2 6	0.0	- 5	13	2 2.6	49	3512.93	5511.95	00.00	27644.00	2304.00	
11:1	1991年度~1995年度	129	13	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	3.5	20.9		75	4151.21	6330.50	00:00	39002.00	2652.50	
業開始年	1996年度~2000年度	173	17	0.0	1 0.0	0.0	2 2.	5.1	5.2	22 12.7		108	6501.74	10778.74	00:00	60794.00	2000.00	
	2001年度以降	180	16	1 0.6	1 0.6	1 0.6	0.0	0.0	10	16	2.8	130	3954.43	6711.66	0.00	38321.00	1560.00	
	住民の自主的な会員組織である	278	32	1 0.4	1 0.4	1 0.4	s 1.1	. S.	17	59	13	146	4962.97	8221.45	00:00	60794.00	2318.00	
問2:運営 形態	問5:運営 市区町村社会福祉協議会が運営し 形態 しいる	191	15	1 0.5	1 0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	5	163	5106.18	9290.11	00:00	38321.00	00.00	
į	そのも	108	7.4		0.0	1 0.0	3.7	1 0.9	7.4	17	5 4.6	64 59.3	4330.16	6689.91	0.00	39002.00	2008.00	
			-	2	3	4	2	9	7	8	6							
		回答数	5万円未	5万円~ 50万円未 瀬	50万円~ 100万円 米辦	100万円 ~200万 円未謝	200万円 ~500万 日未謝	500万円 ~1,000万 円未謝	1,000万円 ~2,000万 田未謝	2,000万円 ~1億円 未謝	1億円以上	無 四 %	平均值	標準偏差	最小値	最大値	中央値	
	全体	581 100.0	13.3	9 0.1	0.5	0.7	24	3.1	3.8	3.8	1 0.2	404	974.24	2905.69	00.00	34500.00	131.00	
	1990年度以前	100.0	11 14.5	0.0	0.0	- 6	5.3	3.9	3.9	0.0	- <u></u>	53	1792.91	7141.26	00.00	34500.00	131.00	
間1.1:事	1991年度~1995年度	129	17	2.3	0.0	0.0	5.4	3.1	3.9	10 7.8	0.0	83	1099.19	1823.06	0.00	9500.00	274.50	
業開始年	1996年度~2000年度	173	26 15.0	0.6	0.6	0.6	8 4.6	8 4.6	5.2	3.5	0.0	113	789.05	1343.48	0.00	5950.00	222.00	
	2001年度以降	180			1.1	0.6	2.8	1.7	2.2		0.0	139	625.07	1333.31	0.00	7199.00	00:00	
	住民の自主的な会員組織である	278 100.0	51 18.3	0.7	0.7	0.7	16 5.8	10	15 5.4	13	1 0.4	166	1052.59	3485.29	00:00	34500.00	110.00	
間2:運営 形態	1 市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191	14 7.3	0.0	0.0	0.0	0.5	3.1	1.6	2.1	0.0	166 86.9	1122.72	1997.34	00:00	7199.00	0.00	
	その他	108	11	3.7	0.0	1.9	6.5	4.6	2.8	4.6	0.0	70 64.8	651.18	974.60	0.00	3693.00	265.00	
謂15.1e:	問15.1e:[活動実績のある団体のみご記入ください。	重	団体の平成2	成23年度の収入および支	入および支	出の総額	は、いくらです。	すか。また、	、その内訳	その内訳の割合がわかればあわせてご記入ください。	かればあれ	っせてご記	入ください。	/(収入の	/(収入の内訳)行政からの事業委託収入	からの事業	委託収入[	万円]
			-	2	3	4	2	9	7	8	6							
		回备数	5万円米	5万円~ 50万円未 辦	50万円~ 100万円 未辦	100万円 ~200万 日未避	200万円 ~500万 日未謝	500万円 ~1,000万 日未謝	1,000万円 ~2,000万 日未避	2,000万円 ~1億円 未踏	1億円以上	無回%	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値	

0.11	P  3.11.  占期失領のの3011年のかつ記入八こで、3.1月201年の十次23年度の収入の4.0人での1月201年度の14人の4人の4人の4人の4人の4人の4人の4人の4人の4人の4人の4人の4人の4	리 <b>타 『</b> · , ŋ : _	1 1	2 2	3 3 3 3	田の応報 4	田の応賀は、いくりで9 が。 4 5 6	9 11'0 JE/C.		の 割 8 8	9	775 7	ての内部の割っかインがイにはのインで て一部へ入ことい。 7 8 9 9	1	イベスへいかまい 別及 並 水ス	1	
		回 楼	5万円未 避	5万円~ 50万円未 辦	50万円~ 100万円 米瀬	100万円 ~200万 円未離	200万円 ~500万 円未謝	500万円 ~1,000万 田未謝	1,000万円 ~2,000万 田未謝	2,000万円 ~1億円 未謝	1億円以上	単回	平均值	標準偏差	最小值	最大値	中央値
	全体	581 100.0	53			47	37	9 1.5	1.5	1.2	0.2	289 289 49.7	274.59	1231.19	0.00	19362.00	49.00
	1990年度以前	76 100.0				6.6	9.2		2.6				670.	2900	00:00	19362.00	50.00
#	1991年度~1995年度	129				10.9	13		1 0.8						00:00	2333.00	86.00
業開始年	1996年度~2000年度	173				8 4.6	12 6.9		1.7	0.0	0.0			218.	0.00	1169.00	40.50
	2001年度以降	180				16	2 2		17						000	4195 00	48 00
	住民の自主的な会員組織である	278				27	25		4 4					_	000	00 000	43.50
問2:運営形態	市区町村社会福祉協議会が運営している	191	12	11 11 5.8	4 1	13	, c e	2 0	2.1			135		2702	000	19362.00	100.00
j	その色	108	3.7			6.5	7.4		0.9	0.0			144	284	00:00	1898.00	48.50
] . g	問15.1g:【活動実績のある団体のみご記入くだう  	さい。]貴	1体の平成 1 1	23年度の収 2	団体の平成23年度の収入および支    1 2 3	出の総額	は、いくらですか。 5 6	すか。また 6	-	その内訳の割合がわかればあわせて 7 8 9	りかればも	5わせてご	ご記入ください。	。/(収入の内訳)		寄附金収入[	Ъ⊞] (N)
		回答数	5万円未	5万円~ 50万円未 辦	50万円~ 100万円 米鮮	100万円 ~200万 円未謝	200万円 ~500万 円未謝	500万円 ~1,000万 田米謝	1,000万円 ~2,000万 田米謝	2,000万円 ~1億円 未満		単の	1 平均 一	標準偏差	最小値	最大値	中央値
	全体	581 100.0	97	94	25	12	1.9	3 0.5	0.3	0.0	0.0	337	7 56.48	169.78	0.00	1700.00	10.00
	1990年度以前	76 100.0					5.3	0:0	1.3				94.39	250.07	00:00	1411.00	14.00
間1.1.事	1991年度~1995年度	129						0.0	0.8			0 62	56.	210.72	0.00	1700.00	5.00
中	1996年度~2000年度	173 100.0	27 15.6	34	3.5	1.7	1.7	1.2	0.0	0.0	0.0		20	132.61	00:00	890.00	10.00
	2001年度以降	180 100.0						0.0	0.0				7 41.82	86.13	0.00	500.00	10.00
	住民の自主的な会員組織である	278 100.0				7.2.5	2.2	1.0.4	0.4	0.0			3 46.18	148.61	0.00	1700.00	10.00
間2:運動 影響	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191		4.2	3.1	1.0	2.6	1.0	0.5	0.0	0.0	157	2 154.06	296.95	0.00	1411.00	25.55
	その他	108				1.9	0.0	0.0	0.0	0.0			18.16	31.96	0.00	145.00	5.90
1h: [	問15.1h:【活動実績のある団体のみご記入くだ。 	さい。】貴臣	団体の平成23:	23年度の収 2	(人および支 3	出の総額	は、いくらで	ですか。また		その内訳の割合がわかれ 7 8 5	りかればる	ばあわせてご記入	記入ください	`. _	(収入の内訳)その他	他[万円	(N)
		回答数	5万円未	5万円~50万円米	50万円~ 100万円 米鮮	100万円 ~200万 田米謝	200万円 ~500万 田未謝	500万円 ~1,000万 田未鮮	1,000万円 ~2,000万 日未謝	2,000万円 ~1廊田 米湖	一	無 回 が	平均值	標準偏差	最小値	最大值	中央値
	全体	581 100.0	67	107		26	37	15	13	19		6 258	917.23	5438.93	0.00	89119.00	40.00
	1990年度以前	76 100.0				6.6	5.3	5.3	5.6	3.9	_	20 20	9 686.13	2163.11	00:00	15414.00	46.50
間1.1.事	1991年度~1995年度	129				3.9	8	4.7	1.6	3.1	0.8		418.		0.00	10700.00	32.35
中中	1996年度~2000年度	173				5.2	16	1.2	0.6	3.5				2044.94	00:00	17502.00	36.20
	2001年度以降	180				2.8	8 4.4	1.7	2.2	3.3	1.7		3 2035.07	10168.83	0.00	89119.00	40.00
	住民の自主的な会員組織である	278 100.0				2.9	20	7.2.5	7.2.5	2.5		113		1222.	0.00	10700.00	30.00
間2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191	15 7.9		11	10	15 7.9	3.1	2.6	3.1	2.6		- "	9827	00:00	89119.00	98.00
	そのも	108				7.4	19	100	1 0 9	5.6		43.5		_	00 0	7104 00	32 00

問16:介	間1 <u>6:介護保険サービスや自立支援法によるサービスを実施している場合、その収益を「たすけあい活動」にどの</u> 程度充当していますか。「たすけあい活動」に係る支出全体に占める割合等を二回答(ださい。(SA)	ナービスを写	声を ここや	I			
			-	2	20	4	
		回 格 数	充当して いない。	1~2割程 度を公的 サービス り収益か らの充当	3割以上 を公的 サービス の収益か らの充当	その他	無 四 格
	\$\dot{\dot}	581	145	69	38	23	306
	#.#	100.0	25.0	11.9	6.5	4.0	52.7
	4000年	9/	15	6	4	7	41
	1990年度以前	100.0	19.7	11.8	5.3	9.5	53.9
	1001年年-:1006年	129		21	12	4	64
問1.1:事	+css1 - ×1+1ss1	100.0	21.7	16.3	9.3	3.1	49.6
業開始年	1000年年1000年年	173	42		13	ω	06
	+	100.0		11.6	7.5	4.6	52.0
	2001年世江路	180	52	15	9	3	104
	五次以上1007	100.0	28.9	8.3	3.3	1.7	57.8
	4 F C 白土 わた今日 名様だせ 2	278	43	48	28	13	146
	日内の日上では内内にある	100.0	15.5	17.3	10.1	4.7	52.5
間2:運営	営 市区町村社会福祉協議会が運営し	191	77	က	2	4	105
お影	ている	100.0		1.6	1.0	2.1	55.0
	· 6字	108	25	17	00	9	52
	- POP	100.0	2	15.7	7.4	5.6	48.1

		<del>1</del>		L									_				_				
		最大値	300000		2000.00		3000.00		2000.00		1500.00		2000.00		1200.00		3000.00				
		最小值	000		00:00		0.00		0.00		0.00		0.00		80.00		0.00				
		標準偏差	390 91	0.000	421.49		457.93		383.43		301.07		413.20		202.84		502.47				
		平均值	808 33	200	824.39		894.70		856.18		681.08		885.80		637.38		1013.79				
呼回」(N)		加加	279	000	50.0	52	40.3	91	52.6	87	48.3	153	55.0	69	36.1	55	50.9	_	(N)		_
种[	11	1,500円以上	19	000	3.9	8	6.2	2	5.9	က	1.7	6	3.2	0	0.0	10	9.3			=	
圧觀   利用:	10	1,500円 1,500円 新	7		0.0	2	1.6	3	1.7	-	9.0	က	Ξ	0	0.0	4	3.7	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	[内谷にかかわり 上観] 利用科	10	
のないわらり	6	1,300円~1,400円~1,1400円	8 5	-	- 6.	3	2.3	2	1.2	2	1.1	7	2.5	0	0.0	-	6.0	4 1444	9 677,17,10	6	
ノ「内谷に	8	1,200 1,300 1,300 1,1	24		5.3	6	7.0	7	4.0	2	1.1	16	5.8	-	0.5	9	9.6	日子	一つやこく	œ	
<b>いちに9 か</b> 。	7	1,200円~ 1,200円米 1	- 0	1	- 6.	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	0.5	0	0.0	44	50 63 67	7	
メツ徴ほいく	9	~ E00001.1	25	2	5.3	9	4.7	6	5.5	4	2.2	19	6.8	က	1.6	3	2.8	\\ (+) \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	Xり組しないい	9	
い于の受用	5	~丘006 米丘000'1	14	0	2.6	9	4.7	4	2.3	2	1.1	5	1.8	7	3.7	2	1.9	H H	スクナン	2	
用种及砂炬	4	~ E 0008 米 E 0006 擦	49	0	3.9	6	7.0	18	10.4	18	10.0	22	7.9	19	6.6	8	7.4	14.7.6.45	まれるの記	4	
にかりの不引	3	700円~ 800円米 新田の額	51	200	9.5	13	10.1	13	7.5	16	8.9	Ξ	4.0	33	17.3	9	5.6	11.4	1にかしの/でこ/	က	
こには旧当	2	2~H009 揮米H00	46	2.7	9.5	6	7.0	8	4.6	19	10.6	14	5.0	24	12.6	80	7.4	# E +1 +1		2	
同当たり(す	-	<b>米</b> E0009 撰	58	9	7.9	12	9.3	13	7.5	26	14.4	19	6.8	34	17.8	5	4.6	F/11*+7K BB	同ヨだり、ほ	-	
ころいて「時間当たり(まだは1回当たり)の利用科及ひ担い于の受取り観はいくらですか。> [内容にかかわらす 足銀]利用科[		回格数	581	92	100.0	129	100.0	173	100.0	180	100.0	278	100.0	191	100.0	108	100.0	# /· ()	- ついて「時間当たり(または「凹当たり)の利用科及の担い士の文取り観はいいらですが、		
同17.1a:7c9 (7めい)活動で症供するサーロスに			全体		1990年度以前	1001年中~1006年中	_	年1006年-10000年	1990年/英~2000年/英	3001年申口隊	世份以十1007	4日の日本名かる旧名組んせる	日になる日子にいる対点をあるので	問2:運営 市区町村社会福祉協議会が運営し	ている	4000	型C0.2	コンド・ナーナー おおおお はいしょう サンド・コード	: /こ9 1 / めい / 占則 で 佐 伏 9 の 9 一 L 人		
向 1 / . la							問1.1:事	業開始年						問2:運	形態			884741	n]   / . ID		

	1	100.0	4.6	7.4	5.6	7.4	1:9	2.8	0.0	2.6	6.0	3.7	9.3	20.9	1013.79	502.47	0.00	3000.00	
17.1b:	7.1b:たすけあい活動で提供するサービスについ	こついて1時	て1時間当たり(ま	または1回当	(または1回当たり)の利用料及び担い手の受取り額はいくらですか。	用料及び担	い手の受取	り額はいく	うですか。	/[内容に	[内容にかかわらず定額]利用料[	定額]利用	料[円/1回]	(N)					
			-	2	3	4	2	9	7	8	6	10	11						
		回答数	米 E E 0 0 9 順	600円~7	~E0007 米E0008 米E	~ E0008	1,000円~ 1,000円米 1	1~0000'1 一米日001'1	1,100円~ 1,200円米 減	1,2000円~1,300円米円の形規	300円~ 400円未	1,400円~ 1,500円米 補	1,500円以上	無回答	平均值	標準偏差:	最小値	最大值	4001
	14	581	20	2	6	16	0	6	0	0	-	2	=	514					
	<b>₩</b>	100.0	3.4	0.0	1.5	2.8	0.0	0.5	0.0	0.0	0.2	0.3	1.9	88.5	815.52	544.09	0.00	2400.00	8
	1000年申い前	9/	2	0	-	-	0	2	0	0	0	0	3	67					
	1990 十一岁 父 阳 1	100.0	2.6	0.0	1.3	1.3	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	88.2	1025.00	61919	0.00	2000.00	0
	1001年 - 1005年 年	129	က	3	က	4	0	0	0	0	0	0	0	116					
#: -:-		100.0	2.3		2.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.9	00.009	262.20	0.00	800.00	8
開始年	1006年年~2000年中	173	∞	0		2	0	0	0	0	-	-	7	148					
	三3904月至~2000年月	100.0	4.6		1.7	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	4.0	85.5	964.60	678.05	00.00	2400.00	8
	9004年118	180	7	2	2	5	0	-	0	0	0	-	-	191					
	2001 十岁 公 世	100.0	3.9		Ξ	2.8	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	89.4	668.42	385.58	0.00	1500.00	8
	4.000000000000000000000000000000000000	278	12	-	4	12	0	0	0	0	-	2	6	237					
	日内の日上町や内内を高にある	100.0	4.3	0.4	1.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	3.2	85.3	901.83	612.18	0.00	2400.00	0
2:運営 「	市区町村社会福祉協議会が運営し		2	8	5	2	0	0	0	0	0	0	0	176					
形態	ている	100.0	2.6		2.6	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.1	590.00	199.28	100.00	800.00	$\overline{}$
	7 6 3	108	က	-	0	2	0	က	0	0	0	0	2	97					
	101	-																	

		回答数	*E000	600円~7 80円米湖	~ E000担 ★ E000担 米 E	∼E0008 米E0006 擦	1,000円~ 1,000元 1,1000元	~E0000; *E0001; #E	1,100円~ 1,200円米 維	,200円~ ,300円未 <sup>馬</sup>	1,300円~1,400円米 1,400円米 1	1,400円~1,500円米	1,500円以上	無	平均值	標準偏差]	最小值	最大値	中央値
	全体	581 100.0	59 10.2		54	48	3.8	26	1.5	7.1.2	3 0.5	3 0.5	0.3	278	712.10	276.05	0.00	1700.00	700.00
	1990年度以前	76 100.0		6.6			7.9	7.9	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	37	739.03	278.58	00.00	1100.00	800.00
問:1:1	1991年度~1995年度	129		11.6			10	3.1	3.1	2.3	1 0.8	1 0.8	0.0	53	753.34	279.64	0.00	1400.00	755.00
開始年	1996年度~2000年度	173		15			2.3	10	0.0	3	12	12	12 2	90	762.05	309.87	0.00	1700.00	720.00
	2001年度以降	180		32			1 0.6	2.2	1.1	1 0.6	0.0	0.0	0.0	87	625.27	222.87	0.00	1200.00	00.009
	住民の自主的な会員組織である	278		26			33	15	4 4	2	2 0 7	2 0 7 0	2 0 7 0	153	740.64	331 36		1700 00	760.00
問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営している	191		28			3.7		1 0 0 5	0 0	0 0	0 0	0 0	71	657.83	166.89	000	1100 00	700.00
	その他	108	8.3	13.9	2.8	6.5	5.6	7.4	3.7	1.9	0.9	0.9	0.0	52 48.1		314.83	00:00	1400.00	800.00
.1d:7:	問17.1d:たすけあい活動で提供するサービスについて「時間当たり(また)に 	さいて1時	間当たり(3	回。	当たり)の利. 3	用料及び担い手	い手の受理	の受取り額はいくら	くらですか。	/[内容に7	こかかわらずら	<u>定額]担い手</u> 10	の受取り	額[ 円/1	(N)				
		回答数	*E000 #E	2~E0009 無米田00	~ E000 米田008 米田008	~ E008   ~ E006	~ E1000 ★ E10000′1 機	~ E0000'1 米 E0001'1	1,100円~ 1,200円米 瀬	1,200円~ 1,300円米 離	1,300円~1,400円米1	2.₩	1,500円以上	無回納 三	平均価	標準偏差」	最小值	最大値	中央値
	全体	581	19	12	e 1.	9	0.0	4 0.7	2 0.3	4 0.7	3	1 0.2	0.9	516	794.00	641.19	00:00	4000.00	700.00
	1990年度以前	76			0	2 2	0 0	2 2			0 0	0 0	- ~	89.5	887.50	425 73	200 00	1600 00	00 006
問1.1.等	1991年度~1995年度	129	3.1			1 0.8	0.0	0.0	1 0.8	0.0	0.0	0.0	1 0.8	115	837.14	948.36	20.00	4000.00	650.00
站年	1996年度~2000年度	173		_	2 2		0.0	1.2	1 0.6	1 0.6	5.7	1 0.0	5.7	150	934.35	650.98	0.00	2500.00	700.00
	2001年度以降	180	2.8	e e			0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	162	566.67	368.22	0.00	1200.00	00'009
	住民の自主的な会員組織である	278		-	4 4.1	0.7	0.0	0.7	1 0.4	4 4	0.7	1 0.4	4 4	241	898.92	775.76	00.00	4000.00	700.00
間2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191		2	2	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	174	608.82	200.18	100.00	800.00	00'009
	その街	108	2.83	1.9		0.0	0.0	2 6.1	1 0.9	0.0	1 0.0	0.0	1 0.0	97	727.27	544.69	0.00	1600.00	700.00
2a: t;		おいて1時	間当たり(3	回	当たりの利	用料及び担い手	6,	・取り額はいくら	くらですか。		活のお手伝	tule -	助等)]利用						
		回め数	*E000 #E	600円~7 総米田00	~ E000 米田008 米田008	~ E000 形E000 握	~ E1000.1 **E10000.1 #E10000.1	~ E0000;1 米 E0001;1	1,100円~ 1,200円米 脳	1,200円 1,300円未 踏	1,300円~1,400円米1	_	1,500円以上	無回	平均值	標準偏差」	最小值	最大値	中央値
	全体	581 100.0	20	10		23	9	3.6	0.3	21	5 0.9	0.3	10 1.7	437	911.70	419.94	0.00	3000.00	850.00
	1990年度以前	76 100.0					2.6	1.3	0.0	3.9	2.6	0.0	1.3	56	907.00	308.56	200.00	1500.00	840.00
間1.1.時	1991年度~1995年度	129	0.8	2.3	3.1	3.9	1.6	5.4	0.0	4.7	1.6	0.0	1.6	97	965.16	272.22	400.00	1575.00	1000.00
品 中	1996年度~2000年度	173 100.0		1.2			1.2	8 4.6	0.0	2.3	1 0.6	1.2	2.9	129	985.23	546.62	0.00	3000.00	875.00
	2001年度以降	180		1.7			1 0.6	2.2	1.1	8 4.4	0.0	0.0	1 0.6	141	786.15	407.79	00.00	1800.00	800.00
	住民の自主的な会員組織である	278 100.0	2.9	0.0	1.8		1.8	3.6	0.7	14	4 4.	0.7	2.5	210	1033.24	492.06	00.00	3000.00	1000.00
間2:運営 形態 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191 100.0		3.1			1.6	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	148	688.37	208.45	200.00	1050.00	700.00
	そのも	108		3.7			1 0.9	7 6.5	0.0	7 9	100	0.0	2.8	76	960.16	354.76	0.00	1800.00	1000 00

1970   1970	HJ11.40.1	ころ 17 の20・7日末0 く3た12 ついっ		17/1	1 6 7 6	1-11-11			A LIKELOW											
896年度に耐している。				上 田009	2 600円~7 00円米揃	~ E000 ★E000 素		5 900日~ 1,000日来	9 1,0000,1 米日001,1	,100円~ 1,200円米 1,200円米	8 ,200円~1 ,300円米 1 ※	9 (300円 (400 (400	10 ,400円~ ,500円米			平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1996年度以前   1000   00		全体	581 100.0	1.0		2 0.3	8 1.4	3 0.5	0.2	0.0	1 0.2	0.3	0.3	0.5	551 94.8	869.67	422.30	0.00	1700.00	850.00
1996年度~1905年度 1000 0 0 1 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1990年度以前	76 100.0	0:0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	- 5.	0.0	0:0	75	1300.00	00:00	1300.00	1300.00	1300.00
	間1.1:專	1991年度~1995年度	129	0.0		1.6	2.3	1 0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	122	768.57	107.61	000:009	900:00	800.00
	業開始年	1996年度~2000年度	173	1 0.6		0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	1 0.6	1 0.6	2 2	163	1005.00	510.15	0.00	1700.00	900.00
REQDB1905会員組織である   1000   14   0.1   0.1   0.0   0		2001年度以降	180	2.2		0.0	1.7	0:0	1 0.6	0.0	1 0.6	0.0	1 0.6	1 0.6	169	814.55	454.56	0.00	1500.00	850.00
1000年度以前   1000年度   1000		住民の自主的な会員組織である	278	4 4		1 0.4	7 2.5	1 0.4	1 0.4	0.0	1 0.4	0.7	0.7	e <del>-</del>	255	945.65	422.09	0.00	1700.00	850.00
全の他         1000         0 1         0 1         0 0<	問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191	1 0.5		1 0.5	0.5	1 0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	187	710.00	250.07	360.00	900:00	790.00
全体         58         10		その他	108 100.0	1 0.9		0.0	0.0	1 0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	105 97.2	500.00	458.26	0.00	900:00	600.00
全体         600円未         600円未         700円へ         800円 へ         1000円 へ         1100円 へ         11000円 へ         1100円	問17.2c:7	<u>さずけあい活動で提供するサービス  </u>	こういて1時	当たり	たは1回 2	<u>たり)の利</u>	用料及び担		題。	45	/[日常生活	ちのお手伝	華援	助等)]担( 11	手の受取り	り額[円/	1時間] (1	2		
全体         1581         1581         1581         1581         27         26         28         17         15         0         0         4         6         48         17         15         15         17         15         18         18         17         3         1         13         3         1         18			回 格 数	* 田009	600円~7 80円~7		) ₩	900日~ 1,000円米 瀬	~ [1,000,1] ~ 無田の田、 本田の田、 本田の田、 本田の田、 本田の田、 本田、 本田、 本田、 本田、 本田、 本田、 本田、 本田、 本田、 本	700円~1,200円米1	,200円~ 1,300円米 1	300円~1400円米1	400円~ 500円米 1	.500円以 L	無回%	平均値	標準偏差	最小値	最大値	中央値
1906年度以前		全体	581 100.0	15		26	28	17	15	0.7	0.3	0.7	0.0	1 0.2	442 76.1	765.37	251.73	0.00	1500.00	800.00
1996年度~1995年度   1000   6.8   5.4   5.4   5.4   3.1   0.8   1.9   0.8   1.0   0.8   0.8   0.4   0.8   0.4   0.8   0.8   0.0   0.8		1990年度以前	76 100.0	0:0		9 7.9	5.3	- 6.1	3.9	1.3	0.0	1.3	0.0	0:0	56	815.80	185.32	00.009	1300.00	760.00
1996年度~2000年度   173   2.5   2.5   1.1   7.1   2.5   3.5   0.0     1800日年度以降	高1.1:	1991年度~1995年度	129	0.0		3.9	5.4	7.5.4	3.1	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	96	824.55	166.55	00.009	1300.00	850.00
EEの自主的な会員組織である 1900 56 3 1 3 4 3 3 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	業開始年	1996年度~2000年度	173	2.9		11 6.4	4.0	1.2	3.5	0.0	0.6	1.2	0.0	0.0	133	776.50	290.56	0.00	1500.00	755.00
住民の自主的な会員組織である 1000 2 3 3 13 10 2 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1		2001年度以降	180 100.0	10 5.6		1.7	8 4.4	3.3	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	143	673.78	294.64	0.00	1100.00	750.00
で		住民の自主的な会員組織である	278 100.0	2.2		3.2	13	3.6	2.5	1.1	1 0.4	1.4	0.0	0.4	215	812.79	296.81	0.00	1500.00	840.00
その他         100         34         10         4.5         6.0         4.5         6.0         4.5         6.0         4.5         6.0         4.5         6.0         4.5         6.0         4.5         6.0         4.5         6.0 <th>問2:運営 形態</th> <th>市区町村社会福祉協議会が運営し ている</th> <th>191 100.0</th> <th>2.6</th> <th></th> <th>15 7.9</th> <th>10</th> <th>1.0</th> <th>3.1.6</th> <th>0.0</th> <th>0.0</th> <th>0.0</th> <th>0.0</th> <th>0.0</th> <th>149 78.0</th> <th>716.90</th> <th>136.85</th> <th>400.00</th> <th>1000.00</th> <th>700.00</th>	問2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191 100.0	2.6		15 7.9	10	1.0	3.1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	149 78.0	716.90	136.85	400.00	1000.00	700.00
全体           12   30 日本   20 日本		その街	108 100.0	3.7		1.9	4.6	5	4.6	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	75 69.4	741.52	263.88	0.00	1200.00	800.00
1	問17.2d:7	cすけあい活動で提供するサービス!	こういて1時	間当たり(3	または1回当	たりの利	計製及び担	い手の受用	なり額はいく	うですか。	7.日常生活	5のお手伝	い(家事援	助等)]担(	手の受取		/10] (N)			
全体 1995年度以前 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			回 必数	- 光田009	7~田009 上~田000	~ 10007 米 日 1008 米 1	1	6 900円~ 1,000円米 脳	~ 丘 0001:1 米 丘 0001:1	7 100円~ 1,200円未 1	。 ,200円~ 1,300円米 1 ※	300円~1400円米1	1,400円 (3,500円米 (1,500円米	500円以上	期	平均価	標準偏差	最小値	最大値	中中
1990年度以前         76         0 <th< th=""><th></th><th>全体</th><th>581 100.0</th><th></th><th></th><th>0.9</th><th>5 0.9</th><th>0.3</th><th>0.2</th><th>0.7</th><th>0.0</th><th>0.3</th><th>1 0.2</th><th>0.0</th><th>548 94.3</th><th>710.30</th><th>383.30</th><th>0.00</th><th>1400.00</th><th>750.00</th></th<>		全体	581 100.0			0.9	5 0.9	0.3	0.2	0.7	0.0	0.3	1 0.2	0.0	548 94.3	710.30	383.30	0.00	1400.00	750.00
1991年度~1995年度         129         129         1         2         0		1990年度以前	76 100.0			0.0	0.0	0.0	- <u>c</u>	0.0	0.0	0.0	0.0	0:0	75	1000.00	00:00	1000.00	1000.00	1000.00
1996年度~2000年度	問1.1	1991年度~1995年度	129			1 0.8	1.6	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	121	728.75	192.09	500.00	1100.00	675.00
180   28	業開始年	1996年度~2000年度	173 100.0			1 0.6	1.7	0.0	0.0	0.6	0.0	1.2	0.0	0.0	163 94.2	885.00	416.37	00:00	1400.00	800.00
100		2001年度以降	180			1.7	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	167 92.8	589.23	400.84	00:00	1100.00	700.00
191 0 1 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	į	住民の自主的な会員組織である	278 100.0			4.1	0.7	0.7	0.4	4 4.	0.0	0.7	0.4	0.0	254 91.4	769.17	391.64	0.00	1400.00	775.00
	間2:運営 形態	市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191			0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	187	745.00	121.52	00.009	880.00	750.00
0.00 0.		その色	100.0			0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.4	400.00	374.17	00:00	800.00	00.009

_		-	2	2	4	2	9	_	80	6	9	=						
	回 答数	<b>米</b> E000 痮	7~E000 8 紙米E00	~E1002 米E1008 採	~ EL000 ₩ ₩EL000 概	~E0006 米E0000:1	~丘0001. 米丘001.1	1,100円~ 1,200円帯	,200円~ ,300円米	1,300円~11,400円米1	1,400円~ 1,500円米 1	1,500円以上	州 如	平均值	標準偏差	最小值	最大値	中央値
全体	581 100.0	9	3	3	12	3	3.4	4 0.7	14	8 4:1	0.5	3.4	482	1142.20	562.37	0.00	4000.00	1050.00
1990年度以前	100.0	- 5		0.0	e 68	2.6	3.9	0 0	3.9	8 8	0 0	2.6	59	1135.18	430.55	508.00	2510.00	1000.00
1991年度~1995年度	129	0 0		- 08	- 08	0 0	233	1.6	3 4	- 80	0 0	6	111	1276.39	399.68	700.00	2500.00	1200.00
1996年度~2000年度	173	4 6		0 0	2 2	- 0	0 82	- 90	2.3	12	1 0	2 22	140	1174 55	721.34	000	400000	1000 00
2001年度以降	180	2.2		- 0	3	0 0	- 90	- 90	11	- 90	11	9 8	157	1010 65	547.31	000	2000 00	1100 00
住民の自主的な会員組織である	278	5 2		2 0 7	. S	1 0	11 40	1 0	8 66	4 4	2 0 7	13	226	121481	663.52	000	4000 00	1200 00
市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191	E 9		0.0	3.7	1.0	2.6	1 0.5	0.0	1.0	0.0	1.0	167	-	297.48	300.00	1500.00	890.00
そのも	108	1 0.9	- 6.0	0.0	0.0	0.0	3.7	1.9	5.6	1.9	1 0.0	2 9.4	98 79.6	1231.14	472.85	0.00	2510.00	1200.00
問17.3b:たすけあい活動で提供するサービスについて1時間当たり(または1回    1	ついて1時	<u>間当たり(5</u>		当たり)の利月	用料及び担い手	い手の受取り額	なり額はいくら	ですか。	/[介護·介助]	助]利用料	回 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	(N)						
	回 松 数	<b>米</b> 田0009	200日~7 8 8 8 8 8 8	~ 1000 ★ 1000	→ 田008	~ E000 ★ E0000,1	~ 丘 000. ※ 丘 000. ※ 丘 000.	1,100円~	1,200円~ 1,300円米 種	1,300円~1,400円米1		1,500円以上	無回	中均面	標準偏差	最小值	最大値	中央値
全体	581 100.0	3		0.0	3	1 0.2	3	1 0.2	1 0.2	0.3	0.3	4 0.7	561 96.6	1129.80	570.46	00:00	2716.00	1050.00
1990年度以前	100.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	- 6.	75	1800.00	00:00	1800.00	1800.00	1800.00
1991年度~1995年度	129	0.0		0.0	1.6	1 0.8	1 0.8	1 0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	124	920.00	130.38	800.00	1100.00	900.00
1996年度~2000年度	173	1 0.0		0.0	0.0	0.0	1 0.6	0.0	0.0	2 2	1 0.0	2 2	166	1338.00	803.89	0.00	2716.00	1350.00
2001年度以降	180	1 0.6		0.0	1 0.0	0.0	1 0.6	0.0	1 0.6	0.0	1 0.0	1 0.0	174	1071.67	377.38	480.00	1500.00	1100.00
住民の自主的な会員組織である	278	1 0.4	0.0	0.0	£ 1.1	1 0.4	0.7	0.0	0.4	0.7	0.7	4 4.	262 94.2	1251.00	531.14	400.00	2716.00	1250.00
市区町村社会福祉協議会が運営している	191	1 0.5		0.0	0.0	0.0	1	- 0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	188	860.00	332.87	480.00	1100.00	1000.00
その他	108	1 0.9		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	107	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
問17.3c:たすけあい活動で提供するサービスについて1時間当たり(また!)	ついて1時	<u>間当たり(5</u>	即。	当たり)の利	用料及び担い手	い手の受取	の受取り額はいくら	らですか。	/[介護·介助]	担任	の受取り額	[ 円/1時間]	[副] (N)					
	回 格 数	*日009	200日~7	~ 世002	~ 世 0008	≀#	~E0000;1 米E0001;1	1,100円~11,100円米11,200円米11,300円x11,300円x11,300円x11,300円x11,300円x11,300000000000000000000000000000000000	,200円~ ,300円米	1,300円~1,400円米円1,400円米円円	1,500円米	1,500円以	無回	平均価 本	標準偏差量	最小值	最大値	中央値
全体	581	1.0		9	25	7	19	8 1.4	0.2	8 1.4	0.2	3 0.5	487	896.85	320.06	0.00	2000.00	890.00
1990年度以前	76 100.0	0.0		2.6		1.3	3.9	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	60 78.9	944.63	185.85	720.00	1300.00	880.00
1991年度~1995年度	129	0.0		1.6		2.3	3.1	0.8	0.8	1.6	0.0	0.8	110	997.37	312.30	650.00	2000.00	900.00
1996年度~2000年度	173	1.2		2.9	4.0	1.2	8 4.6	1 0.6	0.0	0.6	0.0	1.2	145	882.50	332.58	0.00	1600.00	870.00
2001年度以降	180	2.2		0.0		1 0.6	1.7	2.2	0.0	1.1	0.0	0.0	157 87.2	792.61	378.48	0.00	1300.00	870.00
住民の自主的な会員組織である	278 100.0	1.1	1.1	2.5		1.1	4.0	1.1	0.4	1.8	0.0	1.1	229 82.4	919.27	356.45	00:00	2000.00	900.00
市区町村社会福祉協議会が運営し ている	191	0.5		0.5	9	1.0	2.1	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	169	892.27	219.17	500.00	1350.00	850.00
その色	108	1.9		0.9	5.6	1.9	3.7	4.6	0.0	0.0	0.9	0.0	98 79.6	865.00	329.74	00:00	1400.00	900.00

				•	~	Α	ıc	9	7	α	6	c	-						
				7	,		,			,	,	2	1						
		回 数	<b>半</b> 田009 興	600円~7 100円 100円	~E000/ 米E008/ 採	~ E0008 ★ E0006 撰	~E0006 米E0000:1 網	~00001. 米口001.1 維	1,100円~ 1,200円米 諸	1,200円~ 1,300円米 瓶	1,300円~ 1,400円米 部	1,400円~ 1,500円未 諸	1,500円以 上	無 阿 ※	平均值	標準偏差	最小值	最大値	中央値
	全体	581	e 1	0 0	e 1	2	4 1	0 0	4 1	0 0	۳ ر	- 0	- 0	560	0	9	0	0	
		0.001					200	0.0		0.0	0.0	7.0	0.7	90.4	913.37	428.14	0.00	00.6/81	900.00
	1990年度以前	100.0					0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0:0	98.7	1300.00	00:00	1300.00	1300.00	1300.00
間11.曲	間11.事	129	0 0			0 0	- 80	0 0	16	0 0	0 0	0 0	0 0	124	910.00	188 41	00 002	1100 00	00000
<b>美開始</b> 有	∓ 1996年度~2000年度	173			0 0		- 6	0 0	0 0	0 0	2 5	- 6	- 6	166	1080 20	580 11	000	1875.00	1300 00
	2001年度以降	180		0 0			2 -	0 0	2 - 1	0 0	0 0	0 0	0 0	173	801 43	378 17	800	110000	00000
	住民の自主的な会員組織である	278					w <u>-</u>	0 0	e <u>-</u>	0 0	e -	1 0	1 0	262	1024 06	390.34	100 00	1875 00	1030 00
引2:運営 形態	問2:運営 市区町村社会福祉協議会が運営し 形態 ている	191	0.0	0.0	0.0		1 0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	188	933.33	152.75	800.00	1100.00	900.00
	その他	108					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	106	00.00	0.00	0.00	00'0	0.00
		回 教	<b>米</b> 田009 頫	2~日009 熊米日00	~EL007 米EL008 採	~ E E E E E E E E E E E E E E E E E E E	~E00001 米E000011 瀬	~00001~ 米田001′1 瀬	,100円~ ,200円米	1,200円~ 1,300円米 部	1,300円~ 1,400円米 諸	1,400円~ 1,500円米 諸	1,500円以上	即	平均值	標準偏差	最小值	最大值	中央値
	全体	581	49	10	2	4 1	- 6	0 0	0 0	0 6	0 0	- 6	0 0	514	476 60	10,000	6	000	000
	# 10 mm	76					0.2	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	64	4/3.32	10.462	00.00	1400.00	300.00
	1990年度以削	100.0					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.2	515.83	186.37	200.00	860.00	500.00
問1.1:事	B 1991年度~1995年度	129		3.1		1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	115	553.57	214.35	100.00	950.00	550.00
美開始4	1996年度~2000年度	173		2.3		1 0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	148	474.80	275.95	0.00	1400.00	450.00
	2001年度以降	180	12 6.7		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	167	373.08	211.75	0.00	650.00	500.00
	住民の自主的な会員組織である	278		10			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0 4	0 0	234	498.64	220.06	000	1400.00	500 00
間2:運営	当 市区町村社会福祉協議会が運営し アンプ						0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	179	000		000		000
<b>表</b>	517	_					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.7	443.33	226.17	200.00	860.00	400.00
	40年	1000	7.4			- 60	- 6	0			00	0	00	90 7	430 00	314 64	000	950.00	450.00

全体         581         2         3         0の日本度以前           全体         581         22         2         3         2         1,000円本 1,00	回当たり(または) 1 (または) 2 (200円) 3 (8 (200円) 3 (8 (200円) 5 (4 (6 (6 (6 (6 (6 (6 (6 (6 (6 (6 (6 (6 (6	回当たり)の利 3 3 ~7 700日~ 下 <sup>3</sup> 800日未 潜 3 0.3 0.9 1.3 2.6	# 4 4 4 8 800円~ (8 800円)	い手の受取い 5 900円~ 1,( 1,000円未 1, 補	/ 6 000円~1 100円米 1		/[給食・配食]担い 8 9	(食)担い手	・手の受取り名 10	/額[四/1時間]	[副] (N)					
全体         581         2         3         4         5         6         7           全体         581         28         28         2         3         4         5         6         7           990年度以前         1000         38         2         1         2         1	音数	第800日 本			9 ★田00		8	6	10							
全体         581         22         560円未満 高の円未満 高の円未満 高の円来 1000円来 11000円来 110000円来 110000円来 1100000円来 110000円来 11000000円来 110000000000	音数	※ 100円 》 ※ 100円 ※ 100円 》 》 ※ 100円 》 》 》 ※ 100円 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》		"	~ 世紀 00 世 20 元 十 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1					=			_			
全体 1990年度以前 100.0 3.8 0.3 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5			0.5	2		~ <del> </del> EE	1,200円~1,300円米 1	1,300円~1,400円米円1,400円米円	1,400円~ 1,500円未 補	1,500円以上	加	平均值	標準偏差;	最小值	最大值	中
手体     1000     38     03     05     05     03     02       1990年度以前     1000     2     1     2     1     0     0     0       1991年度~1905年度     1020     7     0     1     0     0     0     0       1996年度~2000年度     103     6     1     2     1     2     1     0     0       2001年度以同主的な会員組織である     1000     28     0     0     0     0     0     0       4.7     0.7     4.7     0     0     0     0     0     0       6     1     2     1     2     2     2     1       1000     3.5     0     0     0     0     0       1000     2.8     0     0     0     0       1000     4.7     0.4     0.4     0.4     0.4     0.0			0.5		-	0	0	0	0	0	546					
1990年度以前     76     2     1     2     1     0     0       1901年度~1995年度     1000     26     13     26     13     0     0       1996年度~2000年度     1000     5.4     0.0     0.8     0.0     0.0     0       1996年度~2000年度     173     6     1     2     2     2     1       1901年度以降     180     5     0     0     0     0     0       1000     28     0     0     0     0     0       1600     4.7     0.4     0.4     0.4     0.4     0.0			- (	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.0	371.00	360.61	0.00	1000.00	300.00
1991年度~1995年度     100     26     13     26     13     00     00       1996年度~2000年度     100     54     0     0     0     0     0       2001年度以降     100     35     0     12     12     12     1       100     28     0     0     0     0     0       100     28     0     0     0     0       100     4.7     0     0     0     0       100     4.7     0     0     0     0			1	0	0	0	0	0	0	0	70					
1991年度~1995年度     1729     74     0     0     0     0       1996年度~2000年度     173     6     1     2     2     2     1       1996年度//平     1000     35     0     12     12     12     12     0       1001     1000     28     0     0     0     0     0       住民の自主的な会員組織である     13     1     1     1     1     0       1000     4.7     0     0     0     0			δ.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.1	487.50	380.05	0.00	800.00	687.50
1996年度~2000年度 100 54 0.0 0.8 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	121					
1996年度~2000年度     173     6     1     2     2     1     1       2001年度以降     180     5     0     0     0     0       1001     28     0     0     0     0       1002     1003     4.7     0     0     0       4.7     0     0     0     0     0       6     0     0     0     0     0       6     0     0     0     0     0       6     0     0     0     0     0       7     0     0     0     0     0       8     0     0     0     0     0       9     0     0     0     0     0       9     0     0     0     0     0       9     0     0     0     0     0       9     0     0     0     0     0       9     0     0     0     0     0       9     0     0     0     0     0       9     0     0     0     0     0       9     0     0     0     0     0       0     0     0     0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.8	293.75	280.86	00.00	750.00	300.00
1500年度 2000年度以降     1500     35     0.6     1.2     1.2     1.2     0.6       180     5     0     0     0     0     0       100     100     0     0     0     0     0       住民の自主的な会員組織である     278     13     1     1     1     0       4.7     0.4     0.4     0.4     0.4     0.0		1 2	2	2	-	0	0	0	0	0	129					
REQDI年度以降         180         5         0         <			1.2	1.2	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.9	479.29	404.98	00.00	1000.00	650.00
CEOTHICAGE			0	0	0	0	0	0	0	0	175					
住民の自主的な会員組織である     278     13     1     1     1     1     0       4.7     0.4     0.4     0.4     0.4     0.4     0.0     0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.2	100.00	223.61	0.00	500.00	0.00
100.0 4.7 0.4 0.4 0.4 0.4 0.0		-	-	-	0	0	0	0	0	0	261					
			0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.9	322.06	321.36	00.00	900.00	300.00
<b>市区町村社会福祉協議会が運営し∥ 191∥ 4 1 3 1 1 1 0</b> 0	191 4	- 3	-	-	0	0	0	0	0	0	181					
形態   ている   100.0   2.1   0.5   1.6   0.5   0.0   0.0		_	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.8	501.00	362.57	00:00	910.00	650.00
4 0 1 1 0 1	108 4	0	-	0	-	0	0	0	0	0	101					
			6.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.5	357.14	454.08	00.00	1000.00	0.00

				2	3	4	5	9	7	8	6	10	=						
		回答数	*E0009	600円~700円米那	700円~ 800円米 瀬	~ E000 米 E000 採	~E0006 米E0000'1 米田	~ E000년'1 *100日'1	1,100円~1,200円米1	,200円~ ,300円未 <sup>馬</sup>	1,300円~11,400円米11	1,400円~1,1,500円米上	1,500円以 上		5均值標	準偏差	最小値	最大値	中央値
全体		581 100.0	3.1	0		0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.3	557 95.9	448.54	584.92	00.00	2200.00	200.00
1990年度以前		100.0		0			0	- 6	0 0	0.0	0 0	0.0	- 5	70	650.00	838.45	00.00	2200.00	300.00
1991年度~1995年度		129	4.7	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	123	161.67	204.98		550,00	110.00
1996年度~2000年度		173		0			0.0	0 0	0.00	0.0	1 0.0	0.0	0.0	167	404.17	510.63	00.00	1300,00	270.00
2001年度以降		180					0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	- 90	175	694 00	630.22	000	00 0021	620.00
住民の自主的な会員組織である	織である	278					0	- 5	0 6	0 6	- 5	0 8	2 0	260	528 A1	645 14	-	2200.00	300.00
市区町村社会福祉協議会が運営 ている	会が運営し	191	3 - 1		0 0	0.0	0.0	0 0	0 0	0.0	0 0	0 0	0 0	188	250.00	278.39	_	550.00	200.00
その他		108		0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	105	166.67	288.68	00.00	500.00	0.00
問17.5a:たすけあい活動で提供するサ	るサービスに	ごいて1部	ービスについて1時間当たり(または1回	または1回当	当たり)の利	用料及び担(	、手の受	取り額はいくら	らですか。	/[移送]利	用料[旧]。	(N)	=				-		
		回答数	₩ ₩ ₩ ₩	7~E000 服米田00	~ 1000 ★ 1000	~ E008 ₩ 1008 ₩	~ EL000 #EL0000,i	~丘0001: ※丘001:1		。 ,200円~ 第	1,300円~1,400円米	1,400円 一米 1,500円 ボニッシュー 1,500円 ボニッシュー ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボニッシュ ボーシ ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー	1,500円以 無	一	:均值 標	準個差	最小值	最大値	中央値
全体		581 100.0	25	1 0.2	4 0.7	9 1.0	0.3	3	0.0	1 0.2	1 0.2	0.3	4 0.7	532	629.80	556.34	00:0	2550.00	500.00
1990年度以前		100.0		_			0 0	- 6	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	70	400 00	384 71	⊩	1000 00	400 00
1991年度~1995年度		129		0			1.6	1 0.8	0.0	0.0	0.0	- 0.8	- 80	120	973.33	325.42		1600.00	900.00
1996年度~2000年度		173		0		1.7	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	1 0.6	1.2	154	648.95	667.18		2550.00	500.00
2001年度以降		180		.0			0.0	1 0.6	0.0	0.0	1 0.6	0.0	1 0.6	167	543.85	522.01	_	1500.00	500.00
住民の自主的な会員組織である	織である	278 100.0	14 5.0	0.0	2.1	1.8	0.7	0.4	0.0	1 0.4	1 0.4	1 0.4	0.7	248	661.00	468.89		1600.00	700.00
市区町村社会福祉協議会が運営し ている	会が運営し	191		0		0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	179	685.83	727.67	0.00	2550.00	550.00
その色		108		0	0.0		0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	102	416.67	664.58	00.00	1500.00	0.00
問17.5b:たすけあい活動で提供するサ	上ば	:ついて1時	について1時間当たり(または1回		当たり)の利 3	用料及び担(	↑手の受	かり額はいくら	らですか。	/[移送]担い手 8 9	い手の受取り	10額[ 円	1時間] (1	(X)		$\mid$	$\mid$		
		回答数	*日009	2~E009 据米E00	~ E000 米E000 採	~ E000 形 E000 握	∼E10001 ₩E100001 #	~1,000円 ★日001,1	~ 100円 ~ 100円 ※ 報	,200円~ 300円米	1,300円~1,400円米円00円米円00円米円00円米円00円円		1,500円以無上	一	均值 標	準	最小值	最大值	中帝
全体		581 100.0	15		7	8 1.4	2 0.3	3	3	0.3	1 0.2	0.0	1 0.2	533	636.25	421.02	0.00	1700.00	700.00
1990年度以前		100.0				1.3		0.0	- 5.1	- 5.	0.0	0.0	0:0	71	772.00		<u> </u>	1200.00	860.00
1991年度~1995年度		129		_		2.3		0.0	0.0	1 0.8	1 0.8	0.0	0.0	119	858.00	224.79		1300.00	815.00
1996年度~2000年度		173			1.7	2.1	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1 0.0	157	619.38	460.51		1700.00	700.00
2001年度以降		180		0		1 0.6	1 0.6	1 0.6	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	166	520.71	438.61	00.00	1140.00	550.00
住民の自主的な会員組織である	織である	278 100.0	2.9	1.1	1.1		1 0.4	0.7	1.1	1 0.4	0.0	0.0	1 0.4	252 90.6	670.00	447.86		1700.00	710.00
市区町村社会福祉協議会が運営し ている	会が運営し	191				0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	178	596.92	411.75	0.00	1300.00	00:009
その他		108	1.9	0			0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	632.50	399.85	00.00	1000.00	800.00

[1] / .5c:	問17.5c:たすけあい沽動で提供するサービスに	回性しいに	ヨたり(	またば、旧当	17こり (い不)	田本文の旧	い十つ区型	Xり鎖しない	15 C 9 11's	/ [修达]相	1, 10 X H	(2) (2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4							
		回 格 数	- <del>米</del> 田009	2 600円~7 00円未満	3 2007 米田007 米田の瀬	◆ ★ 1008 ★ 1008 1	C ← E 0006 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	。 ○000円~ 米田000円 米田000円	/ 100円∼ 3,200円米	8 1,200円~ 1,300円米	8 1,300円~ 第	10 1,400円~ 1,500円米	11 (1,500円以 無 上	如	中均高	標準偏差量	最小值	最大値	中央値
	全体	581 100.0	15	1 0.2	0.7	0.0	1 0.2	0.5	0.3	1 0.2	1 0.2	0.0	0.0	553 95.2	528.57	429.56	00:00	1300.00	200.00
	1990年度以前	100.0			- 6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71	400.00	264.58	00:00	700.00	500.00
記 	1991年度~1995年度	129			1.6	0.0	0.0	- 0.8	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	126	816.67	160.73	700.00	1000.00	750.00
業開始年	1996年度~2000年度	173	2.9	0.0	1 0.6	0.0	1 0.0	1 0.0	0.0	1 0.6	1 0.6	0.0	0.0	163	610.00	479.47	0.00	1300.00	550.00
	2001年度以降	180			0.0	0.0	0.0	1 0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	171	472.22	484.19	0.00	1100.00	300.00
	住民の自主的な会員組織である				0.7	0.0	1 0.4		0.7	1 0.4	0.4	0.0	0.0	262 94.2	606.25	452.72	0.00	1300.00	550.00
間2:運営形態	常市区町村社会福祉協議会が運営し ている		2	1 0.5	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	182	511.11	395.11	00:00	1000.00	00.009
	そのも	108		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	105 97.2	166.67	288.68	00:00	500.00	00:00
問17.6a:7	問17.6a:たすけあい活動で提供するサービスについて1時間	こういて1時	間当たり(または1		たり)の利	当たり)の利用料及び担い手の受	い手の受取	取り額はいくら	ですか。	/[いきいきサ		ニデイ(たまり場)の提供]利	場)の提供	[]利用料	円/1回]	(N)			
		回答数	1 8000 揮	2 600円~7 00円未満	3 700円~ 800円米 単	↑ ★E000 ★E000 #E00	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6 (1,000円~ 米円001,1	7,100円~1,200円未	8 1,200円~ 1,300円米 1	91,300円~11,400円米11	10 (400円~ (500円米	11 1.500円以 無	極	平均值格	標準偏差量	最小值	最大値	中央値
	全体	581 100.0	10.0	1 0.2	7.1.2	0.0	1 0.2	7	0.0	1 0.2	0.3	0.0	7	497	549.76	654.36	00:00	4000.00	400.00
	1990年度以前	1000				0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 6		65	300 01	497.69	000	150000	300.00
間1.1.	1991年度~1995年度	129		0.0	5 6 6	0.0	0 0	0 0	0 0	0.0	0.0	0.00	2 - 80	118	486.36	609.96	000	2100.00	300.00
業開始年	1996年度~2000年度	173			1.2	0.0	1 0.6	2.3	0.0	0.0	1.2	0.0	2.3	134	655.13	756.79	0.00	4000.00	500.00
	2001年度以降	180			0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	161	477.89	633.47	0.00	2500.00	300.00
	住民の自主的な会員組織である				1.8	0.0	0.0	7.2.5	0.0	1 0.4	0.7	0.0	6 2.2	220 79.1	587.59	602.52	0.00	2500.00	450.00
間2:運営形形態	市区町村社会福祉協議会が運営している	191	1.6		0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	187	00.009	200.00	500.00	900.00	500.00
	その他	108 100.0			1.9	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98 79.6	440.91	827.31	0.00	4000.00	250.00
問17.66:7	問17.6b:たすけあい活動で提供するサービスについて1時間	こういて1時	間当たり(き	当たり(または1回当	(たり)の利	当たり)の利用料及び担い手の受		取り額はいくらですか	0	/[いきいきサ		ニディ(たまり場)の提供]担い手の受取り額	場)の提供	打担い手の	)受取り額[	[ H/10]	(S)		
			-	2		- 1	2 2	9 8	L E	ε E	6	01	=						
		回 巻 数	米 田 009 順	2~E0009 減米E000	≥ ¥ E008 ₩	★ EE0006 框	₩E000.1	NOOU; 1.10001; 1.10001; 1.1000;	≥ HOOD 1:1 1:200日 米 1:200日 米	~ H E 0007.1 * H E 000	·,3000万 1,400円 米	~ +000 ∃ 1.500 ∃ 1.500 ∃	1,500円以上	四	平均值	標準偏差量	最小值	最大値	中中
	全体	100.0		0.0	1 0.2	0.3	0.0	0.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0:0	528 90.9	450.00	849.49	0.00	4900.00	0:00
	1990年度以前	76 100.0	6.6		0.0	- <u>t.</u>	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	- 5.	89.5	525.00	716.64	0.00	2000.00	200:00
二.1.1	1991年度~1995年度	129			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	122	971.43	1855.37	0.00	4900.00	0.00
業開始年	1996年度~2000年度	173		0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	150	291.30	419.05	0.00	1200.00	0.00
	2001年度以降	100.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	167 92.8	319.23	581.50	0.00	1800.00	0.00
	住民の自主的な会員組織である				0.4	0.4	0.0	4 4.	0.0	1 0.4	0.0	0.0	4 4:	242	551.39	944.65	0.00	4900.00	125.00
間2:運営形形態	育市区町村社会福祉協議会が運営し ている			0.0	0.0	0.0	0 0	0 0	0 0	0.0	0.0	0 0	0.0	189	00:00	00.0	0.00	00:00	0.00
!		L				-				-			-	CO					

			-	5	က	4	2	9	7	œ	6	9	=		_		_	_	
		回巻数	<b>米</b> E009	2~日009 無米日00	~ E1007 ※ E1008 ※ E1008 》 E1008 》 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008 E1008	~ E000 ₩ E000 概	\ \ <del>K</del>	~E0001.1 ≪E001.1	1,100円~ 1,200円米 活	~ ₩	1,300円~ 1,400円米	1,400円~1,500円米	1,500円以上	州 州	平均值	標準偏差量	最小值	最大值	中央値
	全体	581	15		9 0.1	8 4.1	0.3	9	0.3	0.0	1	1	r 2 <u>1</u>	516	799.38	487.61	000	2200.00	800.00
	1990年度以前	100.0			0			4 5.3	- 6	2 2 6	0 0	0 0	- 5	998.8			00.00	1500.00	1030.00
間1.1.	1991年度~1995年度	129				1.6	0.0	0.8	0.0	1.6	1 0.8	0.0	3.1	114	993.33	676.35	0.00	2200.00	1000.00
業開始年	F 1996年度~2000年度	173	23		0			1 0.6	1 0.6	1 0.6	0 0	0 0	1 0.0	159	728.57	410.31	100.00	1600.00	650.00
	2001年度以降	1000			2			3	0.0	0.0	0 0	1 0.6	1 0.6	157	643.48	407.96	00.0	1500.00	700.00
	住民の自主的な会員組織である	278			0			1 0.4	1 0 4	4 4	1 0 4	0 0	r. 6	251	838.89	595.71	000	2200.00	850.00
間2:運営形形能	当市区町村社会福祉協議会が運営し アいる	191			-		- 5	3 1 6	0 0	- 5	0 0	0 0	0 0	169	715 91	280.89	100	1200 00	650 00
Ž.	そのも	108		0.0	2 3		0 00	2 6	- 60	0.00	0 0	- 60	2 6	92	847.50	522.84	00.00	2000.00	800.00
開17.7b:	問17.7b:たすけあい活動で提供するサービスについて「時間当たり(または 	こついて1時	調当たりほ		当たりの利	用料及び担い手の受	い手の受取	取り額はいくら	いちですか。	/[その他]	利用料[一]	H/10] (	(S)						
		回答数	- 光田009	7 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	~ E 000 框	◆ 1008 ★ 1008 ★ 1008 1	C ← E 0006 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	。 ────────────────────────────────────	1,100円~1,200円米1	8 21.200円~1.200円~1.300円米11.300	% 1,300円~ 米日00円 米田	2.₩	1,500円以 上	無回機	平均值	標準偏差量	最小值	最大値	中央値
	全体	581	14				1 0.2	1 0.2	0.0	0.0	1 0.2	0.0	3	557	712.50	733.55	00.00	3000:00	500.00
	1990年度以前	1000	13	0 0			0 0	- 65	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	74	550 00	636 40	100 00	1000 00	550 00
間1.1.1	1991年度~1995年度	129		0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 0.8	123	708.33	508.35	200.00	1600.00	650.00
業開始名	F 1996年度~2000年度	173					0.0	0.0	0.0	0.0	1 0.0	0.0	2 2	165	1012.50	1123.37	0.00	3000.00	475.00
	2001年度以降	180	9 8				1 0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	172	456.25	279.59	00.00	950.00	500,00
	住民の自主的な会員組織である						1 0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	s I.	265 95.3		908.84	00'0	3000.00	500.00
間2:運営 形態 形態	営市区町村社会福祉協議会が運営し ている		3 1.6	0.5			0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	185	691.67	385.25	250.00	1300.00	550.00
	その色					0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	103 95.4		332.42	0.00	850.00	200.00
問17.7c:	問17.7c:たすけあい活動で提供するサービスに	こついて1時	こついて1時間当たり(または1	または1回当	当たり)の利	用料及び担い	手の受	取り額はいくら	らですか。	/[その他]	担い手の	受取り額[	円/1時間]	(S)					
		回答数	- 田009	2 600円~7 8 8 8 8 8 8	7000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000	── ~ E0006 概	~日000°1 ~日000°1 ※日000°1	~E0001;1	1,100円~11,200円米11,200円米11	,200円~ ,300円米	~300円~ 1,300円米 1,400円排	1,400円~ 1,500円米	1,500円以 上	無回衆	平均值	標準偏差	最小值	最大值	中央値
	全体	581 100.0	1.2	11	13	10	0.9	12	0.3	0.2	0.2	0.0	0.2	518 89.2	748.41	317.90	0.00	1500.00	800.00
	1990年度以前	76 100.0				2.6	2.6	6.6	0.0	− <u>E</u>	0.0	0.0	0.0	998.8	970.00	118.32	800.00	1200.00	1000.00
間1.1.事	1991年度~1995年度	129					1 0.8	3.1	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	115	778.57	364.73	0.00	1120.00	875.00
業開始名	F 1996年度~2000年度	173	1.2					1.2	0.0	0.0	1 0.6	0.0	0.0	158	696.67	313.09	00'0	1300.00	700.00
	2001年度以降	180						1 0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1 0.6	158	672.73	334.07	0.00	1500.00	725.00
	住民の自主的な会員組織である						0.7	4 4.	1 0.4	1 0.4	1 0.4	0 00	0.0	255	724.78	385.23	00.00	1300.00	800.00
間2:運営 形態	曽市区町村社会福祉協議会が運営している	191		4.2	2.1	3 1.6		3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	168	804.35	225.08	00.009	1500.00	750.00
	そのも	10001	0 00					19	100	0 0	0 0	0 0	0 0	91	704 71	332 51	000	1100 00	800 00

			-	2	3	4	2	9	7	8	6	10	Ξ						
		回 極 数	*田009	2~日009 8 無米日00	~E0008 ★E008	~ E008 ← E006 採	1 米丘000°1 米丘000°1	1 ★E000'1	1,100円~ 1,200円米 瀬		1,300円~ 1,400円未 謝	1,400円~ 1,500円米 調	1,500円以上	無 配 %	平均值	標準偏差」	最小值	最大値	中央値
	***	581	10	3	-	3	0	4	0	-	0	0	3	556					
	#:₩	100.0	1.7	0.5	0.2	0.5	0.0	0.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.5	95.7	762.60	633.26	00.00	2500.00	620.00
	1000年間に	9/	0	-	0	0	0	3	0	0	0	0	0	72					
	P.	100.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.7	900.00	200.00	00.009	1000.00	1000.00
	1001年年-1006年年	129	8	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	124					
問1.1:事	_	100.0	2.3	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.1	505.00	296.02	200.00	825.00	450.00
業開始年	丰 1006年 年 - 2000年 申	173	က	-	0	0	0	0	0	-	0	0	2	166					
	三3904/支~2000年	100.0	1.7	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	0.0	0.0	1.2	0.96	1014.29	1057.40	00:00	2500.00	00.009
	9001年128	180	4	-	-	-	0	-	0	0	0	0	-	171					
	iĶ.	100.0	2.2	9.0	9.0	9.0	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	95.0	648.89	429.87	20.00	1500.00	620.00
	4 日子 ロナカナクロ 名様がせる	278	4	3	-	-	0	-	0	0	0	0	3	265					
	エスクロエロジャカ河南海へのの	100.0	1.4		0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	Ξ	95.3	872.31	803.42	50.00	2500.00	620.00
問2:運営	営 市区町村社会福祉協議会が運営し	191	3	0	0	-	0	2	0	-	0	0	0	184					
形態	ている	100.0	1.6	0.0	0.0	0.5	0.0	1.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	96.3	735.71	352.03	300.00	1200.00	800.00
	から社	108	8	0	0	-	0	-	0	0	0	0	0	103					
	- COJE	100.0	2.8	0.0	0.0	6.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.4	515.00	408.35	00.00	1000.00	500.00
18:	問18. 貴団体が活動するろえで、日堂的に協力・連携関係	- 連集関係	Ť	ある団体について全て〇をつけてください。	て〇をつけ	てくだない。	(MA)												
			_	2	3	4	1	9	7	8	6	10	=	12	13	14	15	16	17
		_		1															

							間1.1:事	業開始年						問2:運営	形態			問19.1:
		<b>→</b>	王体	1000年申13章	1990十1次次出	1001年一1006年	_	年 1006年 年 2,0000年 申	×(+0007-1×(+0661	3001年日18	2001 十岁公平	4 日子白十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四	日氏の日上によれば治療にある	鸴   市区町村社会福祉協議会が運営	2い2	から年	그 스기류	問19.1:都道府県や市町村等、一定のエリア内で住民参加型在宅福祉サービス団     1   2   1   1   2   1   1   1   1
	回答数	581	100.0	9/	100.0	129	100.0	173	100.0	180	100.0	278	100.0	191	100.0	108	100.0	内で住民参加
-	社会福祉 協議会	329	61.8	38	20.0	84	65.1	112	64.7	114	63.3		73.4	91	47.6	19	56.5	加型在宅福
2	他の住民 参加型在 宅福社 サービス 団体・	223	38.4	33	43.4	64	49.6	09	34.7	26	31.1	127	45.7	26	29.3	39	36.1	批サービス団 2
ص ا	地方自治 (本	268	46.1	42	55.3	22	42.6	88	51.4	77	42.8	133	47.8	93	48.7	40	37.0	五体間の連絡
4	際	46	7.9	6	11.8	=	8.5	Ξ	6.4	Ξ	6.1	27	9.7	13		9	5.6	絡会等があ
2	民任委 三量 · 记载 交易 · 记载 经	222	38.2	59	38.2	41	31.8	70	40.5	73	40.6	95	34.2	103	53.9	22	20.4	ነሀ害すか。 ፤
9	自治会, 时内会, 女性会, 青年会 (連合会)	126	21.7	14	18.4	29	22.5	38	22.0	42	23.3	99	23.7	45	23.6	14	13.0	あれば、その
7	老人クラ 公	64	11.0	2	9.9	10	7.8	24	13.9	21	11.7	36	12.9	26	13.6	2	1.9	ひ名称なら2
8	公民館  ボ	99	11.4	8	10.5	14	10.9	22	12.7	20	11.1	35	12.6	19	6.6	12	11.1	ぶに所属の
6	ランティ団体	123	21.2	14	18.4	29	22.5	33	19.1	40	22.2	70	25.2	40	20.9	12	11.1	有無につい
10	- ボランティ 生 ア連絡会 組	110	18.9	13	17.1	30	23.3	32	18.5	32	17.8	72	25.9	29	15.2	80	7.4	てもご記入
11	活協同 合 組織	80	13.8	7	9.2	25	19.4	24	13.9	20	11.1	35	12.6	4	2.1	41	38.0	ください。/
. 12	業協同 合 1合	25	4.3	-	1.3	3	2.3	12	6.9	7	3.9	7	2.5	3	1.6	15	13.9	<u>体間の連</u> 絡会等がありますか。あれば、その名称ならびに所属の有無についてもご記入ください。 / 連絡会名 1つめ 
13	光	36	6.2	3	3.9	12	9.3	80	4.6	Ξ	6.1	23	8.3	9	3.1	7	6.5	(SA)
14		10	1.7	0	0.0	0	0.0	4	2.3	2	2.8	6	3.2	0	0.0	-	6.0	
15 1	会 議 	7	1.2	0	0.0	-	8.0	3	1.7	က	1.7	4	1.4	3	1.6	0	0.0	
17 17	<b>沙</b> 恒 新	68	15.3	13	17.1	21	16.3	21	12.1	31	17.2	51	18.3	25	13.1	13	12.0	
18	:学校 その他 1 つめ		4.5 24	2	2.6 30	4	3.1		5.2 19	=			4.3	10		4	3.7 18	
19	1 そのも 2 つめ	141 54	24.3 9.3	23	30.3 9.2	23 10		33 12		54 24		49 13	7.6 4.7	72 34	.7 17.8	20	8.5 6.5	
20	491 28	L				_			_	_	_	_	_	_		7		

			-	2	
		回答数	所属して いる	所属して いない	無回物
		281	214	29	338
	全体	100.0	36.8	5.0	58.2
	1000年 年 11 前	9/	31	9	39
	1330十岁以前	100.0	40.8	7.9	51.3
	1001年 - 1005年 年	129	49	5	75
問1.1:事		100.0	38.0	3.9	58.1
業開始年	1006年 年 10000年 年	173	09		104
	13304/支~20004/支	100.0	34.7	5.2	60.1
	2001年118	180	65	6	106
	世 を 世 と 一 と の 1 十 下 る 世	100.0	36.1	5.0	58.9
	4 日 6 日 十 名 4 4 6 日 8 第 8 年 2	278	111	14	153
	エスクロエアイスは治療にある	_	39.9	5.0	55.0
問2:運営	市区町村社会福祉協議会が運営し		70	6	
无额	ている	100.0	36.6	4.7	
	2 1	108	33	œ	71

	T
回答数         所属して         所属して         無回答	柳田
	519 89.3
10 13.2 0	99 86.8
16 12.4	
15	
6.1	
108 10 100.00 100.00	3.7 87.0
民参加型在宅福祉サー    1 2	エリア内で住民参加型在宅福祉サービス団体間の連絡会等がありますか。あれば、その名称ならびに所属の有無についてもご記入ください。/連絡会名 3つめ (SA)    1 1 2   
回答数 所属して 所属して いない	第回答
581 20	7 554
	0 70 0.0 92.1
4.7	
1.7	
2.2	
13	
2.1	0.0 97.9
က	

4	23.1	00	6.2	8 4.6	11 19	17	0.1	5.8	6.5
								9.9 8.4	
3.9 10.2 7 14.55.4 10.9									
2.2 2.3 17.8 16	23	17.8	16	9.5	13.9	32	12.6	11.5	14.8
26 34.2 54 41.9 71	54 41.9 71	71	1, 1	2.	50	141	21	11.0	39.8
3 12 9 15.8 6 18 7 14.0									
12 3 15.8 3.9 20 6 15.5 4.7 28 8 16.2 4.6									
13.3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2.0 0.7 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3	22 22 22 24 4 4 4 7 7 8	2.2 2.2 2.1 2.1 2.1 4.0 8.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4	2.8 2.2 7.9 7.9 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	22 7.9 7.9 4 7.9 8 8 7.4	2.7 8 8 8	2.1	7.4	+: /
21.1 33 32.56 42 42 42 42 43 37 24,3 37 20 52 18,7 52 52 52 52 53 54 52 54 52 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54									
23 25 19 30.3 25,0 30.3 27,0 23.3 20.9 38 29 42 45 42 45 23.3 25,0 31 54 16,2 28,3 16,2 28,3 21,3 25,0 21,3 25,0									
55 72.4 87 67.4 124 124 71.7 2 114 63.3									
76 100.0 129 100.0 173 100.0 100.0	129 100.0 173 100.0 180 100.0	100.0 173 100.0 100.0	100.0	180		8/2	191	100.0	100.0
1990年度以前 1991年度~1995年度 1996年度~2000年度 2001年度以降 住民の自主的な会員組織である 市で町村社を活址が落金が運営1	1991年度~1995年度 1996年度~2000年度 2001年度以降 住民の自主的な会員組織である 市で町村社を活址が落金水電空1	1996年度~2000年度 1996年度~2000年度 2001年度以降 住民の自主的な会員組織である 中で町村社をが選挙し	1996年度~2000年度 2001年度以降 住民の自主的な会員組織である 当で同十廿か会活址が護金が運営	2001年度以降住民の自主的な会員組織であるまで呼出社会活地は等会が運営	住民の自主的な会員組織であるまでいます。	1年10年144公垣24位第今水運步1	中心   一つ	70.5	+の有
問 機開 時 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	開1.1.事業開始年業開始年 開2.適當	開1.1.事 業開始年 問 1.2.適 1.3.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	(1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	問2:運営 7.48	間2:運営	間2:運営	日本	<b>元</b>	

										未整備	!		r)	据·照
	***	581	114	28		23	2		5	0	9	29	4	
	±.±	100.0	19.6	4.8	1.5	4.0	0.3	1.4	0.9	0.0	1.0	10.2	0.7	
	1990年度以前	9/	14	9	3	2	0	-	0	0	0	7	0	
		100.0	18.4	7.9		2.6	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	
間11.車	1991年度~1995年度	129	27	3.4	108	3 2	0 0	e e	0 0	0 0	1 2	12.4	108	
業開始年		173	36	9		0.0	2.2	2	-	0	2	21	-	
	1996年度~2000年度	100.0	20.8	3.5	9.0	5.2	1.2	1.2	9.0	0.0	1.2	12.1	9.0	
	3001年申118	180	33	12		9	0	2	-	0	2	13	2	
	1007 十岁 公 世	100.0	18.3	6.7			0.0	1.1	9.0	0.0	1.	7.2	1.1	
	件民の自主的な会員組織である	278	45	18	3	7	2	4	2	0	2	39	0	
į		100.0	16.2	6.5			0.7	1.4	0.7	0.0	0.7	14.0	0.0	
間2:連宮	市区町村社会福祉協議会が連宮し	191	25	7	2		0	0	2	0	5	9	က	
お影	402	100.0	27.2	3.7			0.0		1.0	0.0	1.0	3.1	1.6	
	4のも	1000	14.8	0 00	- 0	21 6	0 0	3.7	- 60	0 0	1 9	12.0	- 60	
問21-B.1	問21-B.1:貴団体が現在直面している活動の課題について、該当する項目の全てに〇印をお書きください。	<b>課題につい</b>	て、該当する	5項目の全	てにの印を	お書きくださ	さい。また、貴	貴団体にと	って最も大	きな課題と	団体にとって最も大きな課題と思われる項目について、A・B・Cごとに名	日について	C. A·B·C	ゴとに終
			-	2	8	4	2	9	7					
		回 施 教	田田	たすけあ い活動の 担い手 (本債末 つントイイ のントイイ 議保( 議保( の) パーとの	光働 法との兼 な合い	活動(中型) (サロンの 登場等) の確保	24時間見 中95年制 うくり	サービス 提供(申 請)のた きめの手続	か ら も	無 回 終				
		581	146	142	50	52	52	96	74	197				
	全体	100.0	25.1	24.4	8.6	9.0	9.0	4.5	12.7	33.9				
	1000年申ご前	9/	14	12		7	2	2	12	33				
	1990十/文/Hi	100.0	18.4	15.8		9.5	9.9	9.9	15.8	43.4				
問1.1:事	1991年度~1995年度	129	35 27.1	42 32.6	15	10.9	10	5.4	12 9.3	37				
業開始年	1996年度~2000年度	173	41	46		17	110	9 2	28	55				
	初い井上 5000	180	48	35		12	1	8 00	20	99				
	2001年度以降	100.0	26.7	19.4		6.7	9.4	4.4	11.1	36.7				
	住民の自主的な会員組織である	278	74	73		10.4	35	10	27	32.4				
間2:運営	· 市区町村社会福祉協議会が運営U	191	46	50.3		7.0.	11	14.	37	64				
光德	2012	100.0	24.1	26.2		3.7	5.8	7.3	19.4	33.5				
	4の街	108	26	19		16	9 4	1 0	60	97.0				
		0.00	7.1.1	2.		Ė	9.5	5	5	0.00				

			-	2 ++1+#	က	4	2	9	7	T	
		回 和 数	助けるい 活動の利 囲者負担 総額	に39138 (古) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	労働基準法との兼ね合い	活動先 (サロンの) 会場等) の確保	24時間見 4 中の体制 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	サービス 提供(年 請)のた さの手続 き	その市	無 回 必	
	全体	581 100.0	7.2		10	13	12	3	32	414	
	1990年度以前	76			2.6	- 6	0.0	- 5	4 6	09	
記 二	:事 1991年度~1995年度	129	5.4	19		23	3.1	0.0	6	86.7	
業開始年	<sup>台年</sup> 1996年度~2000年度	173				2.3	2.3	1 0.6	14	120	
	2001年度以降	180				2.2	2.2	1 0.0	8 4.4	131	
	住民の自主的な会員組織である	278				9 6	9 6	1 0	11 40	196	
間2:運営	重営 市区町村社会福祉協議会が運営し 8 ている		13	18		10	8 9	10	17	135	
!	そのも	108				5	8 8	0 0	0 00	80	
間21-(	』 問21-C.1:貴団体が現在直面している活動の課題	17	松淵	. ₩	てに〇印を	てに〇印をお書きください。	共	貴国体にと	って最も大き	な課題と思	パラー・エス・ア・バー・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・
			-	2	3	4	2	9	7	8	
		回 発 数	医療 が必要な カヘの サービス 提供	サービス のマンネ リ化	ローズを サービス に結びた けらわな こ	担い手の 専門性が 確立され ていない	ニーズの 把握がで きていな い	行き場の ない方へ の支援 権	年 内 内 な な 後 た の の 多 の の の の の の の の の の の の の	その他	無回給
	† <b>*</b>	281				97	36	105	200	53	151
	至体	100.0	11.4	9.0	22.4	16.7	6.2	18.1	34.4	9.1	26.0
	1990年度以前	9/	10			10	2	14	38	Ξ	14
		100.0				13.2	2.6	18.4	20.0	14.5	18.4
間1.1:	:事 1991年度~1995年度	100.0	17.1	9.3	23.3	20.2	6.2	17.1	38.0	6.2	26.4
業開始	<sup>台年</sup> 1996年度∼2000年度	173	6			28	4 -	32	54	18	47
	1	180				2.01	- E	34	51.2	10.4	46
	2001年度以降	100.0				16.1	6.1	18.9	30.6	7.8	25.6
	住民の自主的な会員組織である	278				52	6	46	80	23	86
間2.運	軍堂 市区町村社会福祉協議会が運営し	1				18.7	3.2	39	28.8	8.3	30.8
形態	202	100.0				12.0	12.0	20.4	40.8	11.5	16.8
	± 9 4	108				22	4	19	45	7	31

こついて、A・B・Cごとに各																		
思われる項目		無回極	394	67.8	20	65.8	82	62.9	119	68.8	124	68.9	200	71.9	117	61.3	73	9.79
きな課題と	8	その他	16	2.8	-	1.3	2	3.9	5	2.9	2	2.8	7	2.5	7	3.7	2	1.9
って最も大	7	生活 女援 内容の多様化 の多	28	10.0	15	19.7	15	11.6	12	6.9	14	7.8	21	7.6	23	12.0	14	13.0
貴団体にと	9	行き場の ない方へ の支援	26	4.5	0	0.0	5	3.9	12	6.9	8	4.4	12	4.3	10	5.2	4	3.7
い。また、j	2	ニーズの 把握がで きていな い	2	6.0	0	0.0	0	0.0	3	1.7	2	1.	-	0.4	4	2.1	0	0.0
ら書きくださ	4	担い手の 専門性が 確立され ていない	25	4.3	2	2.6	4	3.1	9	3.5	12	6.7	14	2.0	9	3.1	2	4.6
ここの印を	3	エーズや サーボス に結び付 けらわな	35	0.9	7	9.2	7	5.4	6	5.2	=	6.1	11	4.0	22	11.5	2	1.9
項目の全で	2	サービス のマンネ リ化	7	1.2	0	0.0	2	1.6	4	2.3	0	0.0	9	2.2	0	0.0	-	6.0
.、該当する	-	医療 が が か か か か か か り か か か か め か か の め か り の め か り の は り り り り り は は は り り り は は は は は は	15	2.6	-	1.3	9	4.7	3	1.7	4	2.2	9	2.2	2	1.0	7	6.5
題について		回 秘 教	581	100.0	9/	100.0	129	100.0	173	100.0	180	100.0	278	100.0	191	100.0	108	100.0
問21-C.2:貴団体が現在直面している活動の課題について、該当する項目の全てにO印をお書きください。また、貴団体にとって最も大きな課題と思われる項目について、A・B・Cごとに各		_	**	11.	1000年申11部	1550十/文/Eij	1001年中-:1006年申		1006年申二0000年申	1330445~200045	2001年中18	2001 十吋 交車	イロションをなる。	スツロエ門や内域配職での		ている	から年	-C 075
間21-C.2								問1.1:事	業開始年						問2:運営	祝额		

# 平成24年度 「住民参加型在宅福祉サービス団体活動実態調査」 調査票

## 平成 24 年度「住民参加型在宅福祉サービス団体活動実態調査」

#### <ご記入いただく上でのお願い>

- ・はじめに、下欄の団体情報に関する欄からお書きください。
- ・問1から最後の問まで順番にお答えください。途中矢印 (→) があれば、矢印に従ってお進みください。
- ・回答は原則として**平成 24 年 12 月 1 日時点**の状況でお答えください(12/1 で捉えにくいものは回答可能な時点(3/31、4/1 など)で結構です)。
- ・回答は、当てはまる番号に○をつけていただくものと、自由に記述していただくものがあります。自由に記述していただくものや、「その他」にお答えの場合は、内容を具体的にお書きください。
- ・設問が活動の実態と合わない場合は、お手数ですが欄外にその内容を書き足してください。
- ・<u>社協、生協、農協等、その団体の運営にあたって親団体がある場合は、親団体の状況ではな</u> く、住民参加型在宅福祉サービス団体(活動)そのものについて記入してください。
- ・「担い手」とは実際にサービスを提供する者をさしており、団体によっては協力員、ヘルパー、ワーカー等の呼称があると思いますが、全て「担い手」として考えてください。

## <アンケートの提出について>

- ・本調査票は、以下のホームページからダウンロードしても入手できます(Word 形式)。
- ・アンケート提出方法は、郵送・FAX・メールにより可能です。

郵送先 〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

(社福)全国社会福祉協議会 地域福祉部/全国ボランティア・市民活動振興センター

FAX 番号 03-3581-7858

http://www3.shakyo.or.jp/cdvc/jusan/

E-mailアドレス sankagata@shakyo.or.jp

- ・ご記入いただいたアンケート用紙は、**平成25年2月15日(金)**までにご提出をお願い申しあげます。
- ・ご提出いただいたデータやご回答の内容は、統計的に処理するためのみに使用いたしますの で、個々の団体のデータが公表されることは一切ございません。

### <報告書について>

- ・ 本調査にご回答いただいた団体のみに、報告書完成後2部郵送いたしますので、下記に住所等のご記入をお願いいたします。
- ・なお、住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会のホームページにおいて、PDF ファイルで報告書を掲載する予定です。
- ★本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部/全国ボランティア·市民活動振興センター 住民参加型実態調査担当 柴山、菊池 TEL. 03-3581-4656 FAX. 03-3581-7858

E-mail: sankagata@shakyo.or.jp

#### 最初に下記の項目についてご記入ください。

団体名:			
電話番号		FAX番号	
住所	Ŧ		
代表者 職名·氏名:		ご記入者名	

108

## 【団体の組織体制・運営について】

問 1 .	団体と	して事業を開始	した年月をご記	記入ください。

西暦	年	月
----	---	---

#### 問2. 貴団体の運営形態について、当てはまる番号1つに〇をつけてください。

- 1. 住民の自主的な会員組織である
  - (注) 親団体がある場合でも、<u>次のア〜エの条件に当てはまる場合は、上記1に○をつけてください</u>
- ア. 親団体に事務局を置くが、自立した組織として活動している イ. 組織として独自の意思決定を行っている
- ウ. 会計、役員会が親団体とは別である

- エ. 親団体とは別に団体独自の規定がある
- 2. 市区町村社会福祉協議会が運営している
- 3. 生活協同組合が運営している
- 4. ワーカーズコレクティブである
- 5. JA(農業協同組合)が運営している 6. 行政設置による第3セクター(福祉公社·事業団等)
- 7. 社会福祉施設が運営している
- 8. ファミリーサービスクラブである

- 9. その他(具体的に

#### 問3. 貴団体は法人格を持っていますか。もっている場合、それはどのような法人格ですか。

A 法人格をもっている

- B 法人格にもっていない
- 1. 特定非営利活動法人 →いずれかに○を(①. 認証をうけている ②. 申請中である)
- 2. 認定特定非営利活動法人 →いずれかに○を(①. 認証をうけている ②. 申請中である)
- 3. 社会福祉法人 4. 財団法人 5. 社団法人

- 6. 有限会社 7. 生活協同組合

- 8. 農業協同組合
- 9. その他(具体的に

#### 問4.貴団体は事務所をお持ちですか。

- 1. 持っている
- 2. 持っていない

#### 【会員の状況について】

#### 問5. 貴団体の自主的な有償助け合い活動(以下「たすけあい活動」)では会員制を採用していますか。

- 1. 会員制を採用している
- 2. 会員制を採用していない

## 問 6. 貴団体のたすけあい活動のサービス利用者の登録数を記入ください。

問 / . 貢	<b>貢団体に登録され</b>	ている <u>たすり</u>	<u> すあい沽動の</u>	「担い手数」(直接サ	ーヒスを提供している会員数)
につし	ハて、下記表にそ	の人数をご記	記入ください	0	
		女性	男性	合計	

	女性	男性	合計
20 代			
30代			
40 代			
50代			
60代			
70 代以上			
合計			総計 人

## 問8. 貴団体の担い手と利用者のバランスはどのような状態ですか。当てはまる番号に〇をつけてくだ さい。

- 1. 担い手が不足している傾向がある
- 2. 利用者が少ない傾向がある
- 3. 担い手と利用者のバランスはちょうどよい 4. 傾向にムラがあり一概に言えない

## 問9. 担い手の募集にあたって、貴団体として実施し、効果があったと考えらえるもの全てに〇印をつ けてください。

- 1. パンフレット、チラシ、ポスター
- 2. ホームページ 3. 他団体の広報誌
- 4. 個別に声掛け 5. 会員による紹介 6. 担い手養成講座・研修会
- 7. 広報誌 8. 地域ラジオ・FM ラジオ 9. 説明会、交流会
- 10. ハローワーク 11. 掲示板
- 12. その他(具体的に:

## 問10. 担い手への研修機会について、貴団体が実施しているものすべてに〇を付けてください。また、 開催頻度(出席頻度)等についてもご記入ください。

10.00.10		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
[Þ	引部研修〕			
1.	学習会、勉強会、研修会等	(頻度:年・月・週に	囯)	
2.	交流会	(頻度:年・月・週に	回)	
3.	新人研修	(頻度:年・月・週に	囯)	
4.	ミーティング、定例会の際に	(頻度:年・月・週に	回)	
5.	ケースカンファレンス	(頻度:年・月・週に	回)	
6.	外部から講師を呼んで研修	(頻度:年・月・週に	囯)	
7.	他団体と共催により研修会を開催	(頻度:年・月・週に	回)	
		(共催の相手先:		)
8.	その他(具体的に:			)
		(頻度:年・月・週に	回)	
[夕	部研修等〕			
9.	社協主催の研修会に参加	(頻度:年・月・週に	回)	
10.	地域包括支援センター主催の研修会	会に参加		
11.	地方自治体主催の研修会に参加			
12.	社協、地域包括支援センター、地力	5自治体以外の団体主催の研修:	会に参加	
13.	資格取得支援			
14.	その他(具体的に:			)

## 問11. 担い手に対する研修内容について、貴団体として実施しているもの全てに〇印をつけてくださ い。

1.	高齢者・障害者理解	2. 認知症理解	3. ヘルパー2	級養成講座
4.	介護(ヘルパー2級を	養成講座を除く)	5. 車いす操作	6. 調理
7.	食品衛生(食中毒)	8.移送サービス	9. 掃除	10. 救命救急
11.	緊急時対応	12. 災害時高齢者生活	支援 13. 医療	• 感染症
14.	傾聴 15.	コミュニケーション	16. 接遇	17. 剪定
18.	レクリエーション	19. 子育て	20. リスクマネジ	メント(ヒヤリハット)
21.	法人理念 22.	その他(		)

## 【サービス、活動事業の内容について】

問12. 貴団体が行っているサービス全てに〇をつけてください。なお、そのサービスが、「たすけあい活動」、「高齢者向け公的サービス」、「障害者向け公的サービス」、「その他」のどの形態で実施されているか分けてお答えください。

サービスの種類	たすけあ い活動	高齢者向 け公的 サービス	障害者向 け公的 サービス	その他
1. 家事援助				
2. 介護				
3. 入浴				
4. 食事(配食)				
5. 外出援助				
6. 車による移送サービス				
7. デイサービス				
8. 宅老所				
9. 作業所・自立訓練・就労移行/継続支援				
10. ショートステイ・宿泊				
11. グループホーム				
12. 住宅改造				
13. 相談・助言				
14. 話し相手				
15. サロン活動				
16. 保育・教育サービス				
17. 財産管理・保全サービス				
18. 小規模多機能型居宅介護				
19. ケアマネジメント (居宅介護支援等)				
20. その他事業〔上記以外を記述ください〕				

問13. 貴団体のホームヘルプ事業サービス利用者のうち、平成23年度の介護保険制度・障害福祉サービス・その他(たすけあい等)のサービス利用者数(実人数)及び活動時間についてお答えください(概算でも構いません。複数サービス利用者は各サービスそれぞれ1人とカウントしてください)。

C • 70			
	介護保険制度	障害福祉サービス	その他 (たすけあい等)
サービス利用者数	人	人	人
活動時間	時間	時間	時間

問14. たすけあい活動と介護保険事業の両者を行っている場合の担い手の区別について、当てはまる番号にOをつけてください。

- 1. 別々の者が行っている。
- 2. 同じ者が行っているが、たすけあい事業時と介護保険事業時と別々に管理している。
- 3. 同じ者が行っているが、たすけあい事業時と介護保険事業時と特に管理の区別はしていない。
- 4. 両者を行っていないので、答えられない。
- 5. その他 (

## 【財政について】

問15.【活動実績のある団体のみご記入ください。】貴団体の平成23年度の収入および支出の総額は、いくらですか。また、その内訳の割合がわかればあわせてご記入ください。

※社協、生協、JA等、その団体の運営にあたって親団体がある場合は、親団体の状況ではなく、 住民参加型在宅福祉サービス団体そのものについて記入してください(概算額で結構です)。

1. 収入総額	万円			
	(収入の内訳) た	よすけあい活動の利用料収入	万円	<u> </u>
	<i>\( \frac{1}{2} \)</i>	<b>掌</b>	万円	<u> </u>
	<u>م</u> ر	↑護保険に関わる収入		<u>-</u>
	É	日立支援法制度等収入	万円	<u> </u>
	行	<b>示政からの事業委託収入</b>	万円	<u> </u>
	助	力成金収入	万円	<u> </u>
	字	<b>F附金収入</b>	万円	<u> </u>
	3	一の他	万円	<u> </u>
2. 支出総額	万円			

問16.介護保険サービスや自立支援法によるサービスを実施している場合、その収益を「たすけあい活動」にどの程度充当していますか。「たすけあい活動」に係る支出全体に占める割合等をご回答ください。

- 1. 充当していない。
- 2. 1~2割程度を公的サービスの収益からの充当
- 3. 3割以上を公的サービスの収益からの充当
- 4. その他(

問 1 7.	<u>たすけあい活動</u>	<u>で</u> 提供するサーt	ごスについて	1時間当たり	(または1回	当たり)の	利用料及
び担し	<b>ゝ手の受取り額はし</b>	いくらですか。な	゚ぉ、「サーヒ	これの内容にか	かわらず利用	料は定額」	の団体は
Г1」	の欄に、「サービス	スの内容によって	利用料が異な	なる」団体は	「2~7」の欄に	ご記入くだ	<b>きさい</b> 。
<記入	上のお願い>						

- a.無料の場合は0と記入してください。
- b. 時間外の金額が異なる場合は、<u>基本となる時間帯の料金を記入してください。</u>
- c.利用料が所得に応じて異なる場合は、最高金額を記入してください。 (単位:円)

- 147/141/W /7/1410-7610 でグである。 (1 M - 147)						
	利用料		担い手の受取り額			
1. 内容にかかわらず定額	円/1 時間(	円/1回)	円/1 時間(	円/1回)		
2. 日常生活のお手伝い(家 事援助等)	円/1 時間(	円/1 回)	円/1 時間(	円/1 回)		
3. 介護・介助	円/1 時間(	円/1回)	円/1 時間(	, .,,		
4. 給食・配食	P	/1 食	円/1 時間(			
5. 移送	円	/1 回	円/1 時間(	円/1 回)		
6. いきいきサロン・ミニデ イ(たまり場)の提供	円	/1 回	円/	1 回		
7. その他( )	円/1 時間(	円/1回)	円/1 時間(	円/1 回)		

## 【課題等】

問18. 貴団体が活動するうえで、日常的に協力・連携関係がある団体について全て〇をつけていただ き、あわせて具体的な関わり方(連携内容)ださい。

団体名	0	具体的な関わり方(連携内容)
1. 社会福祉協議会		
2. 他の住民参加型在宅福 祉サービス団体・NPO		
3. 地方自治体		
4. 警察		
5. 民生委員・児童委員 (協議会)		
6. 自治会・町内会・女性 会・青年会(連合会)		
7. 老人クラブ		
8. 公民館		
9. ボランティア団体		
10. ボランティア連絡会		
11. 生活協同組合		
12. 農業協同組合		
13. 企業		
14. 労働組合		
15. 青年会議所		
16. 小・中学校		
17. 高等学校		
18. その他 ( )		
19. その他( )		
20. その他 ( )		

問19. 都道府県や市町村等、一定のエリア内で住民参加型在宅福祉サービス団体間の連絡会等があり ますか。あれば、その名称ならびに所属の有無についてもご記入ください。

連絡会名	所属の有無
	所属している/所属していない
	所属している/所属していない
	所属している/所属していない

問	]20.公的制度について、お考えになっていることがございましたらお書きください。
	〔介護保険等、高齢者施策〕
	〔障害者自立支援法等、障害者施策〕
	[子育て支援施策]
	[] 自《文版應來]

問21. 貴団体が現在直面している活動の課題について、該当する項目の全てに〇印をお書きください。

[その他]

また、貴団体にとって最も大きな課題と思われ をお書きください。	る項目について、A・B・Cごとに各1か所、◎	印
[A] 組織運営について         1. 担い手不足       2. 資金不足         5. ハードの老朽化       6. コーディネー         8. 作業マニュアル、就業規則等が未整備         10. 後継者不足       11. 地域組織(自治         12. 他事業、他都道府県との連携・協働         14. その他(	-ターの不足 7. 事務局の体制が不十分 9. 人材育成の機会不足 台会等) との関係づくり	)
[B] サービス提供体制について 1. 助け合い活動の利用者負担額 2. たすけあい活動の担い手(有償ボランティ 3. 労働基準法との兼ね合い 4. 活動先 5. 24 時間見守り体制づくり		<u></u>
6. サービス提供(申請)のための手続き 7. その他(		)
3. ニーズをサービスに結び付けられない 5. ニーズの把握ができていない 7. 生活支援内容の多様化	<ul><li>2. サービスのマンネリ化</li><li>4. 担い手の専門性が確立されていない</li><li>6. 行き場のない方への支援</li></ul>	)
8. その他(		)

問22. 貴団体が現在直面している活動の課題に対して、改善のために実施している取り組みを具体的 にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

# 平成24年度 「住民参加型在宅福祉サービス団体活動実態調査」報告書

平成26年3月

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部/全国ボランティア・市民活動振興センター

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル TEL 03-3581-4656 FAX 03-3581-7858 http://www3.shakyo.or.jp/cdvc/ sankagata@shakyo.or.jp

			ı
			'
ı			